

吉備中央町 2023年度デジ田事業

Well-being調査業務 実施報告書

2024年3月29日



業務内容

デジタル田園都市国家構想に基づき、市民が心豊かな暮らせる持続可能なまちづくりの実現に向け、市民の「幸福感（Well-being）」を主観的・客観的指標で調査・分析し、今後の市政の施策に役立てるための支援を実施する。

1. 地域課題の整理

客観指標（スマートシティ・インスティテュート提供）に基づき、レーダーチャート（因子別）及び折れ線グラフ（設問別）から吉備中央町の特徴を捉え、他の自治体との比較も含め、地域課題の整理を行う

2. Well-being主観指標アンケート調査の設計・実施

- 効果的・有効的なアンケート項目の設計・調査票等の作成
- 他の自治体でも十分な評価実績のあるWell-beingモデルを提案・適用し、主観指標、および独自性を持った市民アンケート項目を設計する

3. Well-being主観指標アンケート調査の実施

Webによるアンケートなど、市民の声を広く効率的に収集できる手法を提案・活用し、アンケートを実施する

4. Well-being主観指標アンケート調査の分析

- 市民のWell-beingの現状を整理・分析し、必要に応じて、市民や関係者へのヒアリングなどを実施する
- 吉備中央町の政策体系（総合戦略・総合計画など）とも整合性を図り、施策の方向性を整理・分析する

業務報告書目次

1. 地域課題の整理	・ ・ ・	p. 4
1-1. Well-being指標の考え方		
1-2. 吉備中央町のWell-being客観指標分析		
1-3. 他市とのWell-being客観指標の比較		
2. Well-being主観指標調査アンケートの設計・実施	・ ・ ・	p. 16
2-1. アンケート項目の設計		
3. Well-beingアンケート調査の実施	・ ・ ・	p. 19
3-1. Well-beingアンケート調査の実施		
4. Well-being指標アンケートの分析	・ ・ ・	p. 25
4-1. 回答者属性：性別、年齢構成、回答者地区、世帯人数		
4-2. Well-being指標：生活環境、地域の人間関係、自分らしい生き方、幸福度・満足度		
4-3. 事業関連：通信環境,きびアプリ,健康・医療,遠隔診療・口腔ケア,母子・子育て,移動・交通, 町全体の活気		

1. 地域課題の整理

1-1. スマートシティにおけるWell-being（地域幸福度）

スマートシティ・まちづくりの目的は、市民の幸福度（Well-being）と暮らしやすさ（Liveability）の向上

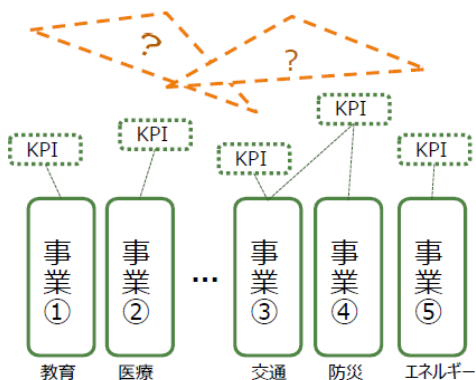
■ Well-being（地域幸福度）

「**身体的・精神的・社会的に良好な状態**」 + 「個人または集団の健康状態に違いをもたらす**経済的、社会的状況**」

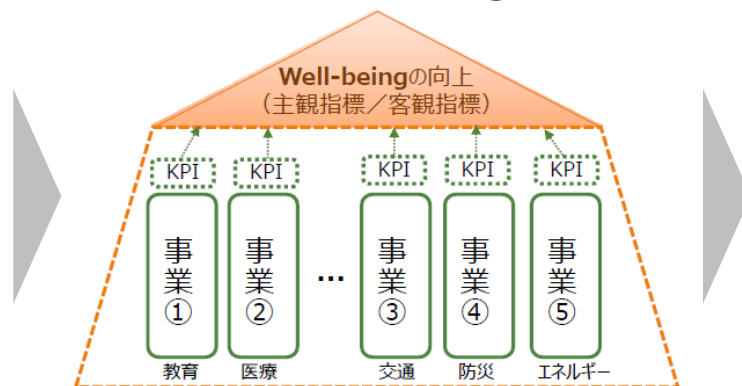
■ スマートシティにおけるWell-beingの位置づけ

- ・スマートシティ・まちづくりにおける「**人間中心主義**」を明確化
- ・市民の視点から「**暮らしやすさ**」と「**幸福感（Well-being）**」を表す**共通指標**を定義
- ・数値化・可視化することで、自治体が「**個性を磨く**」**機会を創出し**、データ根拠に基づいた**政策立案・検証を推進**

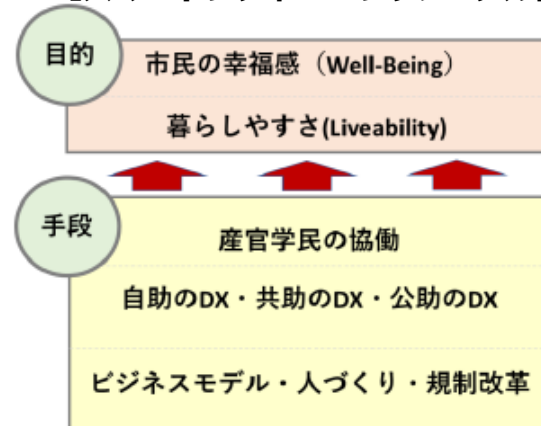
【従来：指標はバラバラ】



【今後のまちづくり：Well-beingを共通指標に】



【スマートシティ：ロジックモデル】



1-1. Well-being指標

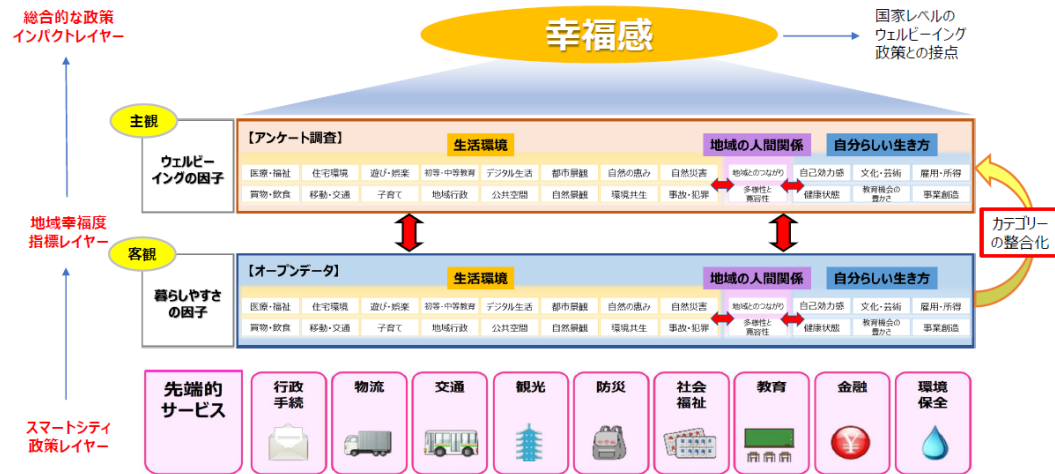
Well-being指標は、24のカテゴリで構成され「客観指標」と「主観指標」で表す

- **客観指標**：地域の生活環境や暮らしやすさを偏差値で表したもの（国のオープンデータ）
- **主観指標**：住民の意識を各自治体がアンケート調査で収集

【Well-being共通指標カテゴリ】

カテゴリ名称		
生活環境 (16)		地域の人間関係 (2)
医療・福祉	公共空間	地域とのつながり
買物・飲食	都市景観	多様性と寛容性
住宅環境	自然景観	自分らしい生き方 (6)
移動・交通	自然の恵み	
遊び・娯楽	環境共生	
子育て	自然災害	
初等・中等教育	自己・犯罪	
地域行政		
デジタル生活		雇用・所得
		事業創造

【スマートシティにおけるWell-beingの体系】



【出展】デジタル庁_地域幸福度(Well-Being)指標利活用ガイドブック

1-1. Well-being客観指標①

生活環境 (16)

医療・福祉

- 医療施設徒歩圏人口カバー率
- 医療施設徒歩圏平均人口密度 (-)
- 人口あたり国保医療費 (-)
- 人口あたり後期高齢者医療費 (-)
- 特定健康診断受診率
- 福祉施設徒歩圏人口カバー率
- 福祉施設徒歩圏平均人口密度 (-)
- 人口あたり児童福祉施設数
- 人口あたり障害者施設数
- 人口あたり認知症サポーター・サポーター数

買物・飲食

- 商業施設徒歩圏人口カバー率
- 商業施設徒歩圏平均人口密度 (-)
- 可住地面積あたりの飲食店数
- 人口あたり飲食店数

住宅環境

- 住宅あたり延べ面積
- 平均価格(住宅地) (-)
- 専用住宅1m²あたり家賃 (-)
- 一戸建の持ち家の割合

移動・交通

- 駅またはバス停留所徒歩圏人口カバー率
- 駅およびバス停徒歩圏人口密度 (-)
- 人口あたり小型車走行キロ (-)
- 通勤通学に自家用車・オートバイ・タクシーを用いない割合
- 職場までの平均通勤時間 (-)

遊び・娯楽

- 人口あたり娯楽業(映画館、劇場、スポーツ施設等)の事業所数

子育て

- 保育所まで1km未満の住宅割合
- 可住地面積あたり幼稚園数
- 施設あたり幼稚園児数 (-)
- 人口あたり待機児童数 (-)
- 歳出総額における教育費の構成比
- 合計特殊出生率

初等・中等教育

- 可住地面積あたり小学校数
- 可住地面積あたり中学校数
- 可住地面積あたり高等学校数
- 施設あたり小学生数 (-)
- 施設あたり中学生数 (-)
- 施設あたり高校生数 (-)

地域行政

- 人口あたり体育施設利用者数
- 人口あたり図書館帯出者数
- 人口あたり博物館入館者数
- 地域財政指数

デジタル生活

- 自治体DX指数
- デジタル政策指数
- デジタル生活指数

公共空間

- 公園緑地徒歩圏人口カバー率
- 人口あたり公園の面積
- 歩道設置率
- ウォーカブル指数

都市景観

- 都市景観指数

自然景観

- 自然景観指数

自然の恵み

- 食料生産ポテンシャル
- 水供給ポテンシャル
- 木材供給ポテンシャル
- 炭素吸収量
- 蒸発散量
- 地下水涵養量
- 土壌流出防止量
- 窒素除去量
- リン酸除去量
- NO₂吸収量
- SO₂吸収量
- 洪水調整量
- 表層崩壊からの安全率
- 緑地へのアクセス度
- 水域へのアクセス度
- オートキャンプ場への立地

環境共生

- NOx平均値 (-)
- PM_{2.5}年平均値 (-)
- ゴミのリサイクル率
- 人口あたり年間CO₂排出量 (-)
- 人口あたり再生エネルギー発電量
- 環境政策指数

自然災害

- 外水氾濫危険度
- 高潮危険度
- 土砂災害危険度
- 地震動危険度
- 津波危険度
- ハード対策
- 避難・救助
- 要配慮者支援
- 防災教育
- 防災まちづくり
- 情報・デジタル防災

事故・犯罪

- 人口あたり交通事故件数* (-)
- 人口あたり刑法犯認知件数* (-)
- 空家率 (-)

指数を構成するKPIはP14~15を参照
*各都道府県・市区町村HP等から取得
(-)のあるKPIは高い方が偏差値が低く算出

1-1. Well-being客観指標②

地域の人間関係（2）

地域とのつながり

- 人口あたり自殺者数（-）
- 拡大家族世帯割合
- 既婚者の割合
- 高齢単身世帯の割合（-）
- 居住期間が20年以上の人口の割合
- 祭り開催数
- 自治会・町内会加入率*
- 人口あたり政治団体等の数
- 人口あたり宗教の事業所数
- 人口あたりNPOの数
- 人口あたり都市再生推進法人・UDCの数
- 関係人口創出活動指数

多様性と寛容性

- 議会における女性議員の割合
- 自治体の管理職職員における女性の割合
- 自治体職員における障害者の割合
- 人口あたり外国人人口
- 多様性政策指数

自分らしい生き方（6）

自己効力感

- 首長選挙投票率
- 市区町村議会選挙の投票率

健康状態

- 健康寿命（平均自立期間）（男性）
- 健康寿命（平均自立期間）（女性）

文化・芸術

- 芸術家・著述家等の割合
- 国宝・重要文化財（建造物）の数
- 日本遺産の数

教育機会の豊かさ

- 大卒・院卒者の割合
- 可住地面積あたり大学・短期大学の数
- 可住地面積あたり国立・私立中高一貫校数
- 人口あたり生涯学習講座数
- 人口あたり生涯学習講座受講者数
- 人口あたり青少年教育施設利用者数
- 人口あたり女性教育施設利用者数

雇用・所得

- 完全失業率（-）
- 若年層完全失業率（-）
- 正規雇用者比率
- 高齢者有業率
- 高卒者進路未定者率（-）
- 市区町村内で従業している者の割合
- 創業比率
- 納税者あたり課税対象所得

事業創造

- クリエイティブ産業事業所の構成比
- 新規設立法人の割合
- 従業者数あたりコワーキングスペースの数
- 大学発ベンチャー企業数

1-1. Well-being主観指標

地域における幸福度・生活満足度（4）

- 現在、あなたはどの程度幸せですか？
- 現在、あなたの町内（集落）の人々は、大体において、どれぐらい幸せだと思いますか？

- 現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。
- 自分だけでなく、身近な周りの人も楽しい気持ちでいると思う

生活環境（16）

医療・福祉（2）

- 医療機関が充実している（利便性）
- 介護・福祉施設のサービスが受けやすい

買物・飲食（2）

- 日常の買い物に全く不便がない（利便性）
- 飲食を楽しめる場所が充実している

住宅環境（3）

- 自宅には、心地よい居場所がある（居住空間）
- 【逆】自宅の近辺では、騒音に悩まされている（秩序）
- 適度な費用で住居を確保できる

移動・交通（1）

- 公共交通機関で好きな時に好きなところへ移動ができる

遊び・娯楽（1）

- 楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある

子育て（2）

- 子育て支援・補助が手厚い
- 子どもたちがいきいきと暮らせる

初等・中等教育（2）

- 教育環境（小中高校）が整っている
- 通学しやすい場所に学校がある

地域行政（2）

- 地域の行政は、地域のことを真剣に考えている（地域行政）（社会関係資本）
- 公共施設は使い勝手良く便利である（利便性）

デジタル生活（2）

- 行政サービスのデジタル化が進んでいる
- 仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい

公共空間（2）

- 地域の雰囲気は、自分にとって心地よい（相性）
- まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある

都市景観（1）

- 自慢できる都市景観がある

自然景観（1）

- 自慢できる自然景観がある

自然の恵み（2）

- 身近に自然を感じることができる（自然）
- 暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる（自然）

環境共生（1）

- リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである

自然災害（1）

- 暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている。

事故・犯罪（2）

- 防犯対策（交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよい
- 歩道や信号が整備されていて安心である

地域の人間関係（2）

地域とのつながり（5）

- 私は同じ町内に住む人々を信頼している（社会関係資本）
- 地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである（社会関係資本）
- 困ったときに相談できる人が身近にいる（つながり・感謝）（社会関係資本）
- 町内の人が困っていたら手助けする（向社会的行動）
- このまちに愛着を持っている（一体感）

多様性と寛容性（5）

- 町内にはどんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある（異質性・多様性）
- 私は見知らぬ他者であっても信頼する（異質性・多様性）（過干渉・不寛容）
- 私は、町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる（一体感）（過干渉・不寛容）
- 女性が活躍しやすい
- 若者が活躍しやすい

自分らしい生き方（6）

自己効力感（1）

- 自分のことを好ましく感じる（一体感）

健康状態（2）

- 身体的に健康な状態である（健康）（地域の幸福）
- 精神的に健康な状態である（健康）（地域の幸福）

文化・芸術（2）

- 文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい（ダイナミズム・誇り）
- 将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい（多世代共創）

教育機会の豊かさ（1）

- 学びたいことを学べる機会がある

雇用・所得（2）

- やりたい仕事を見つけやすい
- 適切な収入を得るための機会がある

事業創造（1）

- 新たなことに挑戦・成長するための機会がある（ダイナミズム・誇り）（モチベーション）

1-2. 吉備中央町Well-being客観指標分析：暮らしやすさの偏差値①

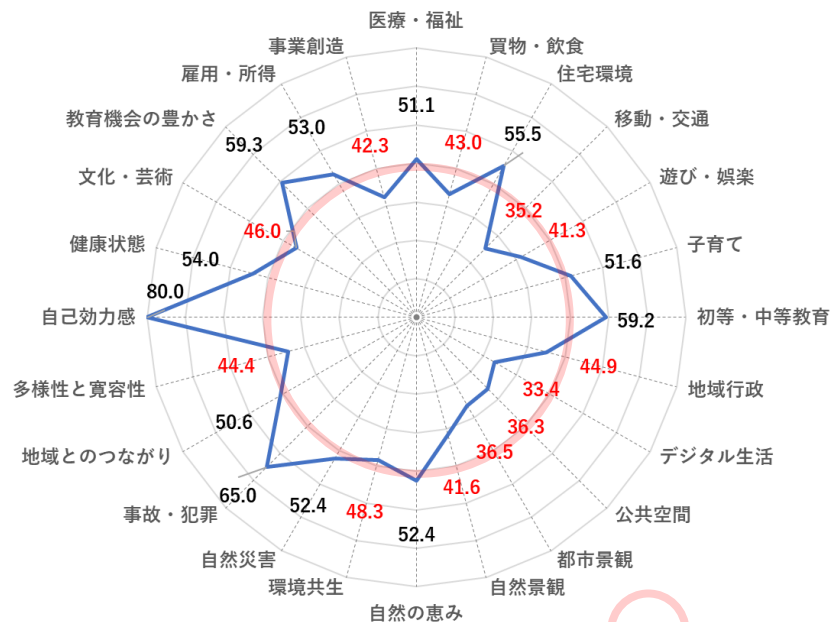
右側の生活環境に係る部分は偏差値50以下が多い、自己効力感や文化・芸術は高い

【客観指標偏差値】 偏差値50以下を赤で表示

吉備中央町	客観 偏差値	吉備中央町	客観 偏差値
医療・福祉	51.1	地域とのつながり	50.6
買物・飲食	43.0	多様性と寛容性	44.4
住宅環境	55.5	自己効力感	80.0
移動・交通	35.2	健康状態	54.0
遊び・娯楽	41.3	文化・芸術	46.0
子育て	51.6	教育機会の豊かさ	59.3
初等・中等教育	59.2	雇用・所得	53.0
地域行政	44.9	事業創造	42.3
デジタル生活	33.4		
公共空間	36.3		
都市景観	36.5		
自然景観	41.6		
自然の恵み	52.4		
環境共生	48.3		
自然災害	52.4		
事故・犯罪	65.0		

※偏差値50以下を赤で表示

【客観指標レーダーチャート】



※ 客観指標は各種細目から算出されているため、
因子名称の解釈には注意が必要

1-2. 備前市Well-being客観指標分析：暮らしやすさの偏差値②

詳細を見ると、同一カテゴリでも高い偏差値と低い偏差値がある



偏差値：50

1-2. 備前市Well-being客観指標分析：暮らしやすさの偏差値③

各項目、詳細な偏差値は以下の通り ※例：20%に近いものに注目

生活環境	客観偏差値	生活環境	客観偏差値	生活環境	客観偏差値	生活環境	客観偏差値	地域の人間関係	客観偏差値	自分らしい生き方	客観偏差値
医療施設徒歩圏人口カバー率	20.0	可住地面積あたり幼稚園数	39.7	食料供給ポテンシャル	49.5	高潮	56.3	人口あたり自殺者数	20.0	首長選挙の投票率	80.0
医療施設徒歩圏平均人口密度	61.5	一施設当たり幼稚園児数	71.3	水供給ポテンシャル	40.7	土砂災害	42.7	拡大家族世帯割合	69.1	市区町村議会選挙の投票率	80.0
人口あたり国民健康保険者医療費	32.7	人口あたり待機児童数	53.9	木材供給ポテンシャル	47.5	地震動	80.0	既婚者割合	61.9	健康寿命（男性）	48.7
人口あたり後期高齢医療費	43.2	歳出総額の教育費割合	37.0	炭素吸収量	63.1	津波	56.5	高齢単身世帯割合	23.7	健康寿命（女性）	59.3
特定健診実施率		合計特殊出生率	56.1	蒸発散量	56.0	ハード対策	57.1	居住期間が20年以上の人口割合	74.2	芸術家・著述家等割合	
福祉施設徒歩圏人口カバー率	29.3	可住地面積あたり小学校数	42.7	地下水涵養量	44.0	避難・救助	45.7	祭りの数	44.2	国宝・重要文化財（建造物）数	47.9
福祉施設徒歩圏平均人口密度	61.2	可住地面積あたり中学校数	41.4	土壌流出防止量	51.1	要配慮者支援	42.2	自治会・町内会加入率		日本遺産数	44.1
人口あたり児童福祉施設数	69.1	可住地面積あたり高等学校数	43.9	窒素除去量	49.4	防災教育	42.2	人口あたり政治団体等の数	47.7	大卒・院卒者の割合	38.3
人口あたり障害者施設数	80.0	一施設当たり小学生数	79.2	リン酸除去量	49.1	防災まちづくり	39.4	人口あたり宗教の事業所数	79.2	可住地面積あたり大学・短期大学数	46.4
人口あたり認知症サポーター・メイト・サポーター	62.9	一施設当たり中学生数	75.6	NO2吸収量	57.1	情報・デジタル防災	46.4	人口あたりNPOの数	42.6	可住地面積あたり私立・国立中高一貫校数	47.1
商業施設徒歩圏人口カバー率	20.0	一施設当たり高校生数	72.7	SO2吸収量	65.6	人口あたり交通事故件数		人口あたり都市再生推進法人・UDC数	47.5	人口あたり生涯学習講座数	80.0
商業施設徒歩圏平均人口密度	63.5	人口あたり体育施設利用者数	42.1	洪水調整量	49.5	人口あたり刑法犯認知件数	65.0	関係人口創出活動指数	46.9	人口あたり生涯学習講座受講者数	77.3
可住地面積あたり飲食店数	45.1	人口あたり図書館帯出者数	44.6	表層崩壊への安全性	47.9	空家率		議会の女性議員割合	45.9	人口あたり青少年教育施設利用者数	80.0
人口あたり飲食店数	43.6	人口あたり博物館入館者数	49.0	緑地へのアクセス度	74.2			自治体における管理職の女性割合	44.9	人口あたり女性教育施設利用者数	46.1
住宅当たり延べ面積		財政指数	43.8	水域へのアクセス度	36.9			自治体職員における障害者の割合	37.6	完全失業率	66.0
平均価格（住宅地）	55.5	自治体DX指数	20.0	オートキャンプ場への立地	57.7			人口あたり外国人人口	51.2	若年層完全失業率	32.3
専用住宅面積あたり家賃		デジタル政策指数	41.0	NOx濃度				多様性政策指数	42.6	正規雇用者比率	45.2
一戸建の持ち家の割合		デジタル生活指数	39.2	PM2.5濃度	50.2					高齢者有業率	80.0
駅・バス停留所徒歩圏人口カバー率	20.2	公園緑地徒歩圏人口カバー率	20.0	ゴミのサイクル率	38.7					高卒者進路未定者率	68.5
駅・バス停徒歩圏人口密度	61.4	人口あたり公園面積	56.8	人口あたりCO2排出量	24.8					市区町村内で従業している者の割合	56.9
人口あたり小型車走行キロ	20.0	歩道設置率	29.2	人口あたり再生可能エネルギー発電容量	80.0					創業比率	33.6
通勤通学に自家用車等を用いない割合	39.4	ウォークابل指数	39.2	環境政策指数	47.7					納税者あたり課税対象所得	41.5
職場までの平均通勤時間		都市景観指数	36.5	外水氾濫	67.6					クワイエティブ産業事業所構成比	35.3
人口あたり娯楽事業所数	41.3	自然景観指数	41.6							新規設立法人の割合	39.9
保育所への距離1kmの住宅割合										従業者数あたりコワーキングスペース数	47.9
										大学発ベンチャー企業数	46.0

※偏差値50以下を赤で表示

【コメント】

- 客観指標の細目は、市民の感覚を客観評価したものではない。
- 客観指標の細目は、客観データから算出されたものだが、前述の客観指標では因子集約されているため、その解釈には注意が必要である

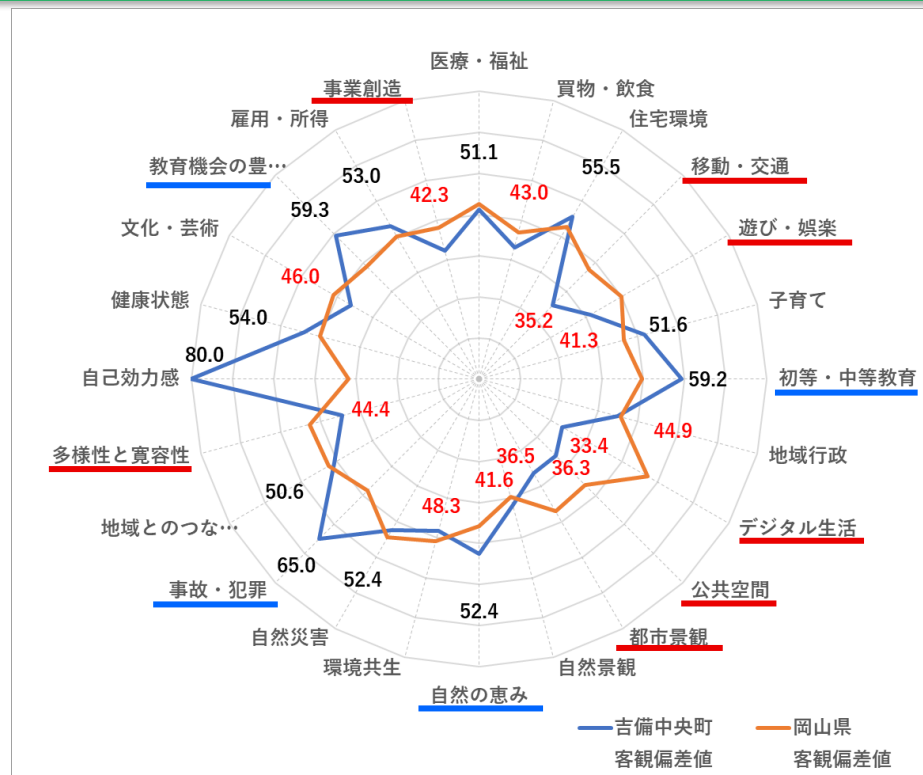
1-3. 他市とのWell-being客観指標比較：岡山県全体との比較

移動・交通、遊び・娯楽、デジタル生活等（星印）で県偏差値を5ポイント以上、下回っている

	吉備中央町 客観偏差値	岡山県 客観偏差値	客観偏差値差分 (備前市-岡山県)
医療・福祉	51.1	52.4	-1.3
買物・飲食	43.0	46.8	-3.8
住宅環境	55.5	52.6	2.9
★移動・交通	35.2	47.7	-12.5
★遊び・娯楽	41.3	50.0	-8.7
子育て	51.6	46.3	5.3
★初等・中等教育	59.2	49.6	9.6
地域行政	44.9	45.6	-0.8
★デジタル生活	33.4	57.2	-23.8
★公共空間	36.3	46.3	-10.0
★都市景観	36.5	47.1	-10.7
自然景観	41.6	39.6	2.0
★自然の恵み	52.4	45.7	6.8
環境共生	48.3	50.8	-2.5
自然災害	52.4	54.5	-2.1
★事故・犯罪	65.0	48.3	16.7
地域とのつながり	50.6	52.2	-1.5
★多様性と寛容性	44.4	52.7	-8.3
自己効力感	80.0	41.8	38.2
健康状態	54.0	50.1	3.9
文化・芸術	46.0	51.0	-4.9
★教育機会の豊かさ	59.3	48.6	10.7
雇用・所得	53.0	50.1	2.9
★事業創造	42.3	48.0	-5.7

※ 岡山県との比較

★5ポイント以上高い、★5ポイント以上低い



1-3. 他市とのWell-being客観指標比較：近隣の岡山市町体との比較

岡山県比較（星印）でマイナスであった項目で、同様に近隣より低い傾向

	吉備中央町	岡山市	岡山市との 差分	総社市	総社市との 差分	高梁市	高梁市との 差分	真庭市	真庭市との 差分	美咲町	美咲町との 差分	
	医療・福祉	51.1	48.9	2.2	46.9	4.2	49.8	1.3	54.1	-3.0	53.1	-2.0
	買物・飲食	43.0	49.4	-6.3	44.3	-1.2	45.1	-2.1	44.3	-1.3	42.6	0.4
	住宅環境	55.5	51.4	4.1	57.9	-2.4	58.1	-2.6	64.3	-8.8		
★	移動・交通	35.2	49.2	-14.0	45.2	-9.9	45.2	-10.0	40.5	-5.2	36.6	-1.4
★	遊び・娯楽	41.3	48.9	-7.6	44.9	-3.6	43.2	-1.9	48.5	-7.2	48.0	-6.7
	子育て	51.6	52.1	-0.5	49.5	2.1	49.8	1.8	49.4	2.2	51.9	-0.3
★	初等・中等教育	59.2	45.8	13.4	46.8	12.4	60.2	-0.9	56.3	3.0	54.9	4.4
	地域行政	44.9	46.6	-1.7	53.8	-8.9	48.5	-3.6	44.7	0.2	47.9	-3.0
★	デジタル生活	33.4	59.4	-26.0	37.9	-4.5	43.5	-10.1	36.7	-3.3	33.7	-0.3
★	公共空間	36.3	52.6	-16.3	40.6	-4.3	42.3	-6.0	36.7	-0.4	33.7	2.6
★	都市景観	36.5	57.8	-21.3	36.5	0.0	47.1	-10.6	36.5	0.0	36.5	0.0
	自然景観	41.6	56.2	-14.6	56.2	-14.6	41.6	0.0	56.2	-14.6	41.6	0.0
★	自然の恵み	52.4	49.1	3.4	51.3	1.1	54.2	-1.8	54.8	-2.4	53.1	-0.7
	環境共生	48.3	49.4	-1.1	44.3	4.0	51.7	-3.4	62.6	-14.3	53.5	-5.2
	自然災害	52.4	55.6	-3.3	50.8	1.5	50.9	1.5	48.3	4.1	50.9	1.5
★	事故・犯罪	65.0	47.4	17.6	57.6	7.4	42.2	22.8	45.5	19.5	65.3	-0.3
	地域とのつながり	50.6	52.3	-1.7	51.8	-1.2	56.6	-6.0	62.2	-11.6	52.5	-1.8
★	多様性と寛容性	44.4	51.8	-7.3	54.0	-9.5	47.1	-2.7	51.1	-6.7	53.6	-9.2
	自己効力感	80.0	40.3	39.7	61.4	18.6	80.0	0.0	79.6	0.4	80.0	0.0
	健康状態	54.0	55.4	-1.4	57.4	-3.4	52.9	1.1	59.9	-5.9	46.2	7.8
	文化・芸術	46.0	53.2	-7.2	52.8	-6.8	53.1	-7.1	45.7	0.3	46.3	-0.3
★	教育機会の豊かさ	59.3	50.0	9.3	50.7	8.6	52.3	7.1	52.4	6.9	46.7	12.6
	雇用・所得	53.0	50.2	2.8	51.1	1.9	54.5	-1.5	58.9	-5.9	50.5	2.5
★	事業創造	42.3	53.1	-10.8	47.3	-5.0	42.2	0.1	42.4	-0.2	43.4	-1.1

※ 岡山県との比較 ★5ポイント以上高い、★5ポイント以上低い

1-3. 他市とのWell-being客観指標比較：デジ田関連

岡山県比較（星印）でマイナスであった項目以外にも低い傾向項目がある

	吉備中央町		茅野市		差分		加賀市		差分	
	医療・福祉	51.1	50.6	0.5	54.7	-3.6				
	買物・飲食	43.0	43.4	-0.3	47.8	-4.7				
	住宅環境	55.5	57.3	-1.9	64.5	-9.0				
★	移動・交通	35.2	44.7	-9.5	44.7	-9.5				
★	遊び・娯楽	41.3	52.4	-11.1	55.9	-14.6				
	子育て	51.6	48.5	3.1	46.7	4.9				
	初等・中等教育	59.2	49.4	9.8	56.3	2.9				
	地域行政	44.9	47.1	-2.2	47.6	-2.7				
★	デジタル生活	33.4	53.4	-20.0	50.5	-17.1				
★	公共空間	36.3	40.5	-4.2	49.6	-13.3				
★	都市景観	36.5	36.5	0.0	47.1	-10.6				
	自然景観	41.6	56.2	-14.6	41.6	0.0				
★	自然の恵み	52.4	55.6	-3.1	62.7	-10.2				
	環境共生	48.3	47.5	0.8	56.1	-7.8				
	自然災害	52.4	47.6	4.8	52.0	0.3				
★	事故・犯罪	65.0	43.2	21.8	46.1	18.9				
	地域とのつながり	50.6	54.3	-3.7	54.2	-3.5				
★	多様性と寛容性	44.4	52.0	-7.6	50.9	-6.5				
	自己効力感	80.0	68.4	11.6	80.0	0.0				
	健康状態	54.0	68.5	-14.5	53.0	1.0				
	文化・芸術	46.0	52.2	-6.2	53.1	-7.1				
★	教育機会の豊かさ	59.3	48.8	10.5	55.3	4.0				
	雇用・所得	53.0	55.9	-2.9	50.5	2.5				
★	事業創造	42.3	46.3	-4.0	41.6	0.7				

※ 岡山県との比較

★5ポイント以上高い、★5ポイント以上低い

2. Well-being主観指標調査アンケートの設計・実施

2-1. アンケートの設計：アンケート項目

設問数：72問（Well-being：41問、事業関連：31問）のアンケートを設計・Web化

Well-being関連：5系・41問

属性 (4)		
医療・福祉 (2)	デジタル生活 (2)	地域とのつながり (5)
買物・飲食 (2)	公共空間 (0)	多様性と寛容性 (3)
住宅環境 (0)	都市景観 (0)	自己効力感 (1)
移動・交通 (1)	自然景観 (1)	健康状態 (2)
遊び・娯楽 (1)	自然の恵み (0)	文化・芸術 (2)
子育て (2)	環境共生 (0)	教育機会の豊かさ (1)
初等・中等教育 (1)	自然災害 (1)	雇用・所得 (1)
地域行政 (2)	事故・犯罪 (1)	事業創造 (1)
幸福度・満足度 (5)		

【設問設計の考え方】

- 問題数を減らし、アンケートの離脱率を下げるため、市と協議の上、政策的目標や市の現状に合わせてWell-being関連の問題を選択。設問選択にあたっては、他市事例を提示して市と協議。設問文についてもスマートシティ・インスティテュート提供のものから、女性・若者の活躍を一問に集約するなど、一部文言を修正
- Well-being設問に加え、事業関連として、通信環境、きびアプリ、健康・医療、遠隔診療・口腔ケア、母子・子育て環境・移動・交通など、市としての関心項目を調査

事業関連：8系統・31問

分野	設問
通信環境	どの通信会社（キャリア）のスマホをお使いですか
	吉備中央町で生活する上で、スマホの通信環境で困ったことはありますか
	どのような時に困ったかを教えてください
	スマートフォン・タブレットの利用目的は何ですか 自宅にインターネットが使える環境はありますか
きびアプリ	「きびアプリ」が提供するサービスの関心・興味がありますか
	「きびバーチャル商店街」について、関心はありますか
健康・医療	健康維持のために身体を動かしていますか
	健康維持のため、健康に関するデータを取っていますか
	健康データを取られている場合、どのような項目を測っていますか
	健康を維持するため、自分で取った健康データを医療関係者と共有し、健康に対するアドバイスをもらうことをどう思いますか
	救急時など速やかな対処を実現するために、自分で計測した健康データを、救急救命士や医療関係者と共有することをどう思いますか
遠隔診療・口腔ケア	救急搬送している間に、救急救命士が医師の指示の元で、超音波エコーで診療することに賛同しますか
	あなたやご家族が《町外》の病院に通院した経験（過去5年以内）はありますか
	《町外》に通院した経験を教えてください
	《町外》に通院した場合のだいたいの頻度を教えてください
	《町外》に通院する場合の移動手段（交通手段）を教えてください
母子・子育て環境	《町外》の大病院での再受診が必要な診療を、町内の病院で遠隔（オンライン）で受診できる環境について、関心はありますか
	口腔ケアについて関心はありますか
	吉備中央町の「母子・子育て環境」について、良いと思う点は何ですか
	吉備中央町の「母子・子育て環境」について、改善してほしいと思う点は何ですか
	子育てをする上での送迎では、どのような目的での送迎が多いですか
移動・交通	送迎は主に誰が行っていますか
	送迎することが多い時間帯を教えてください
	日常生活で公共交通機関（バス・タクシー）を使うだいたいの頻度を教えてください
	公共交通機関を利用する目的を教えてください
	日常生活で「へそバス」を使っていますか
町全体の活気	日常生活の移動で改善されるといえると思うのはどんなときですか
	吉備中央町に期待する「賑わいのあるまち」とは、どのようなまちをイメージしますか
全般	全体を通して、その他、ご意見やご要望があれば教えてください

2-1. アンケートの設計：アンケート画面

スマホ・PCのいずれでも回答しやすいように配慮

スマホ画面イメージ

12:29

2. 生活環境についてうかがいます

吉備中央町での生活環境の中で気づくことについてお答えください。
次の質問について、あてはまるものを1つ選んでください。

01 暮らしている地域は、救急を含め医療環境や医療機関が充実している
4 ある程度あてはまる

☐ 5 非常にあてはまる
☒ 4 ある程度あてはまる
☐ 3 どちらとも言えない
☐ 2 あまりあてはまらない
☐ 1 全くあてはまらない

02 私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが充実している
4 ある程度あてはまる

03 暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない
3 どちらとも言えない

Web画面イメージ

2. 生活環境についてうかがいます

吉備中央町での生活環境の中で気づくことについてお答えください。
次の質問について、あてはまるものを1つ選んでください。

	5 非常にあてはまる	4 ある程度あてはまる	3 どちらとも言えない	2 あまりあてはまらない	1 全くあてはまらない
01 暮らしている地域は、救急を含め医療環境や医療機関が充実している	☐	☒	☐	☐	☐
02 私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが充実している	☐	☒	☐	☐	☐
03 暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない	☐	☐	☒	☐	☐
04 私の暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実している	☐	☐	☐	☒	☐
05 私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる	☐	☐	☐	☒	☐
06 私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽（交流の場所や機会を含む）がある	☐	☐	☐	☒	☐
07 私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い	☐	☒	☐	☐	☐
08 私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる	☐	☒	☐	☐	☐
09 私の暮らしている地域では、教育環境・教育機会が充実している	☐	☒	☐	☐	☐

【画面設計の考え方】

- スマホ・PCのいずれでも回答しやすいように配慮して画面を設計
- スマホ・PCの画面サイズを留意し、同一の設問に対しても機器の特性に合わせた表示に

3. Well-beingアンケート調査の実施

3-1. アンケート実施概要

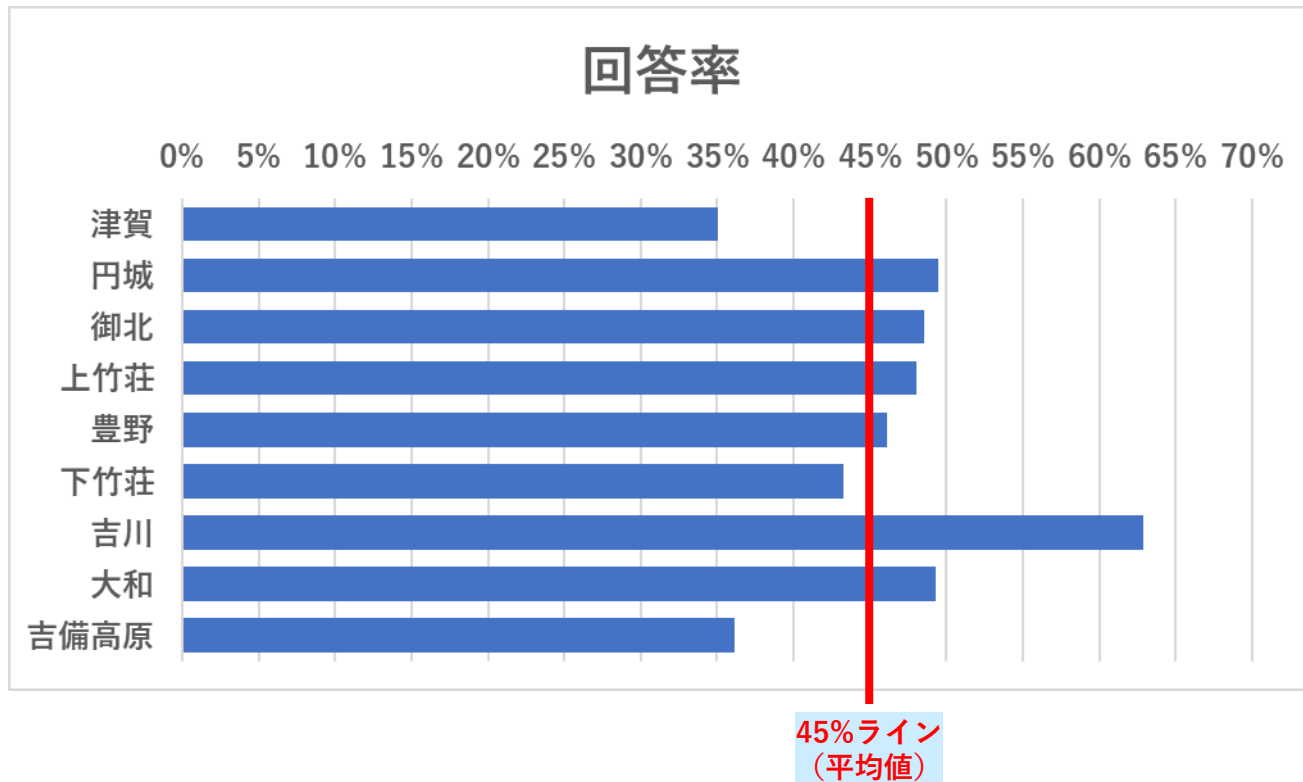
実施期間	2023年12月14日 ～ 2024年1月21日
対象者属性	吉備中央町9地区1000世帯（無作為抽出） ※複数回答可
依頼数	1,000件
有効回答総数※	450件（全回答数：521件、無効回答数：71件）
回答率	45.0%
回収方法	①Webによるアンケート ②郵送による書面アンケート
回収方法別回答率	Web回答：221件（49%）、郵送回答：229件（51%）
アンケート項目	13系統・72問 属性、生活環境、地域の人間関係、自分らしい生き方、地域における幸福度・満足度 通信環境、きびアプリ、健康・医療、遠隔診療・口腔ケア、母子・子育て、移動・交通 町全体の活気、その他意見や要望

※ 有効回答総数は、全回答数から地域情報以下の入力が無回答のもの（無効回答）を除去したものを意味する

※ 有効回答数は、設問によって無回答の回答者もあり、かならずしも有効回答件数とは一致しない

3-1. アンケート回答率

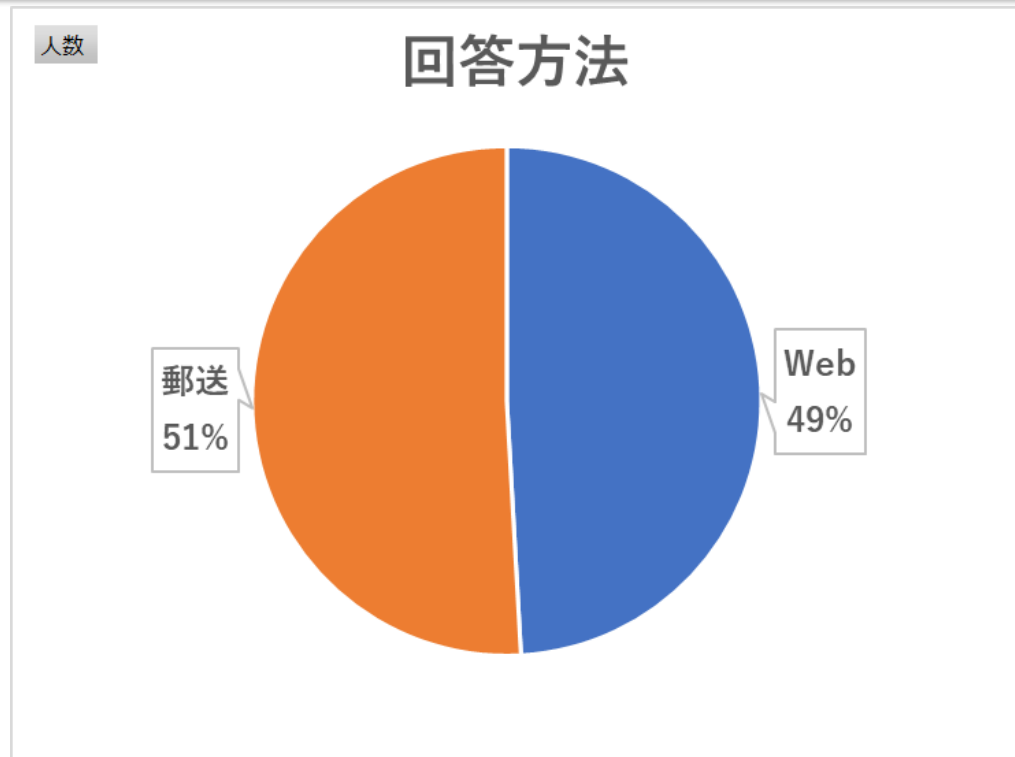
地区	回答数	送付数	回答率
津賀	48	137	35%
円城	50	101	50%
御北	51	105	49%
上竹荘	49	102	48%
豊野	42	91	46%
下竹荘	32	74	43%
吉川	44	70	63%
大和	69	140	49%
吉備高原	65	180	36%
総計	450	1000	45%



3-1. 回答方法(Web／郵送)

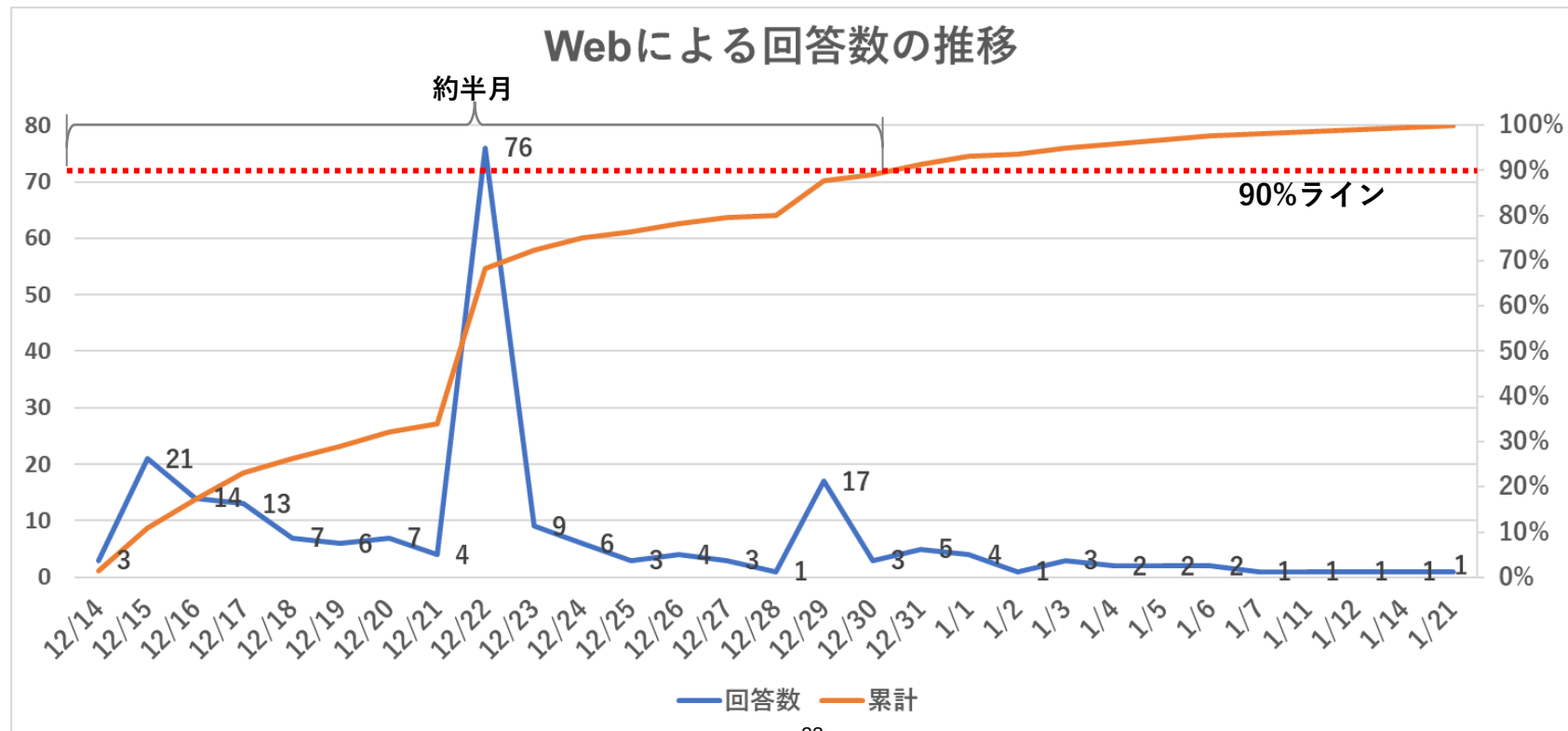
郵送回答とWeb回答の比率はほぼ等しかった

回答方法▼	人数
Web	221
郵送	229
総計	450



3-1. Webによる回答数の推移

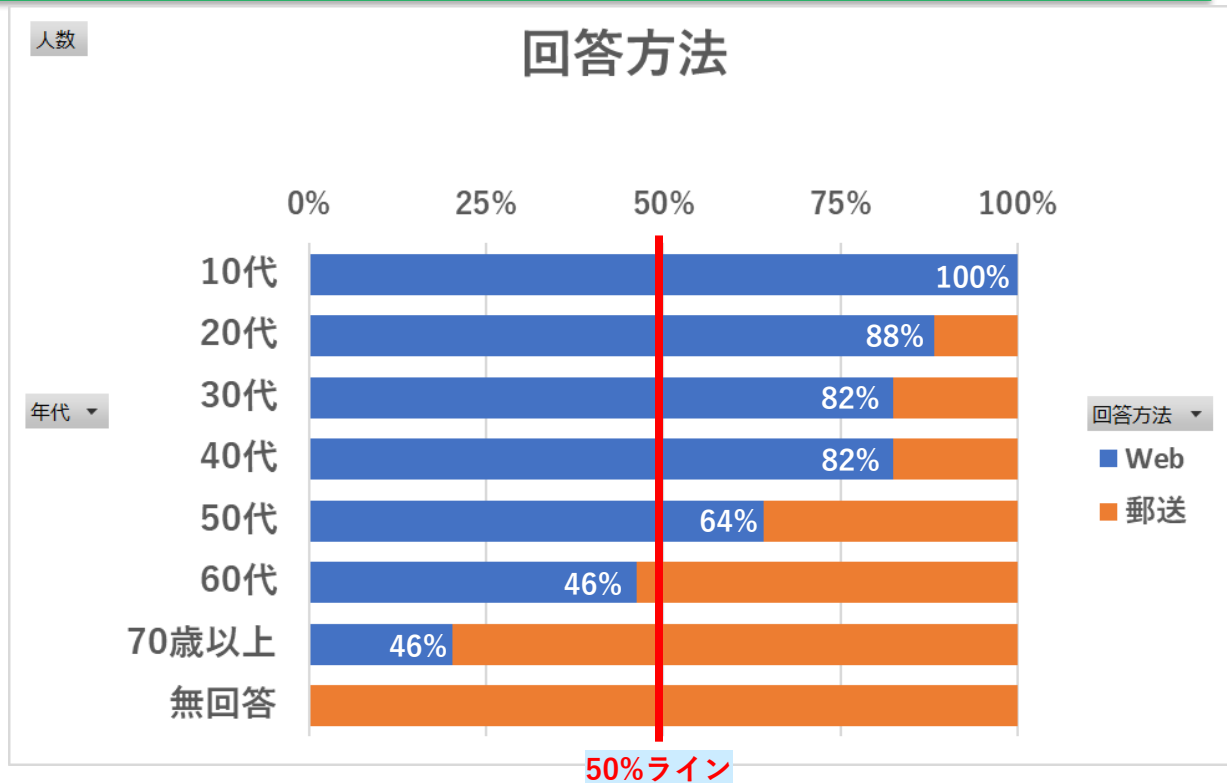
Web回答の90%は前半の半月で達成



3-1. 年代別の回答方法

40代以下は80%以上がWeb回答。50代でも64%、60代でも46%がWebで回答

年代	Web	郵送	総計
10代	3		3
20代	15	2	17
30代	28	6	34
40代	47	10	57
50代	41	23	64
60代	56	65	121
70歳以上	31	122	153
無回答		1	1
総計	221	229	450



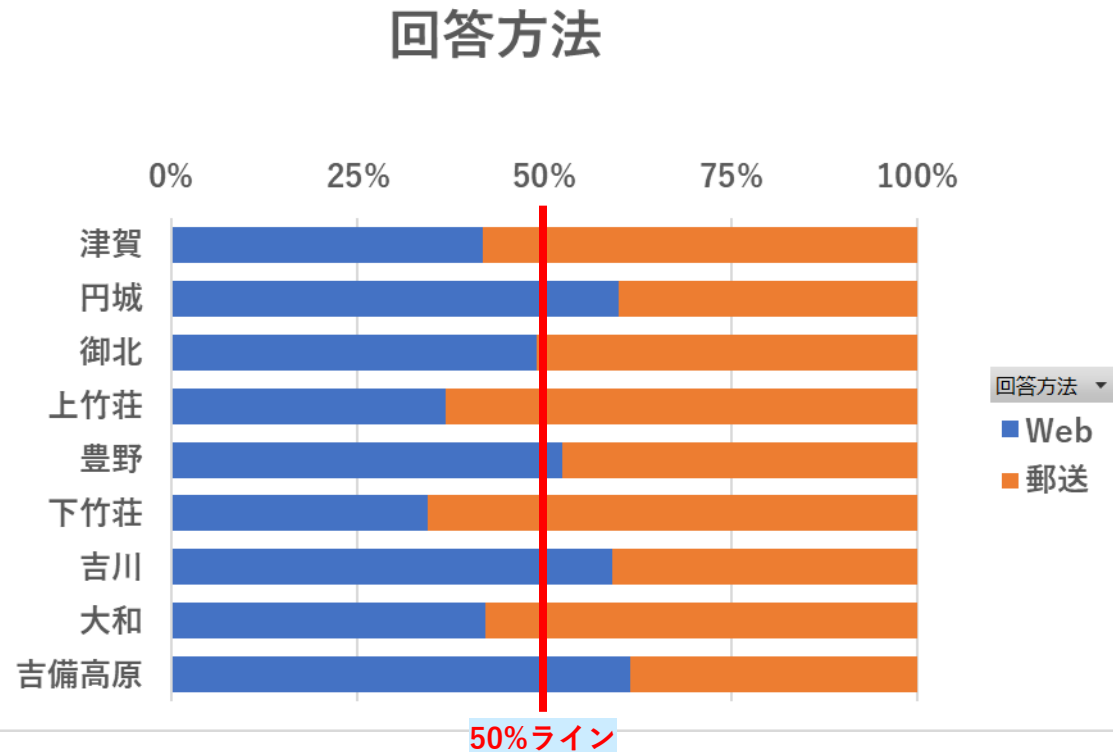
3-1. 地区別の回答方法

回答方法の地区別の比率は、地区によってやや異なる

地区	Web	郵送	回答数	送付数	送付数
津賀	20	28	48	137	35%
円城	30	20	50	101	50%
御北	25	26	51	105	49%
上竹荘	18	31	49	102	48%
豊野	22	20	42	91	46%
下竹荘	11	21	32	74	43%
吉川	26	18	44	70	63%
大和	29	40	69	140	49%
吉備高原	40	25	65	180	36%
総計	221	229	450	1000	45%

人数

地区 ▼



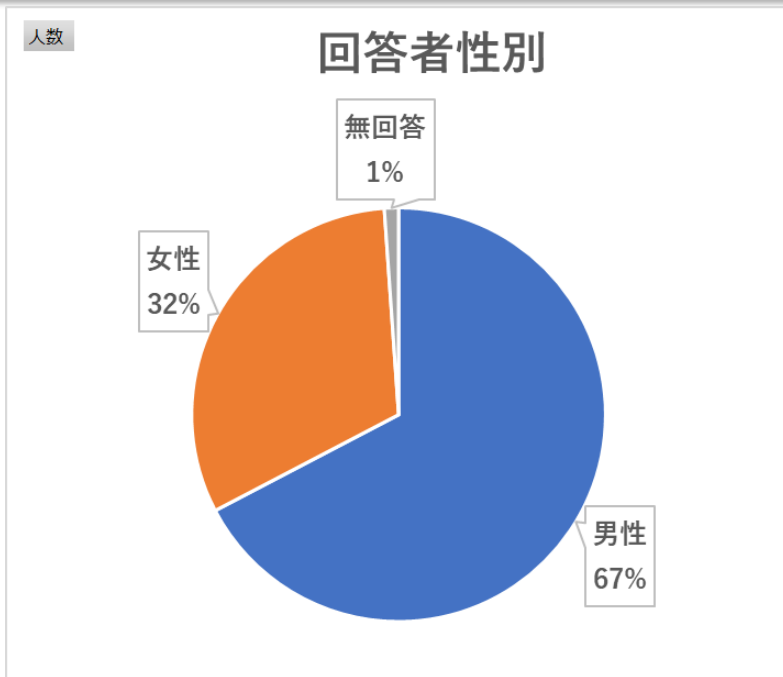
4. Well-being指標アンケートの分析

4-1. 回答者属性

回答者属性：性別

回答者は男性が約2/3、女性が約1/3

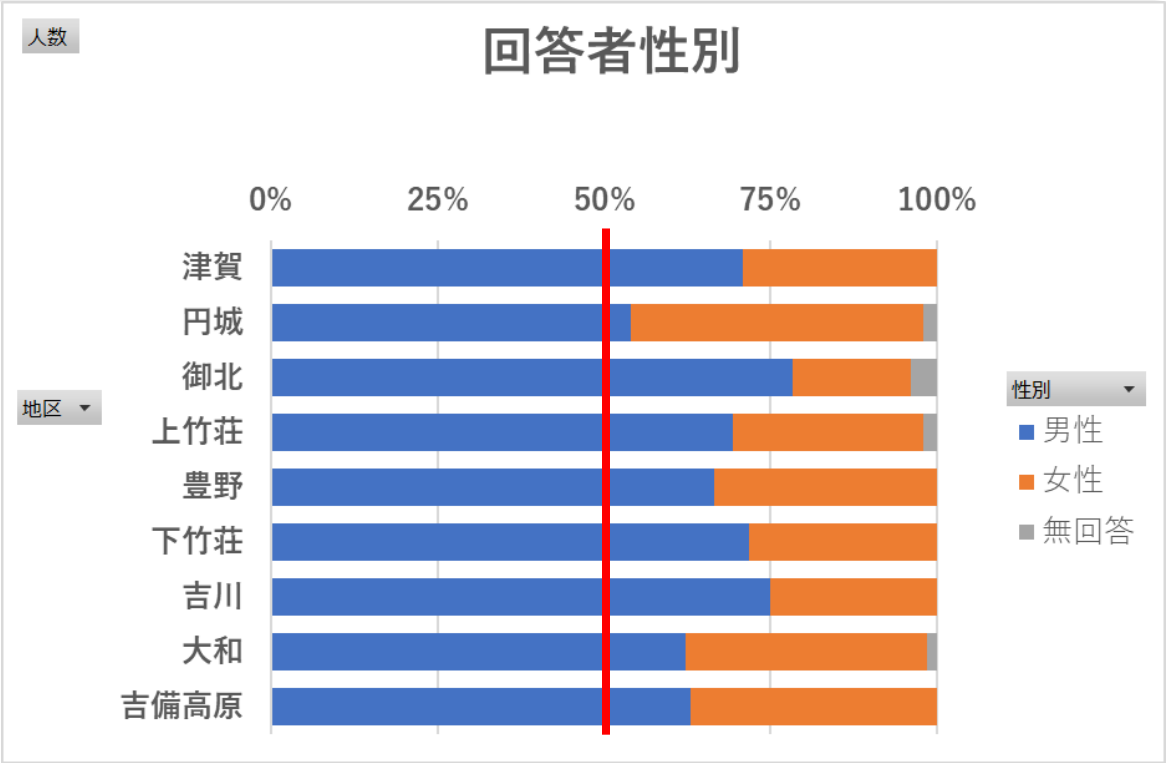
性別	人数
男性	303
女性	142
無回答	5
総計	450



回答者属性：地区別性別

回答者の男女比は地区によってやや異なる

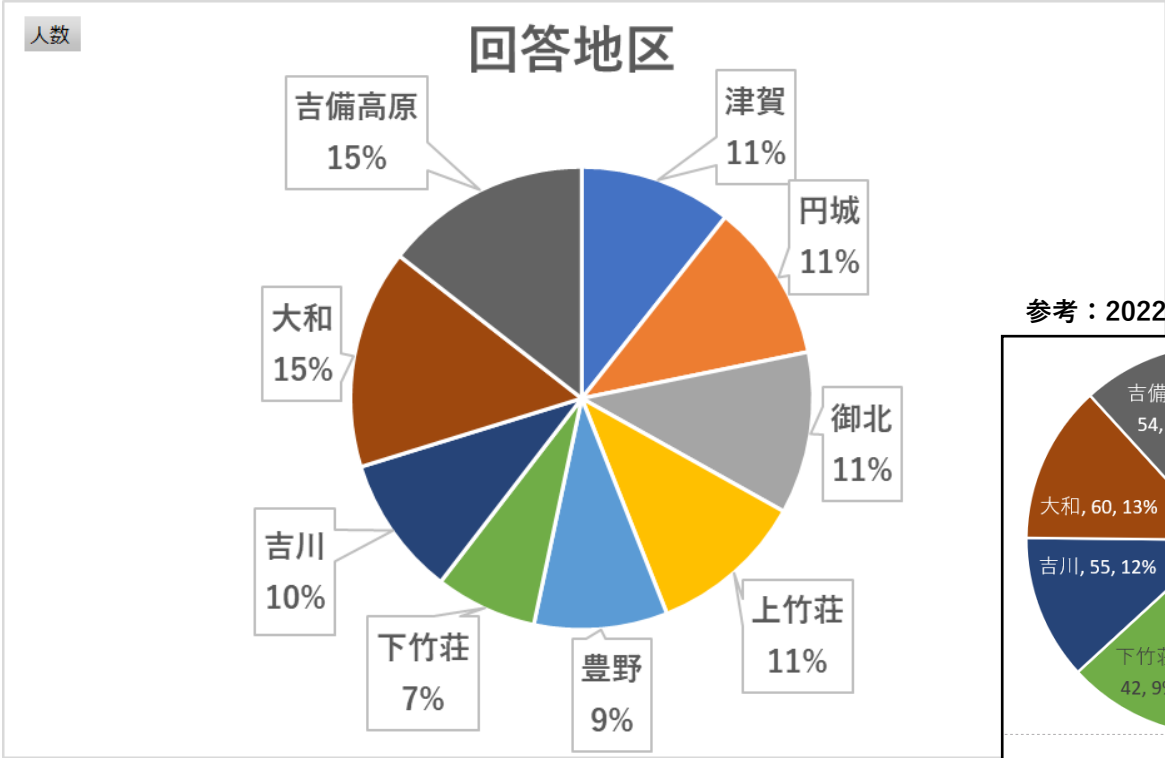
人数	性別			
地区	男性	女性	無回答	総計
津賀	34	14		48
円城	27	22	1	50
御北	40	9	2	51
上竹荘	34	14	1	49
豊野	28	14		42
下竹荘	23	9		32
吉川	33	11		44
大和	43	25	1	69
吉備高原	41	24		65
総計	303	142	5	450



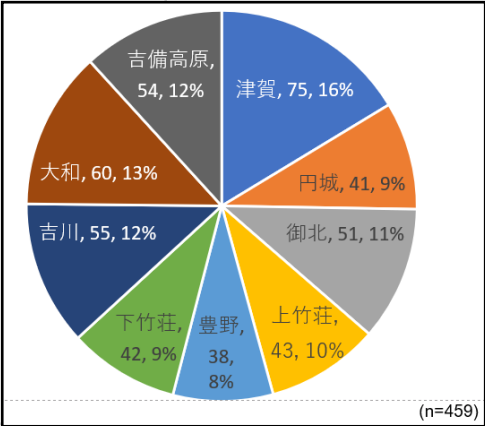
回答者属性：地区別人数

回答者数の人数比は、昨年度とそれほど大きく変化はしていない

地区	人数
津賀	48
円城	50
御北	51
上竹荘	49
豊野	42
下竹荘	32
吉川	44
大和	69
吉備高原	65
総計	450



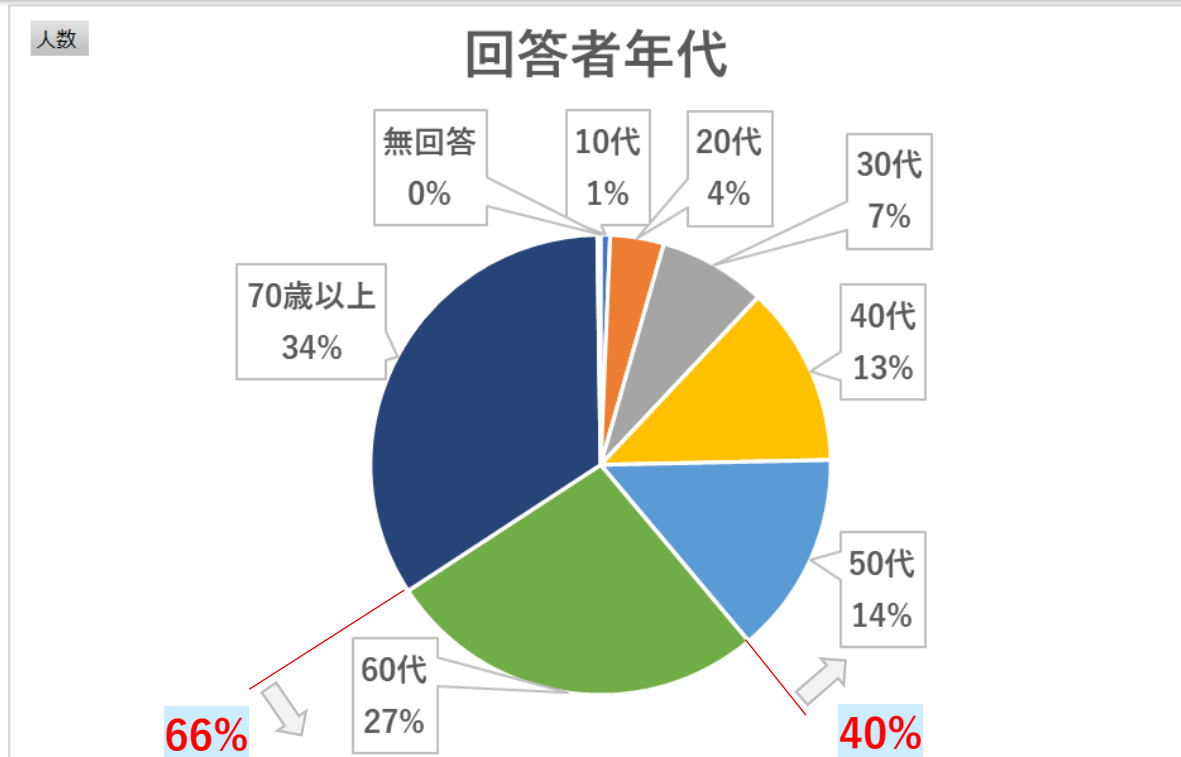
参考：2022年度アンケート回答者数



回答者属性：年代

回答者のうち、50代以下が約40%、60代以下が66%

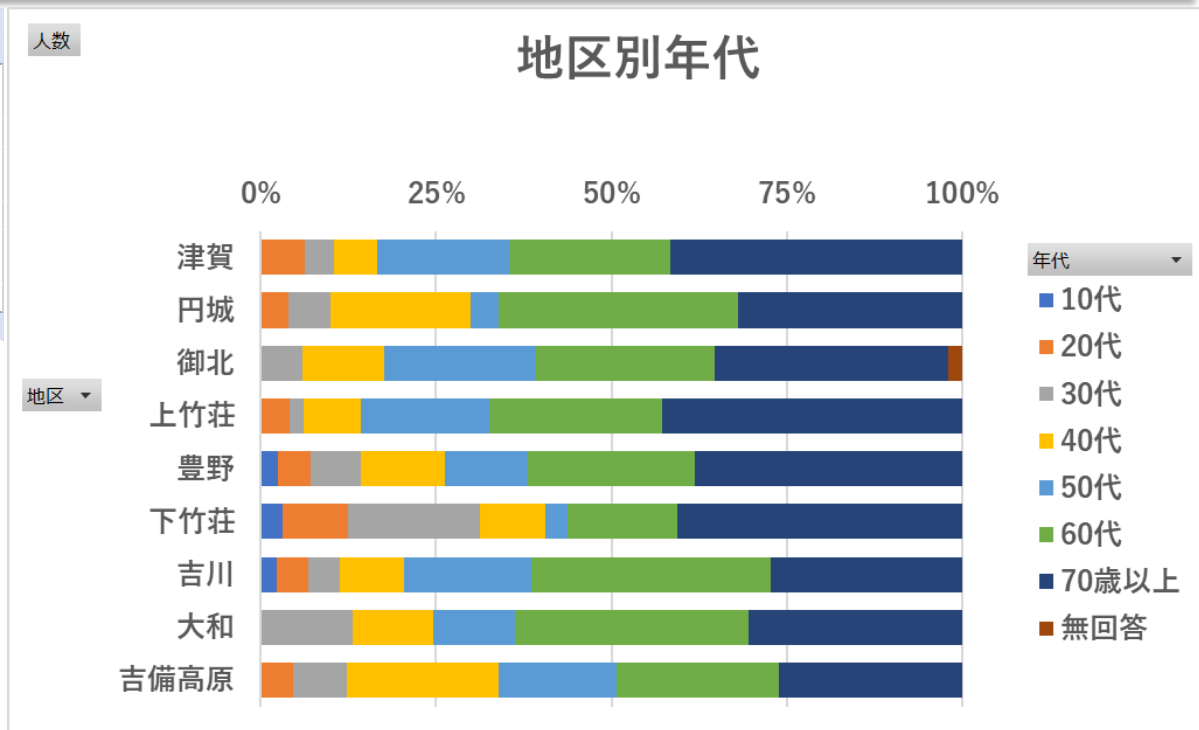
年代	人数
10代	3
20代	17
30代	34
40代	57
50代	64
60代	121
70歳以上	153
無回答	1
総計	450



回答者属性：地区別年代

回答者の年代構成は地区によってやや異なる

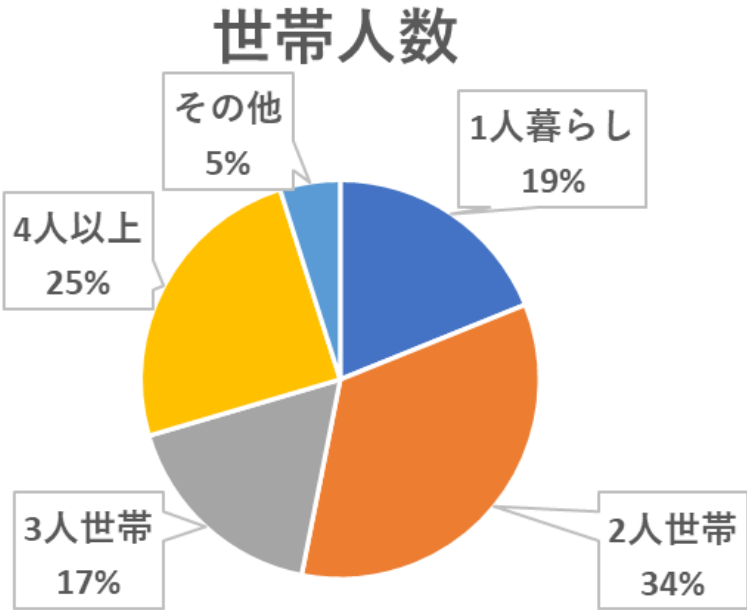
人数	年代								
地区	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以	無回答	総計
津賀		3	2	3	9	11	20		48
円城		2	3	10	2	17	16		50
御北				3	6	11	13	1	51
上竹荘		2	1	4	9	12	21		49
豊野	1	2	3	5	5	10	16		42
下竹荘	1	3	6	3	1	5	13		32
吉川	1	2	2	4	8	15	12		44
大和				9	8	8	23		69
吉備高原		3	5	14	11	15	17		65
総計	3	17	34	57	64	121	153	1	450



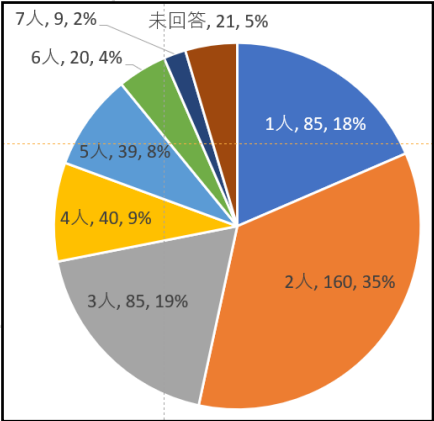
回答者属性：世帯人数

回答者数の人数比は、昨年度とそれほど大きく変化はしていない

同居人数	世帯数
1人暮らし	85
2人世帯	154
3人世帯	78
4人以上	111
その他	22
総計	450



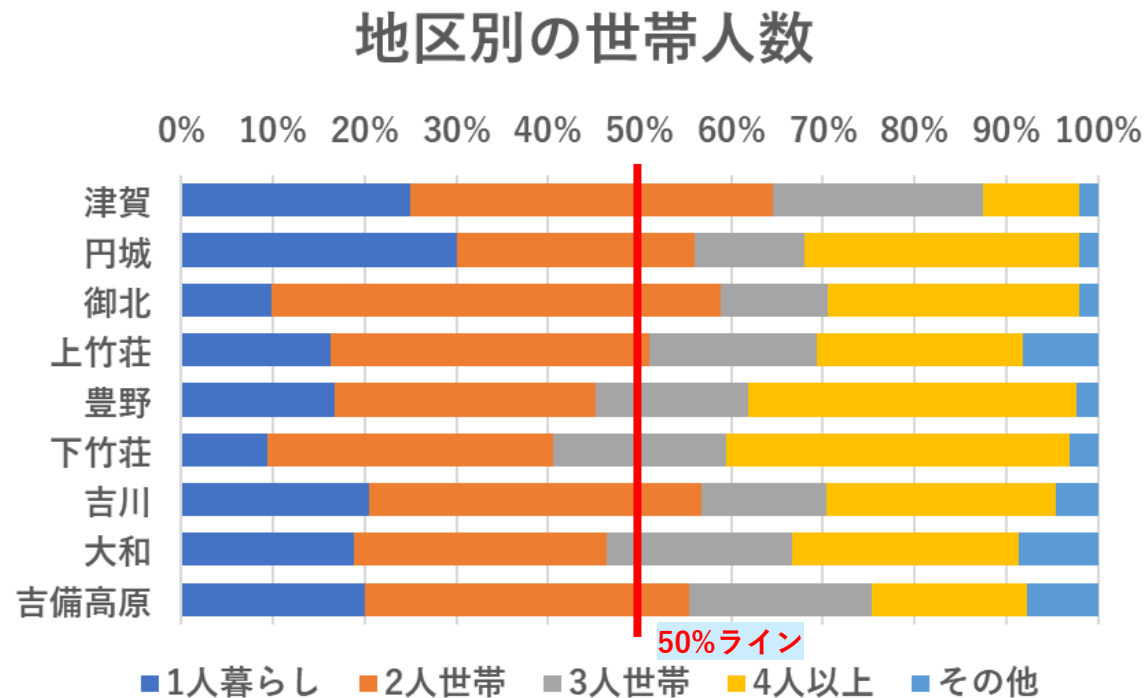
参考：2022年度アンケート（世帯人数）



回答者属性：地区別の世帯人数

多くの地区で2人世帯以下が50%を超えている

地区	1人暮らし	2人世帯	3人世帯	4人以上	その他	総計
津賀	12	19	11	5	1	48
円城	15	13	6	15	1	50
御北	5	25	6	14	1	51
上竹荘	8	17	9	11	4	49
豊野	7	12	7	15	1	42
下竹荘	3	10	6	12	1	32
吉川	9	16	6	11	2	44
大和	13	19	14	17	6	69
吉備高原	13	23	13	11	5	65
合計	85	154	78	111	22	450

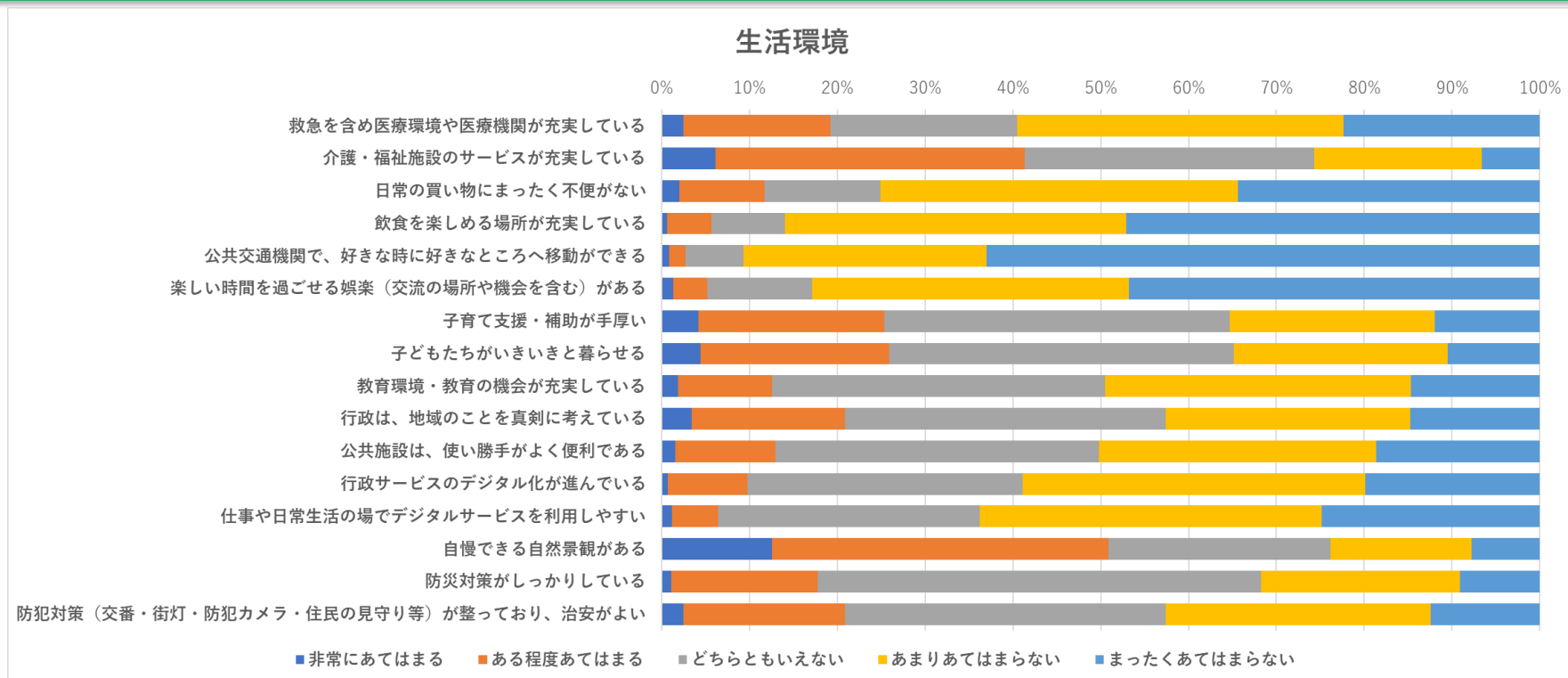


4-2. Well-being指標

生活環境
地域の人間関係
自分らしい生き方
幸福度・満足度

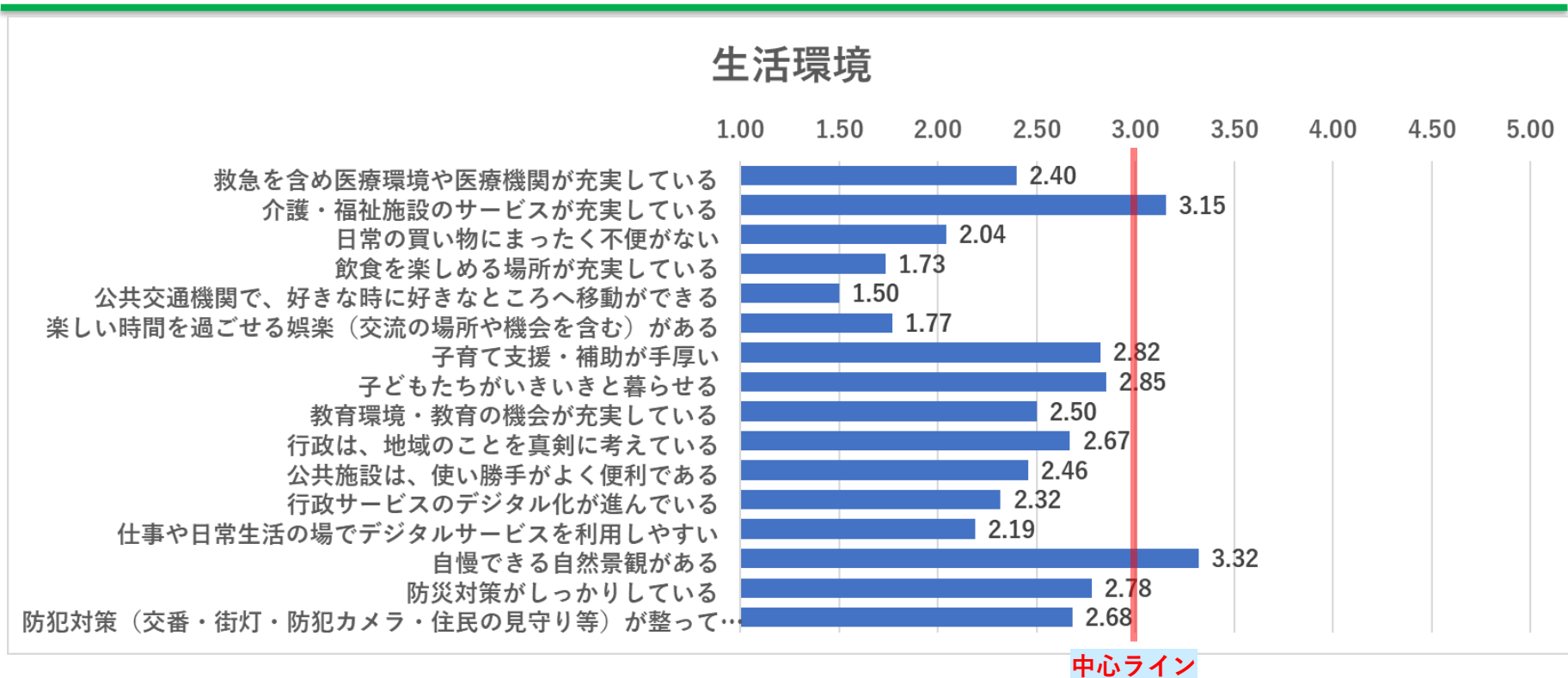
Well-being：生活環境

多くの項目でポジティブな評価が30%を割ってしまっている



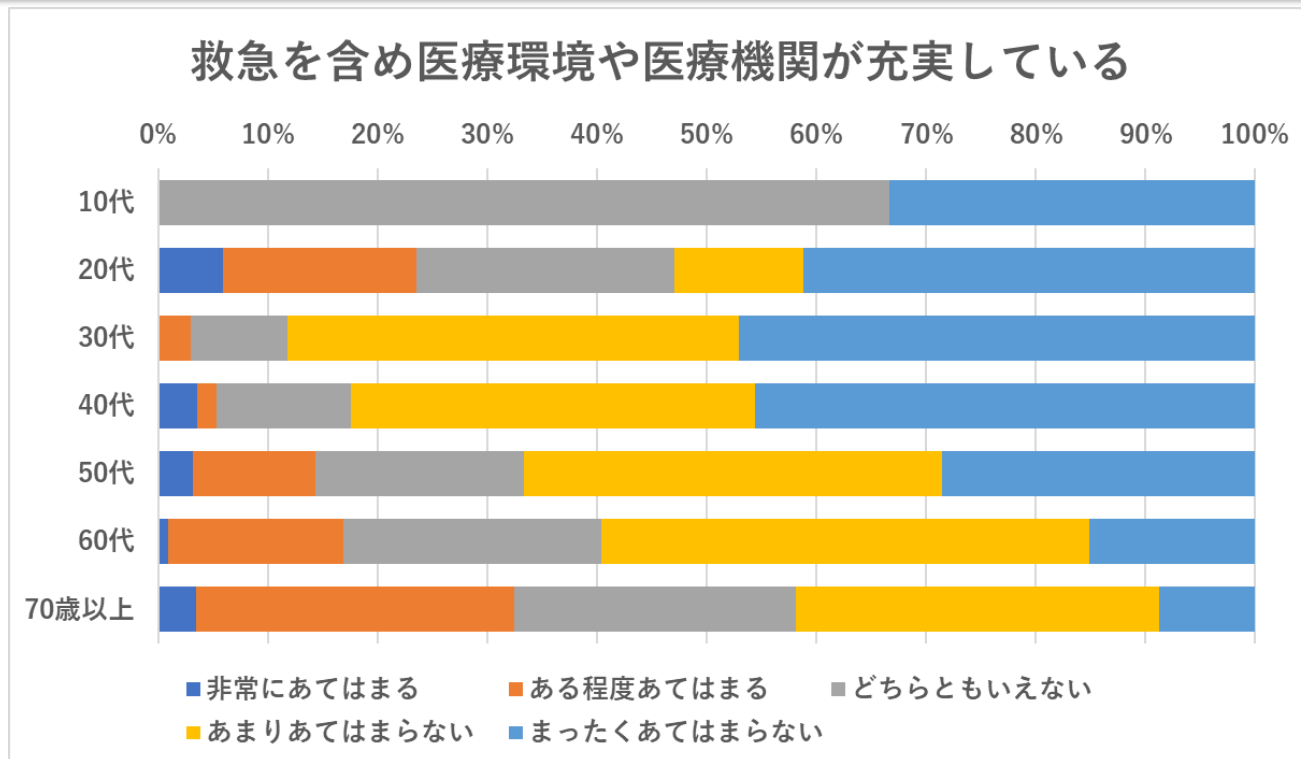
Well-being：生活環境（回答の平均値）

ほとんどの項目で、5点満点で平均が3以下となっている



Well-being：生活環境（医療環境・年代別）

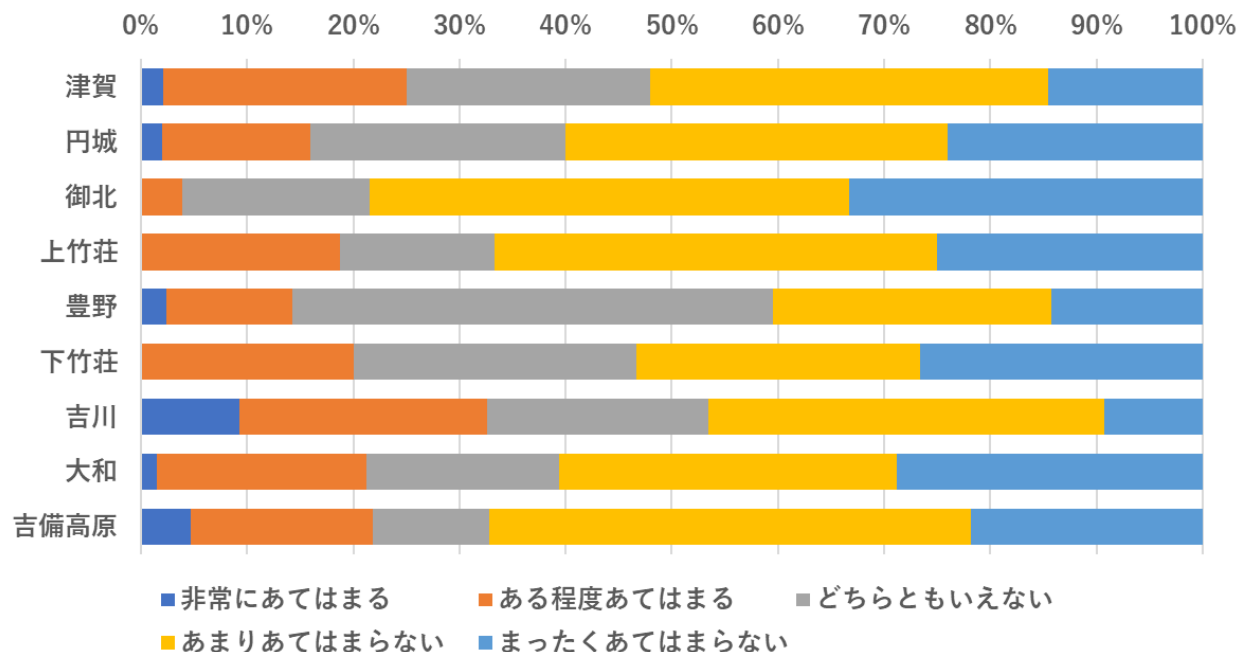
30代～70代では、若い世代ほど不満が強い



Well-being：生活環境（医療環境・地区別）

ポジティブな評価は概ね30%以下だが、地区によって若干のばらつきがある

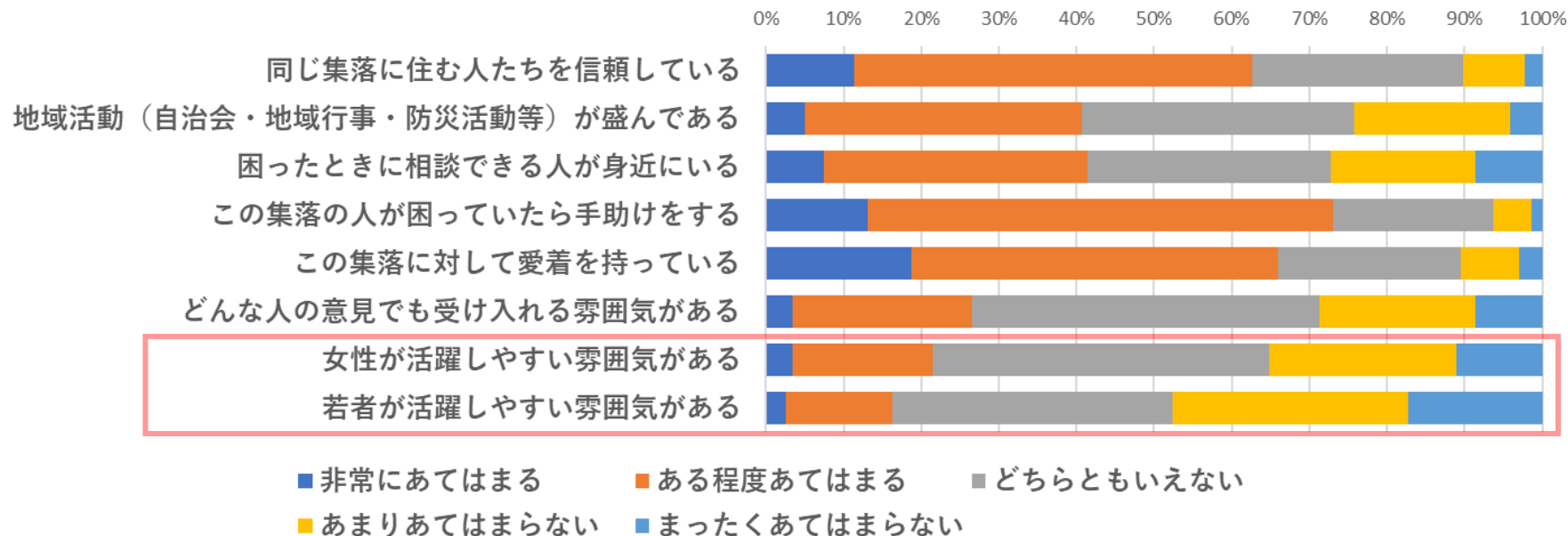
救急を含め医療環境や医療機関が充実している



Well-being：地域の人間関係

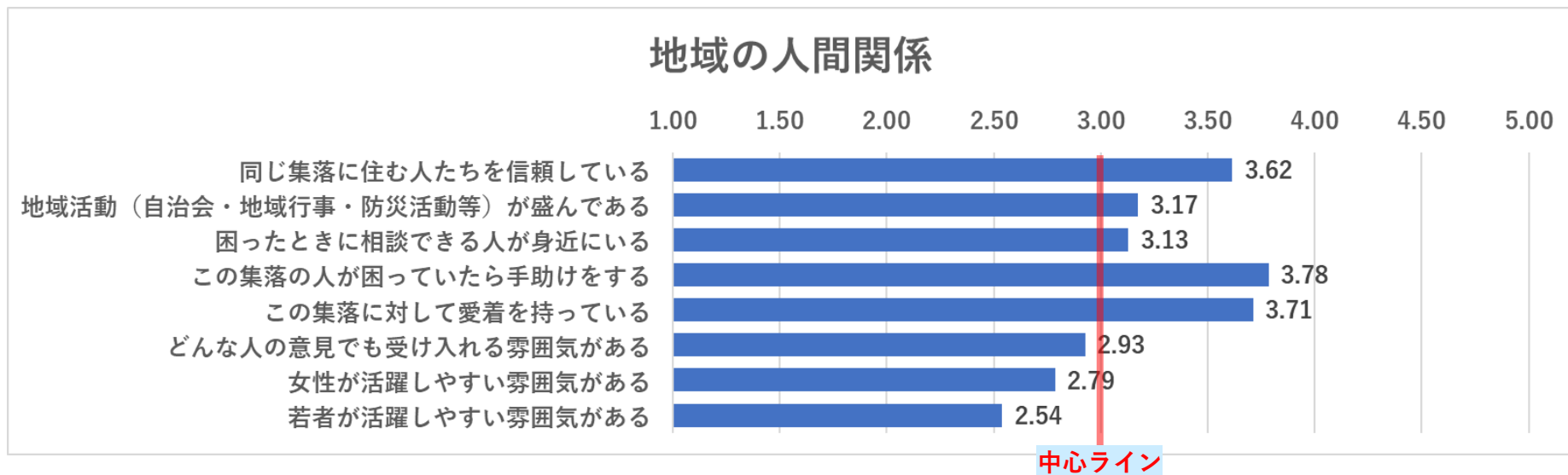
女性・若者の活躍の指標低めで、特に若者の活躍に関する数値が悪い

地域の人間関係



Well-being：地域の人間関係（回答の平均値）

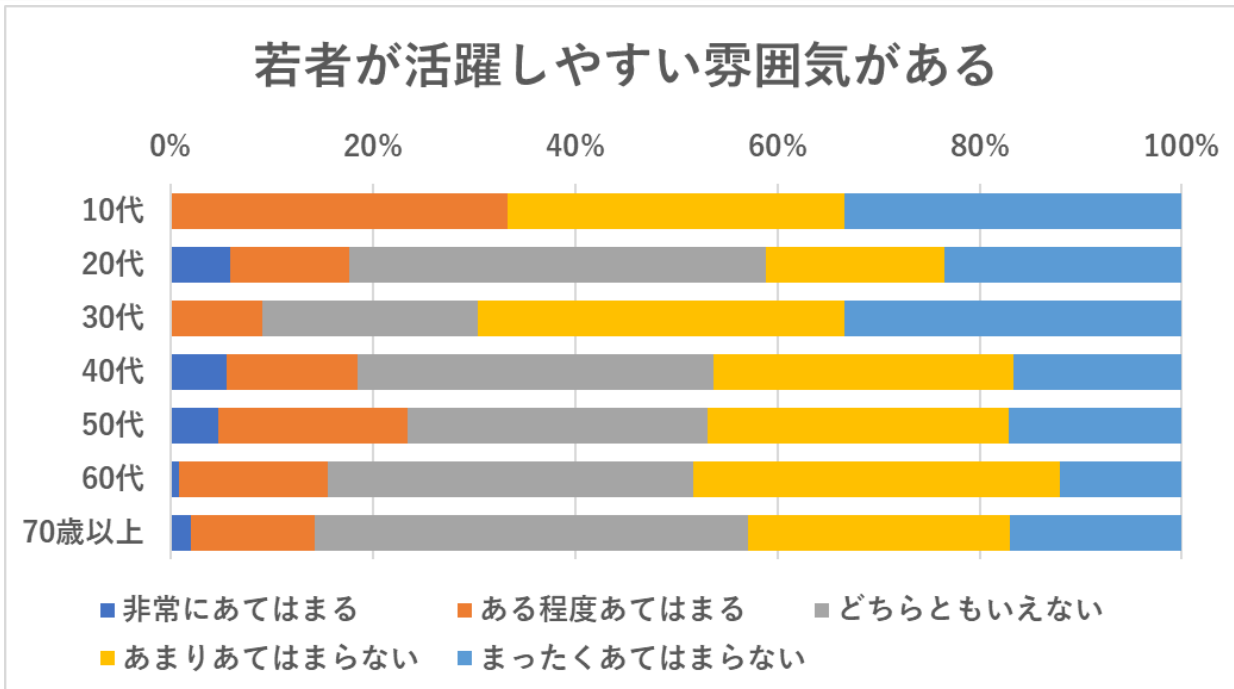
女性・若者の活躍の指標の平均が低めにでている



Well-being：地域の人間関係（若者の活躍・年代別）

どの年代もネガティブな意見が勝っている

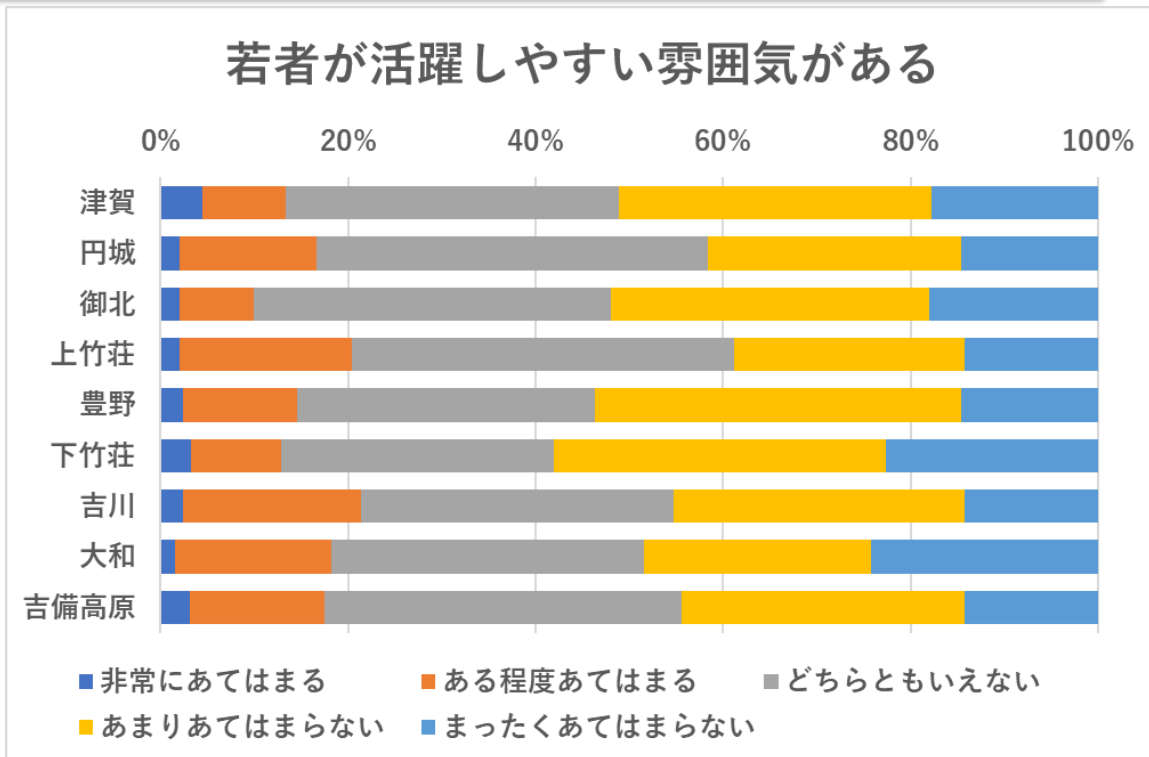
	非常にあてはまる	ある程度あてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
10代		1		1	1
20代	1	2	7	3	4
30代		3	7	12	11
40代	3	7	19	16	9
50代	3	12	19	19	11
60代	1	17	42	42	14
70歳以上	3	18	63	38	25
合計	11	60	157	131	75



Well-being：地域の間人間関係（若者の活躍・地区別）

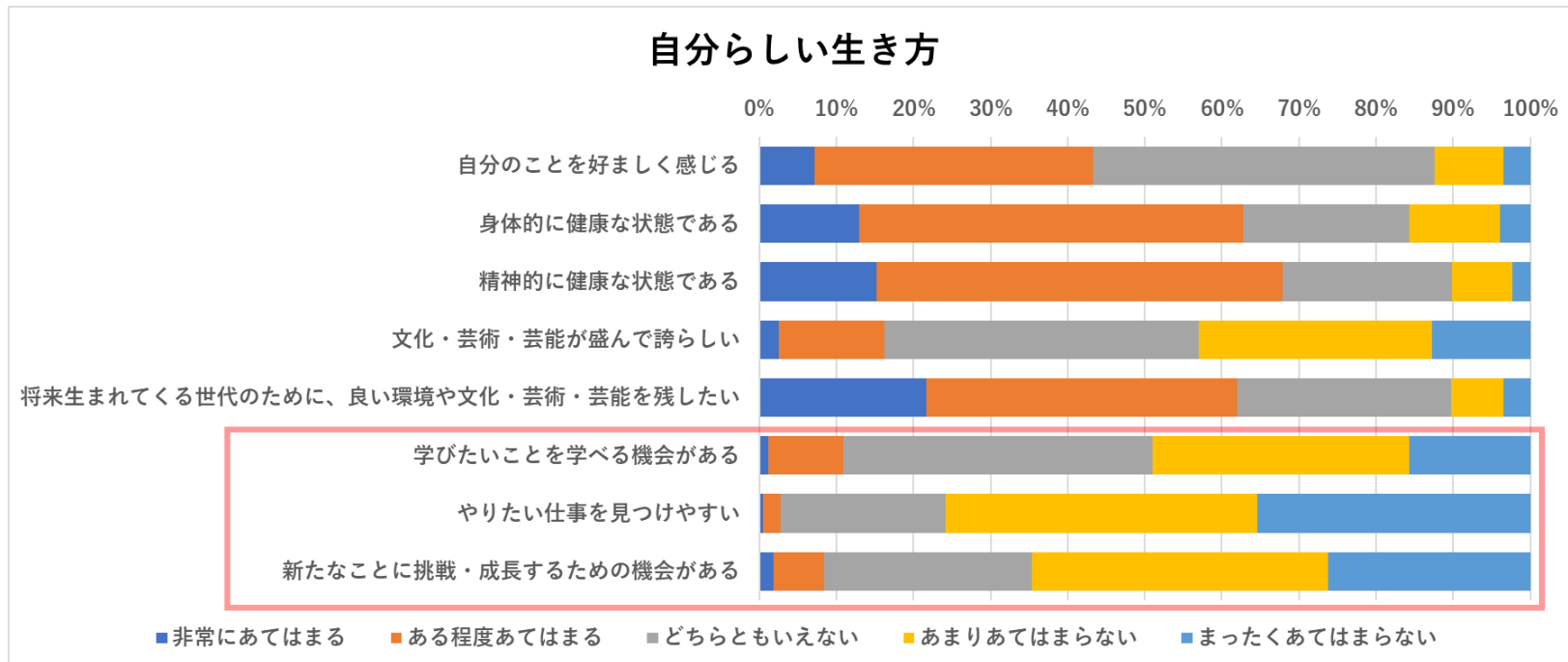
地区間の傾向は概ね等しく、ネガティブな意見が勝っている

	非常にあてはまる	ある程度あてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
津賀	2	4	16	15	8
円城	1	7	20	13	7
御北	1	4	19	17	9
上竹荘	1	9	20	12	7
豊野	1	5	13	16	6
下竹荘	1	3	9	11	7
吉川	1	8	14	13	6
大和	1	11	22	16	16
吉備高原	2	9	24	19	9
合計	11	60	157	132	75



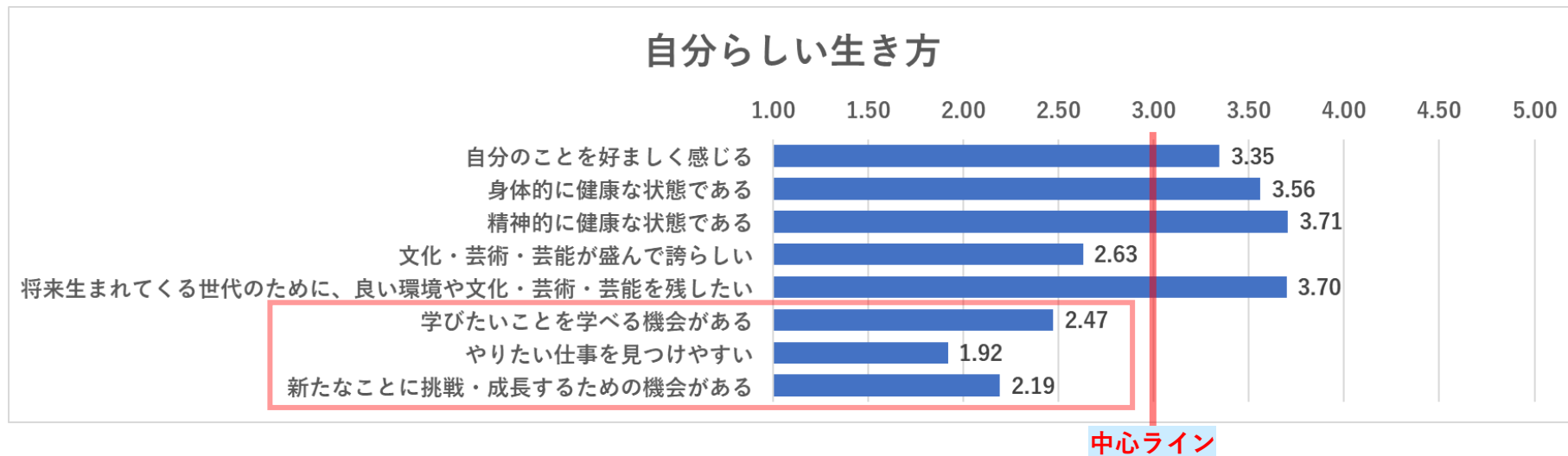
Well-being：自分らしい生き方

自己肯定感や健康面・意欲にくらべて、機会に関する項目が弱い



Well-being：自分らしい生き方（回答の平均値）

機会に関する指標の平均が低めにでている



Well-being：自分らしい生き方（挑戦や機会・年代別）

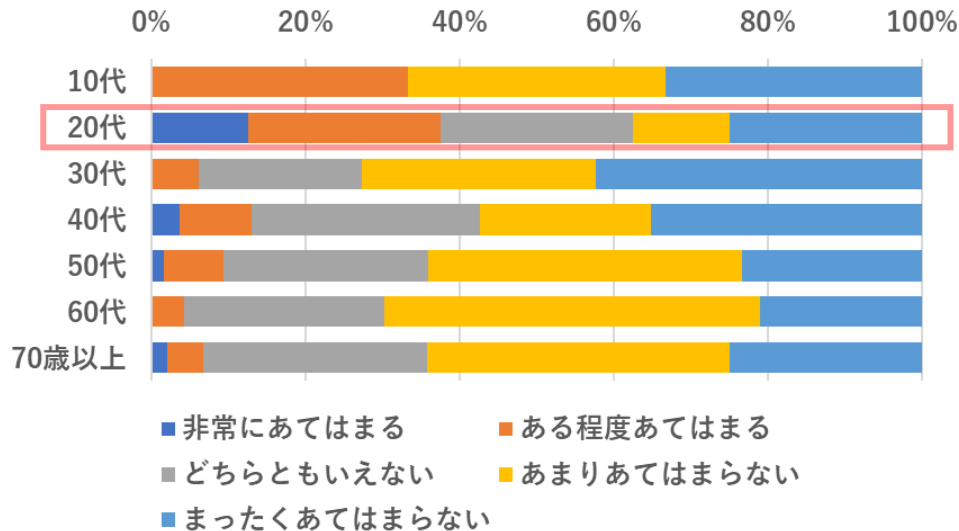
20代以外はネガティブな意見が勝っている

	非常にあてはまる	ある程度あてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
10代		1		1	1
20代	2	4	4	2	4
30代		2	7	10	14
40代	2	5	16	12	19
50代	1	5	17	26	15
60代		5	31	58	25
70歳以上	3	7	43	58	37
合計	8	29	118	167	115

【コメント】

20代のサンプル数が十分ではないが、この世代へのインタビューは、今後の地域活性化のヒントになるかもしれない。

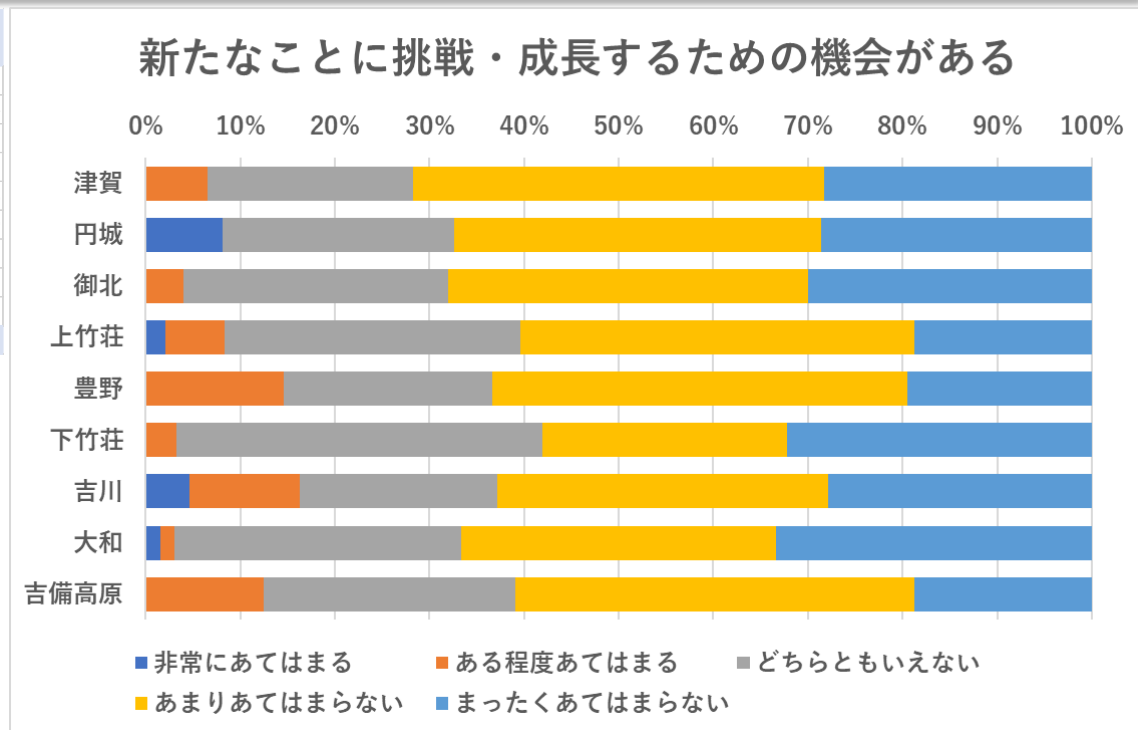
新たなことに挑戦・成長するための 機会がある



Well-being：自分らしい生き方（挑戦や機会・地区別）

地区間の傾向は概ね等しく、ネガティブな意見が多数を占めている

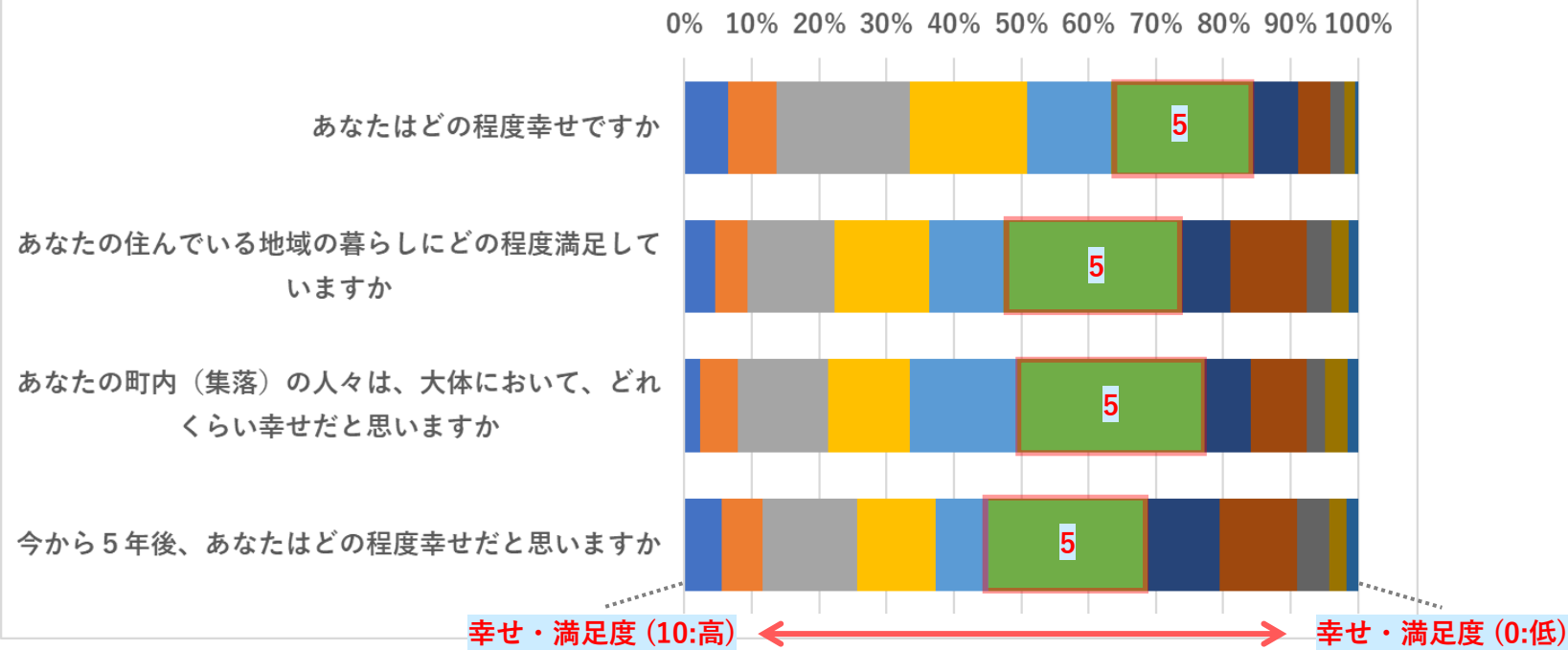
	非常にあてはまる	ある程度あてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
津賀		3	10	20	13
円城	4		12	19	14
御北		2	14	19	15
上竹荘	1	3	15	20	9
豊野		6	9	18	8
下竹荘		1	12	8	10
吉川	2	5	9	15	12
大和	1	1	20	22	22
吉備高原		8	17	27	12
合計	8	29	118	168	115



Well-being：幸福度・満足度

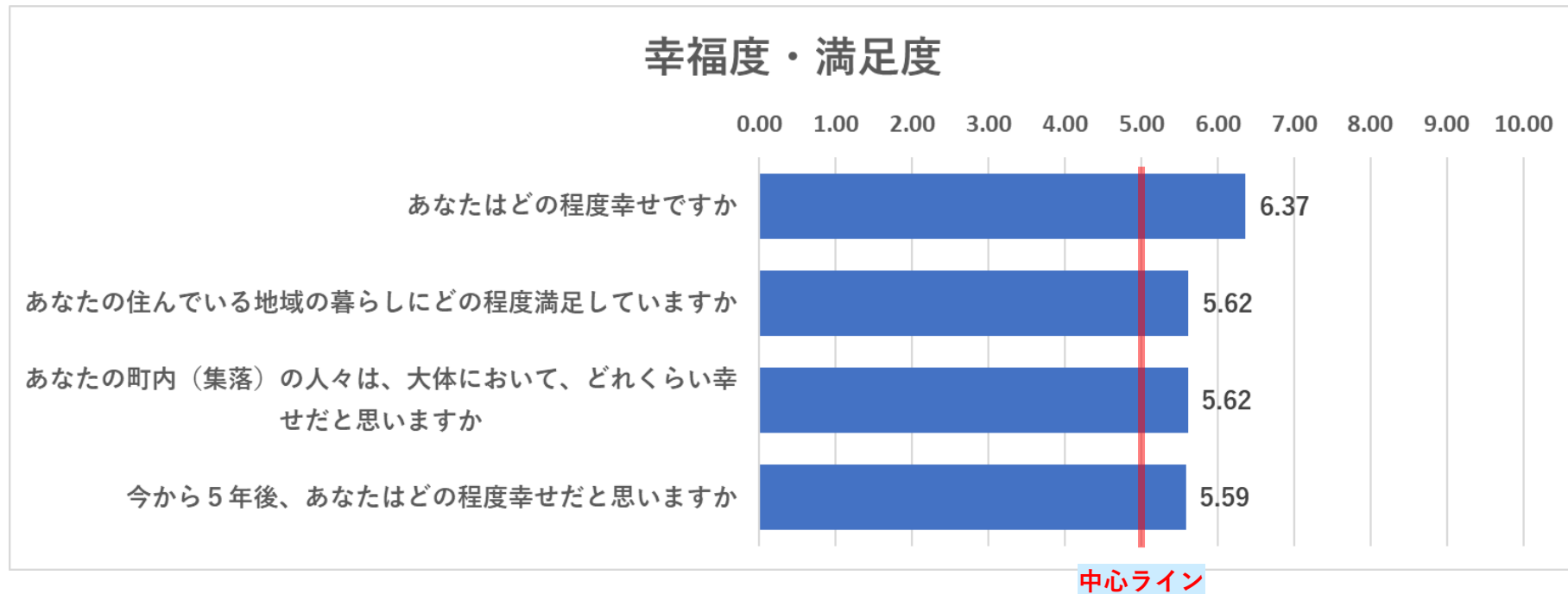
中心評価（5点）より高い点を付けた人が全体に上回っている

幸福度・満足度（人数比）



Well-being：幸福度・満足度（回答の平均値）

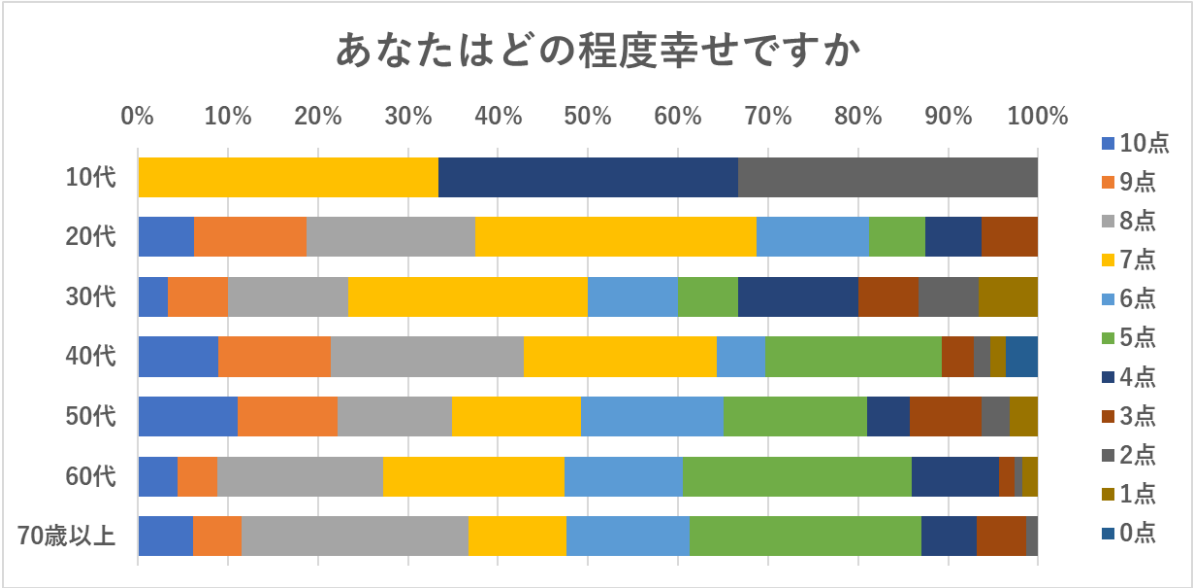
幸福度・満足度の平均は10段階評価の中心(5点)を上回っている



Well-being：幸福度・満足度（年代別）

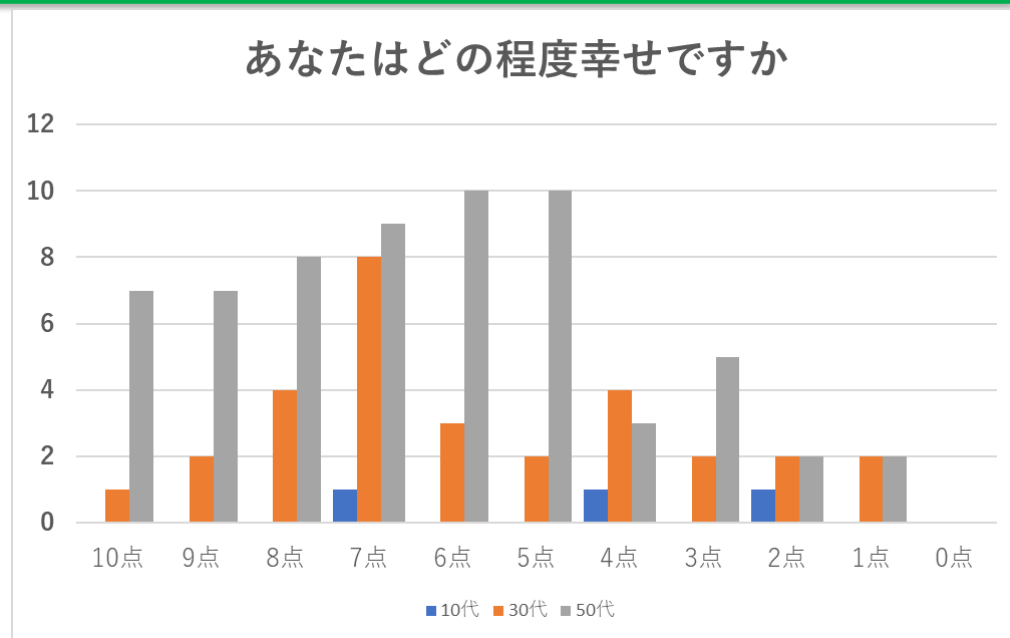
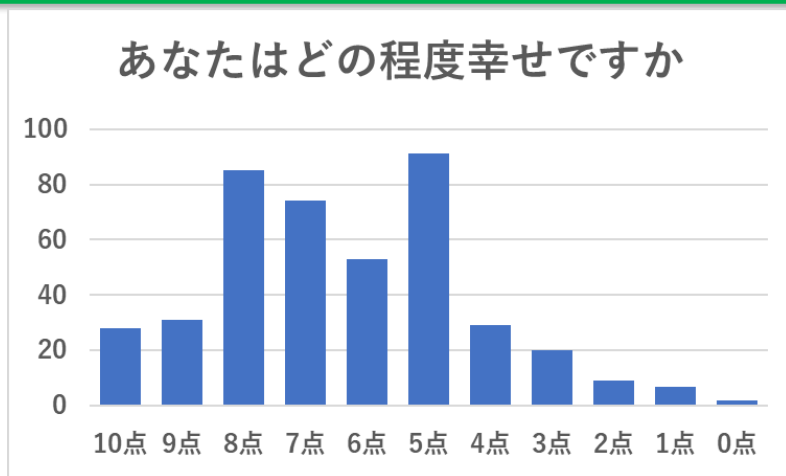
10代と30代がやや幸せ度が低い

	10点	9点	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点	0点
10代				1			1		1		
20代	1	2	3	5	2	1	1	1			
30代	1	2	4	8	3	2	4	2	2	2	
40代	5	7	12	12	3	11		2	1	1	2
50代	7	7	8	9	10	10	3	5	2	2	
60代	5	5	21	23	15	29	11	2	1	2	
70歳以上	9	8	37	16	20	38	9	8	2		
合計	28	31	85	74	53	91	29	20	9	7	2



Well-being：幸福度・満足度（年代比較）

50代に比べて、10代・30代は否定的な人が一定数存在する

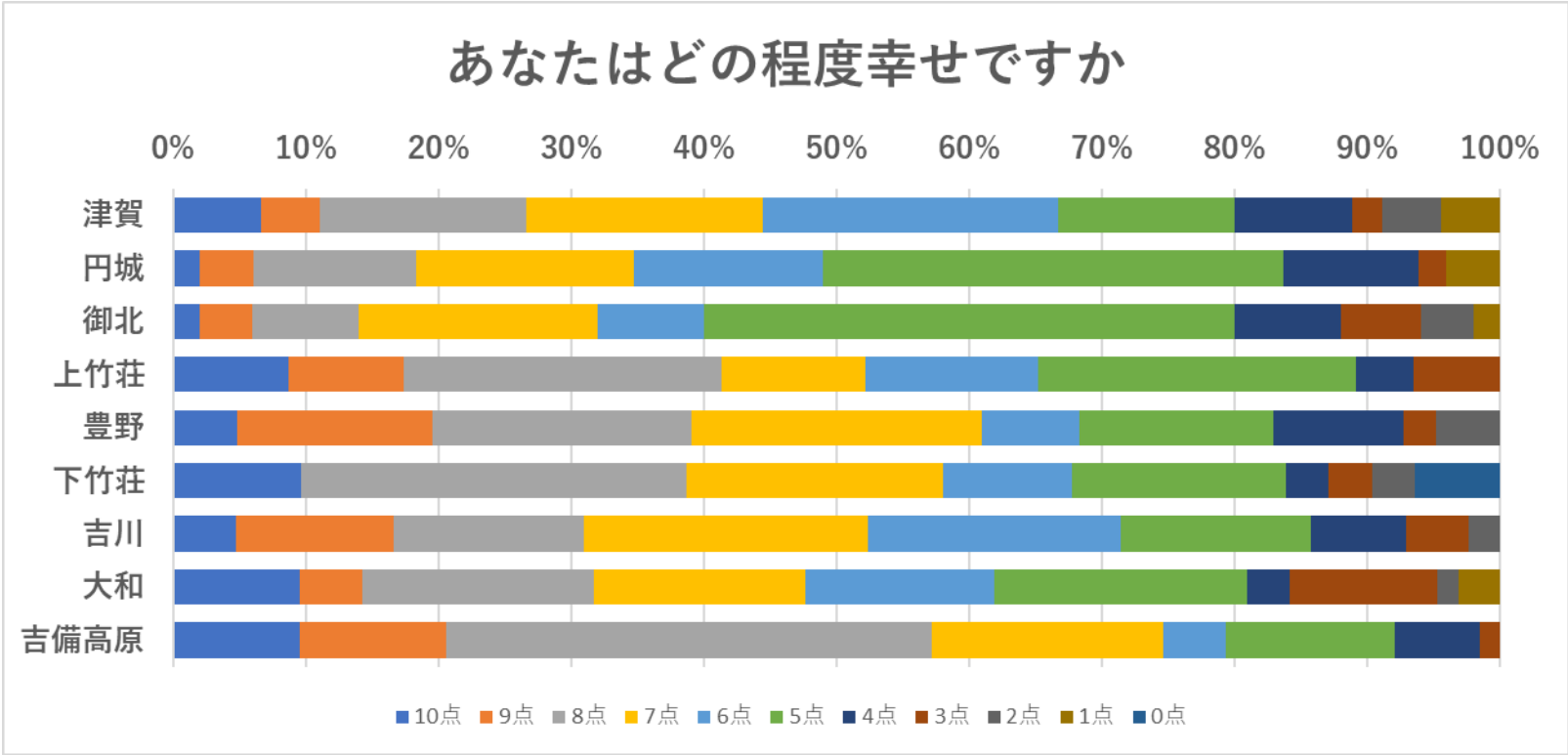


【コメント】

年代別に分解するとサンプル数が十分ではないが、世代で幸福度・満足度の人数に偏りがあることは、逆に今後の地域活性化のヒントが存在する可能性がある

Well-being：幸福度・満足度（地区別）

地区別に傾向の差はみられるが、特定の地域が大きく低い(4点以下)ということでない。



4-3. 事業関連

通信環境

きびアプリ

健康・医療，遠隔診療・口腔ケア

母子・子育て

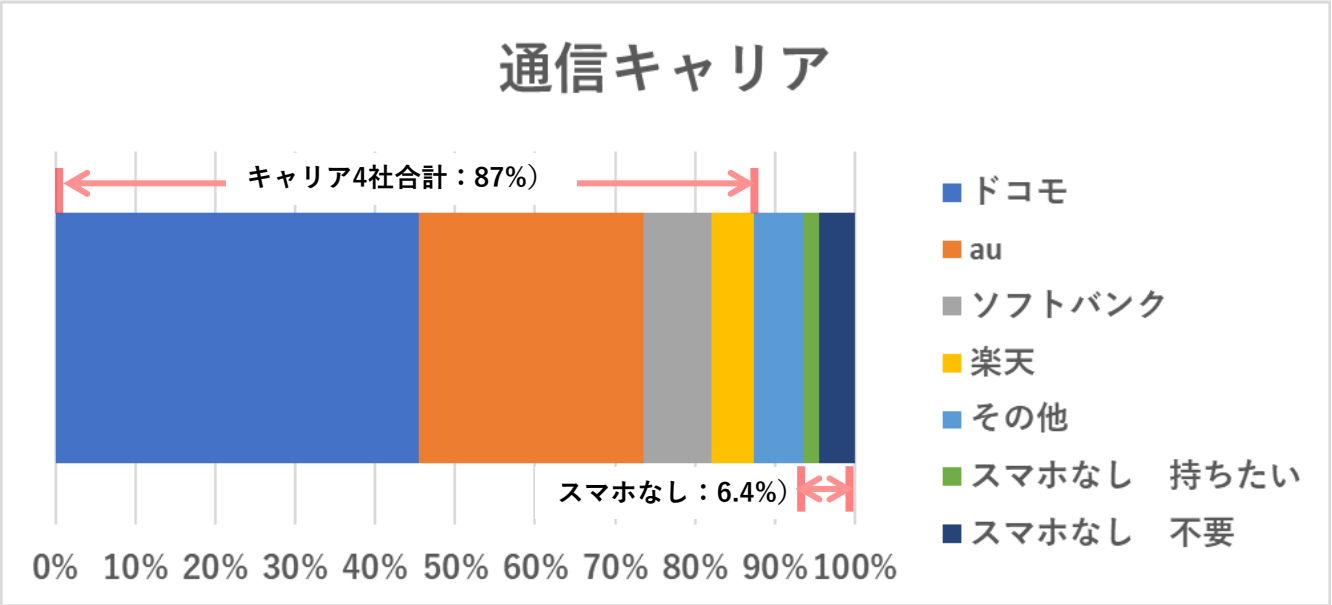
移動・交通

町全体の活気

通信環境：キャリア（複数回答）

スマホなしは約6.4%、キャリアはメイン4社で87%を超える。

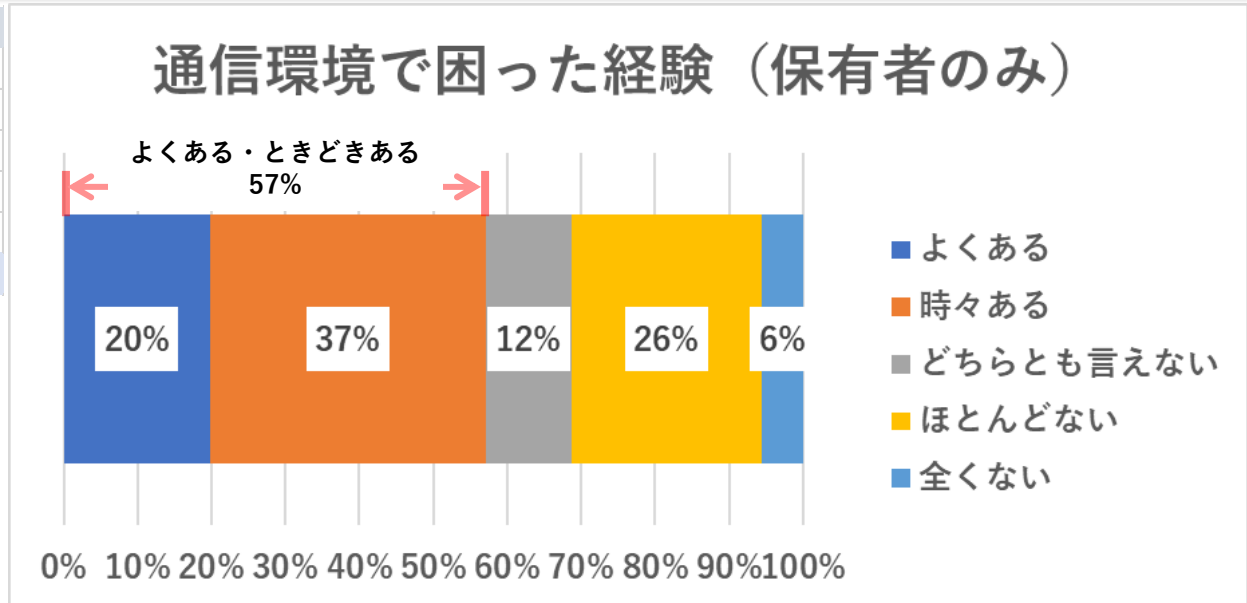
通信キャリア	人数
ドコモ	213
au	131
ソフトバンク	40
楽天	25
その他	29
スマホなし 持ちたい	9
スマホなし 不要	21



通信環境：通信環境で困った経験

60%弱の人が通信環境で困った経験を持つ

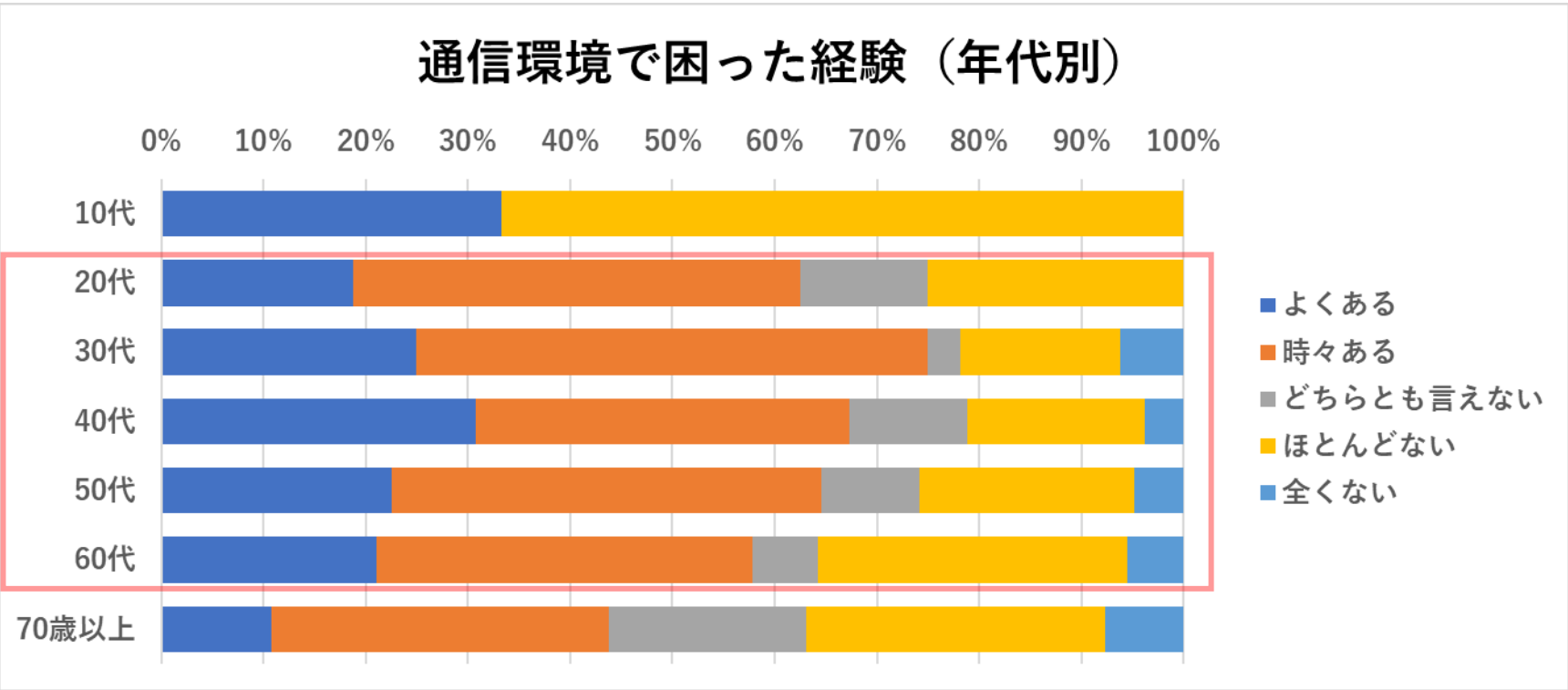
通信環境で困った経験	回答者数	比率
よくある	80	20%
時々ある	151	37%
どちらとも言えない	47	12%
ほとんどない	104	26%
全くない	23	6%
合計	405	100%



(n=405)

通信環境：通信環境で困った経験（年代別）

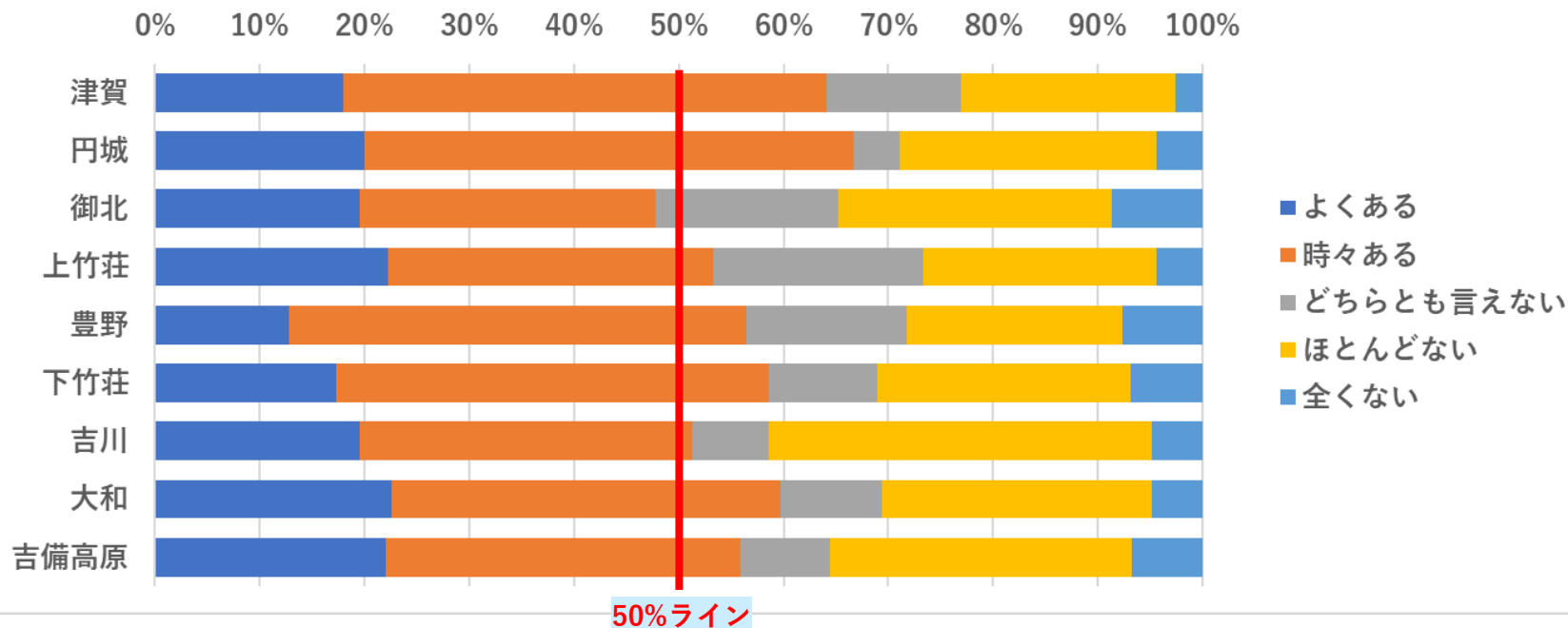
20代から60代の不満が10代・70代以上よりも高い



通信環境：通信環境で困った経験（地区別）

地区によらず、「よくある」「時々ある」という回答者が50%程度以上いる

通信環境で困った経験（地区別）



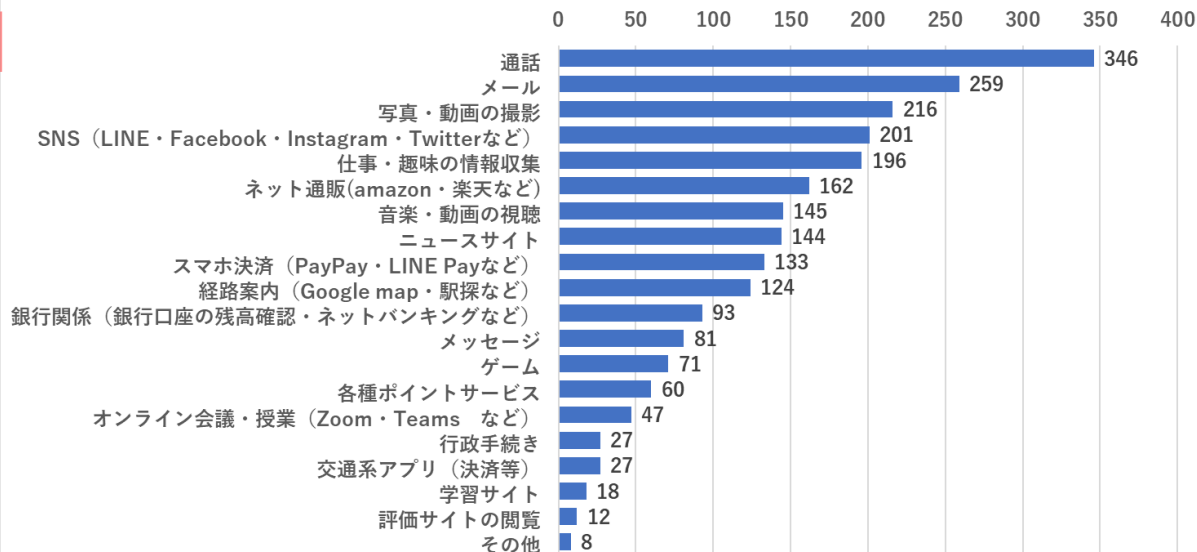
通信環境：スマホ・タブレットの利用目的（複数回答）

写真・動画の撮影：48%、SNSの利用率：45%

スマホ・タブレットの利用目的	回答者数	比率
通話	346	77%
メール	259	58%
写真・動画の撮影	216	48%
SNS（LINE・Facebook・Instagram・Twitterなど）	201	45%
仕事・趣味の情報収集	196	44%
ネット通販(amazon・楽天など)	162	36%
音楽・動画の視聴	145	32%
ニュースサイト	144	32%
スマホ決済（PayPay・LINE Payなど）	133	30%
経路案内（Google map・駅探など）	124	28%
銀行関係（銀行口座の残高確認・ネットバンキングなど）	93	21%
メッセージ	81	18%
ゲーム	71	16%
各種ポイントサービス	60	13%
オンライン会議・授業（Zoom・Teams など）	47	10%
行政手続き	27	6%
交通系アプリ（決済等）	27	6%
学習サイト	18	4%
評価サイトの閲覧	12	3%
その他	8	2%

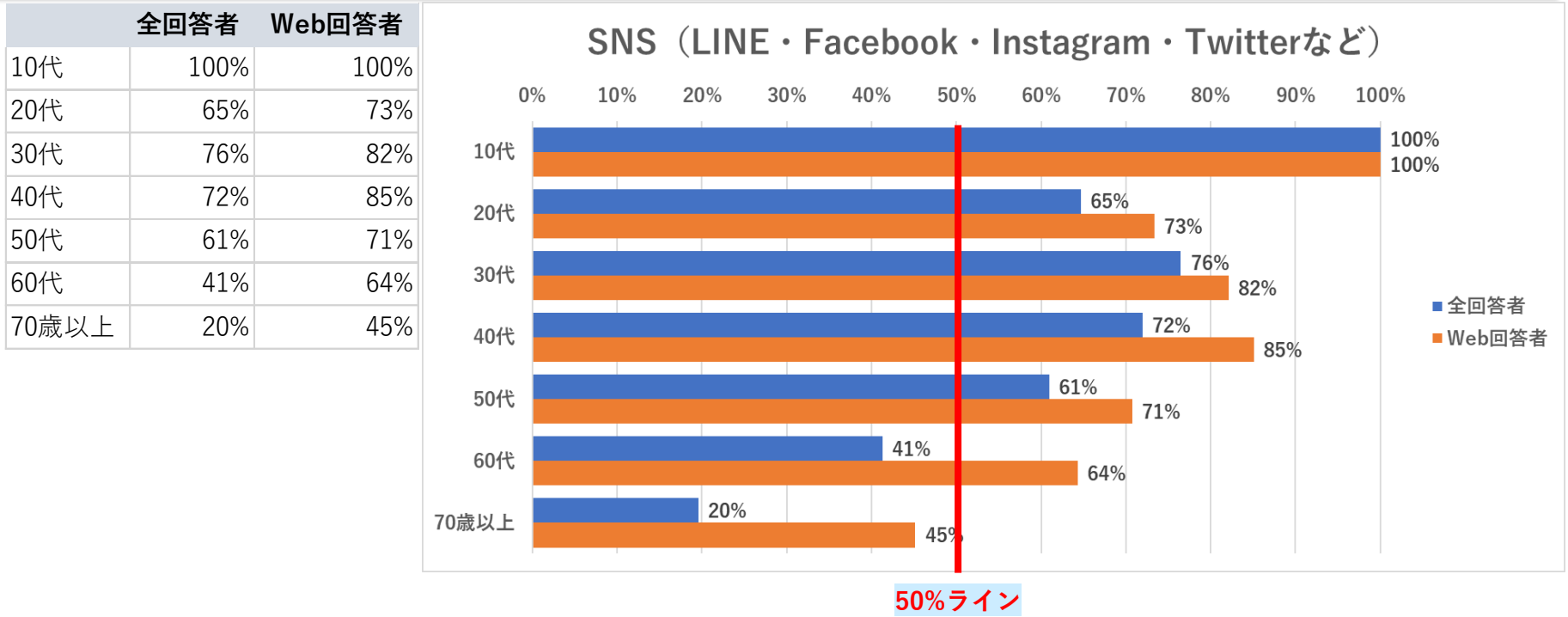
※比率はアンケート有効回答総数450件に対する比率

スマホ・タブレットの利用目的（複数回答・回答者数）



通信環境：スマホ・タブレットの利用（SNS・年代別）

60代でもSNS利用者は40%を超え、Web回答者に限定すれば70歳以上でも45%を超える

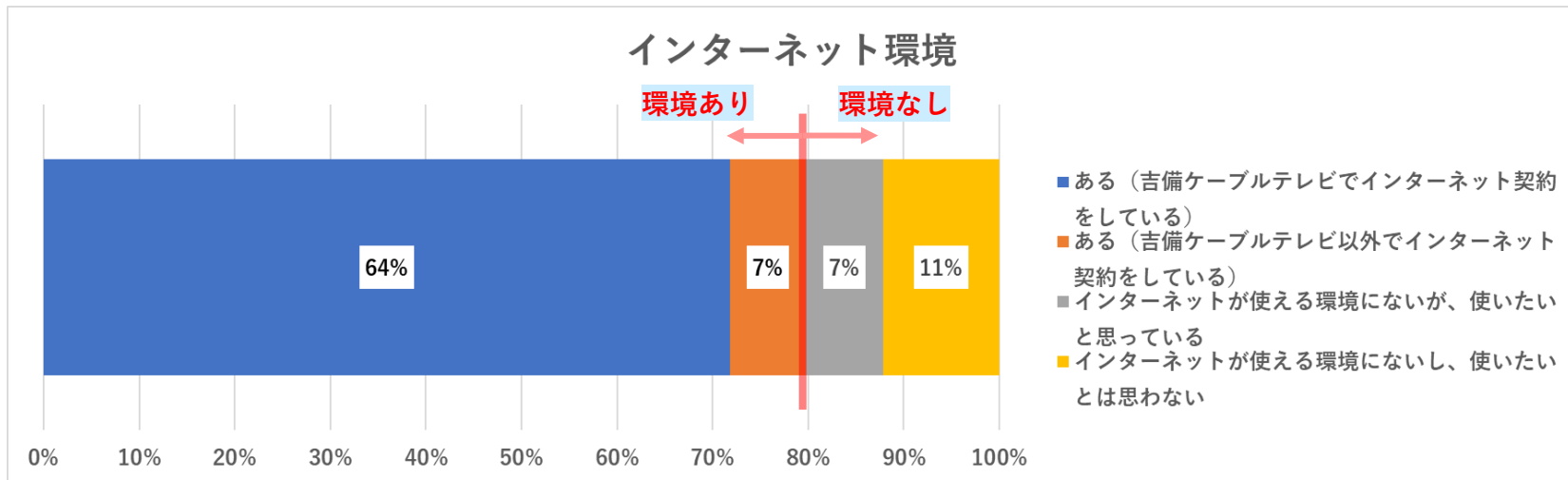


通信環境：インターネット環境（複数回答）

複数回答ではあるが、インターネット契約有は80%に達する

インターネット環境	回答者数	比率
ある（吉備ケーブルテレビでインターネット契約をしている）	290	64%
ある（吉備ケーブルテレビ以外でインターネット契約をしている）	32	7%
インターネットが使える環境にないが、使いたいと思っている	33	7%
インターネットが使える環境にないし、使いたいとは思わない	49	11%

※インターネット環境をスマホ等の利用と勘違いしている回答者も一定数含まれる可能性がある



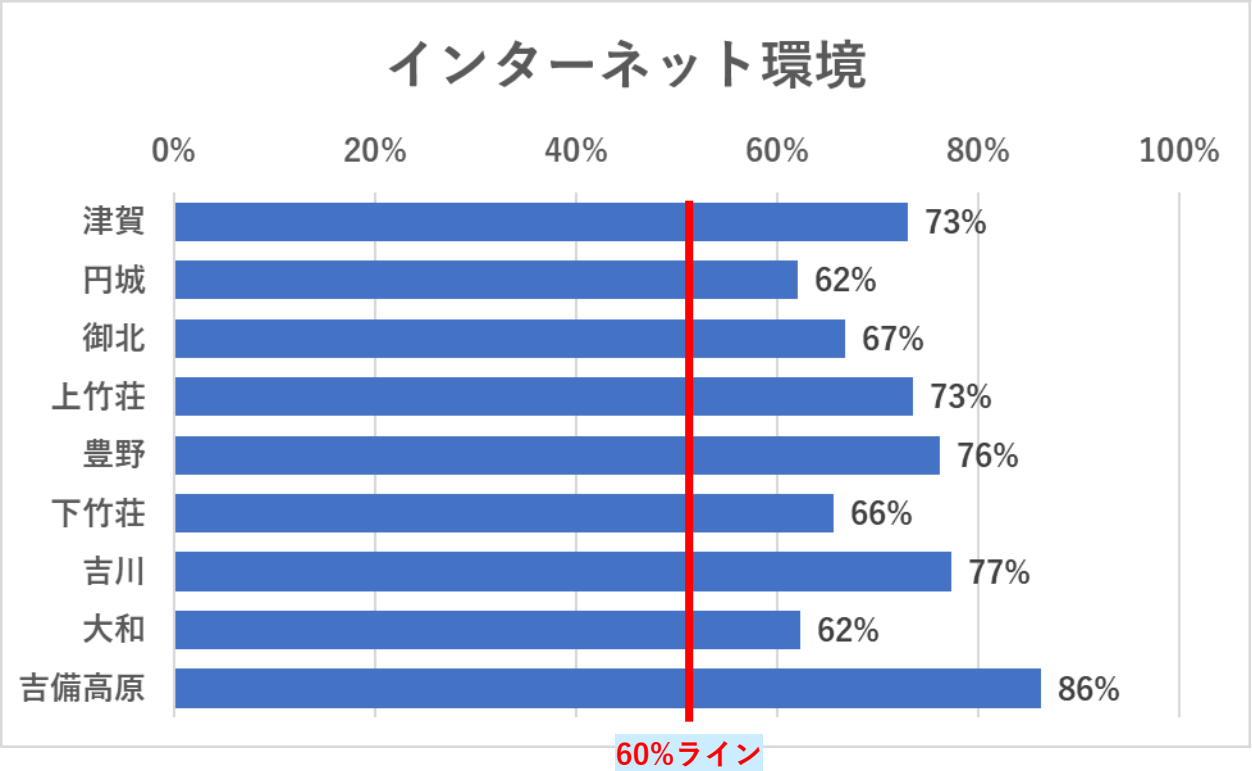
通信環境：インターネット環境（地区別）

吉備高原の比率が高いが、低い地域でも60%を超えている

	契約者数	比率
津賀	35	73%
円城	31	62%
御北	34	67%
上竹荘	36	73%
豊野	32	76%
下竹荘	21	66%
吉川	34	77%
大和	43	62%
吉備高原	56	86%

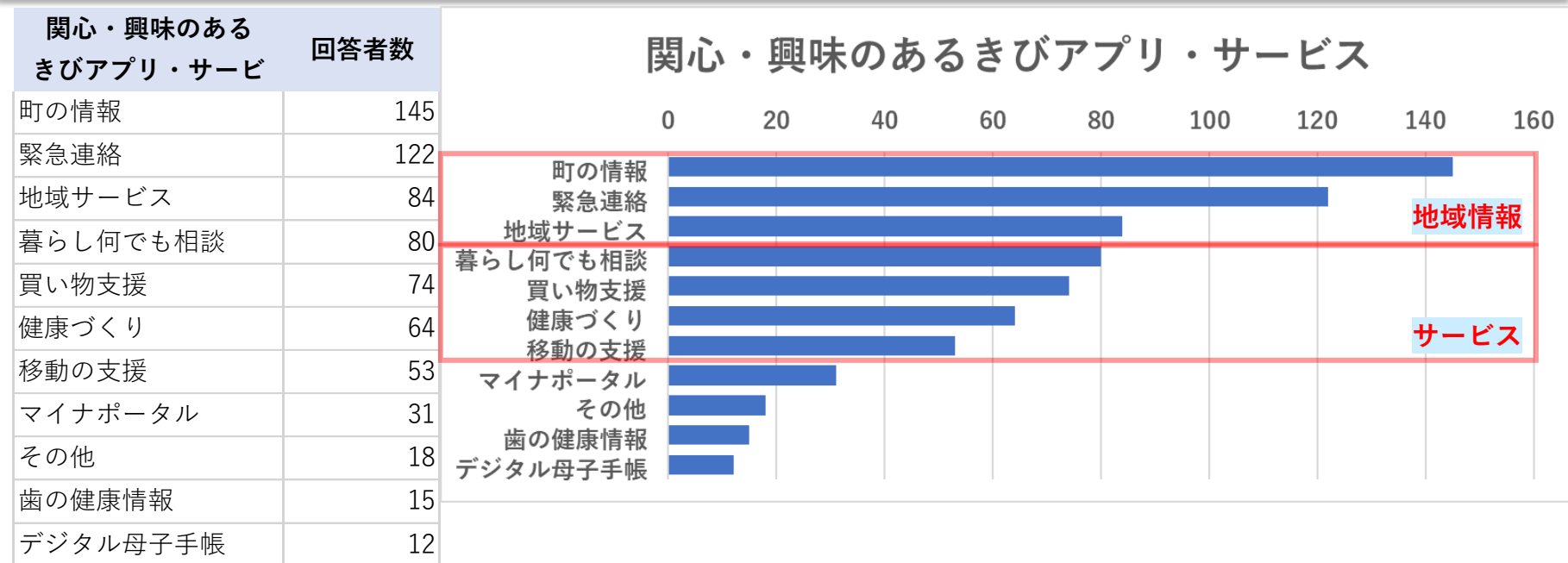
※比率はアンケート有効回答総数450件に対する比率)

※インターネット環境をスマホ等の利用と勘違いしている回答者も一定数含まれる可能性がある



きびアプリ：関心・興味のあるサービス（複数回答）

現状ではサービス自体よりも、地域情報に関心が強い

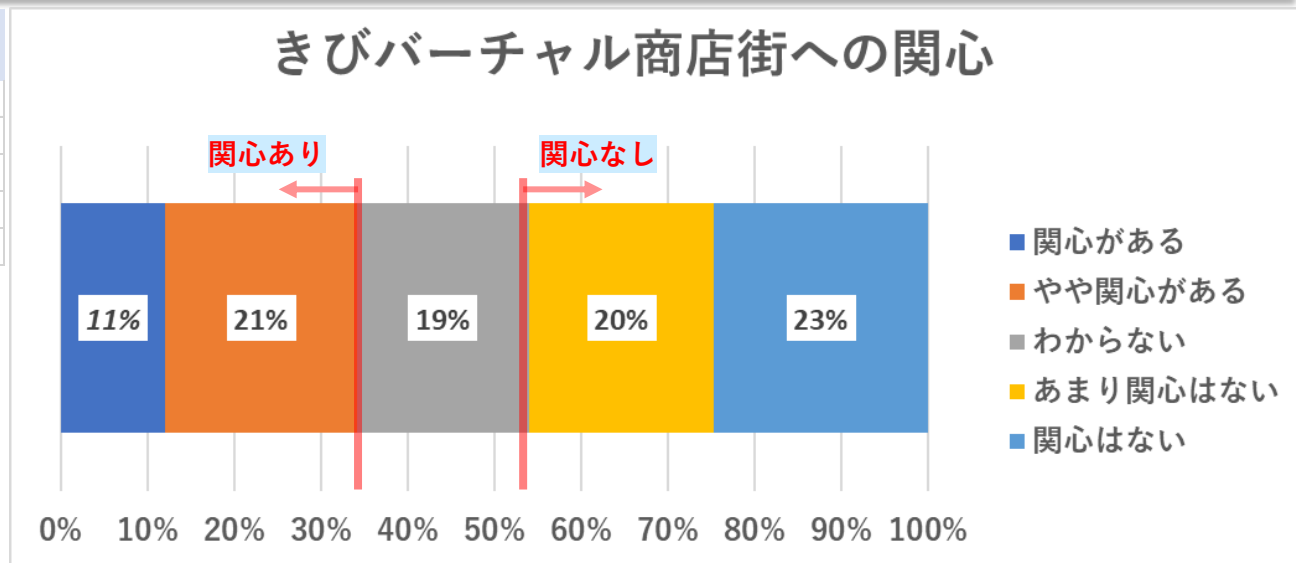


きびアプリ：きびバーチャル商店街への関心

関心の有無は拮抗しているが、関心がないという回答者の方が多い

きびバーチャル商店街 への関心	回答者数	比率
関心がある	51	11%
やや関心がある	93	21%
わからない	84	19%
あまり関心はない	90	20%
関心はない	104	23%

※比率はアンケート有効回答総数450件に対する比率)

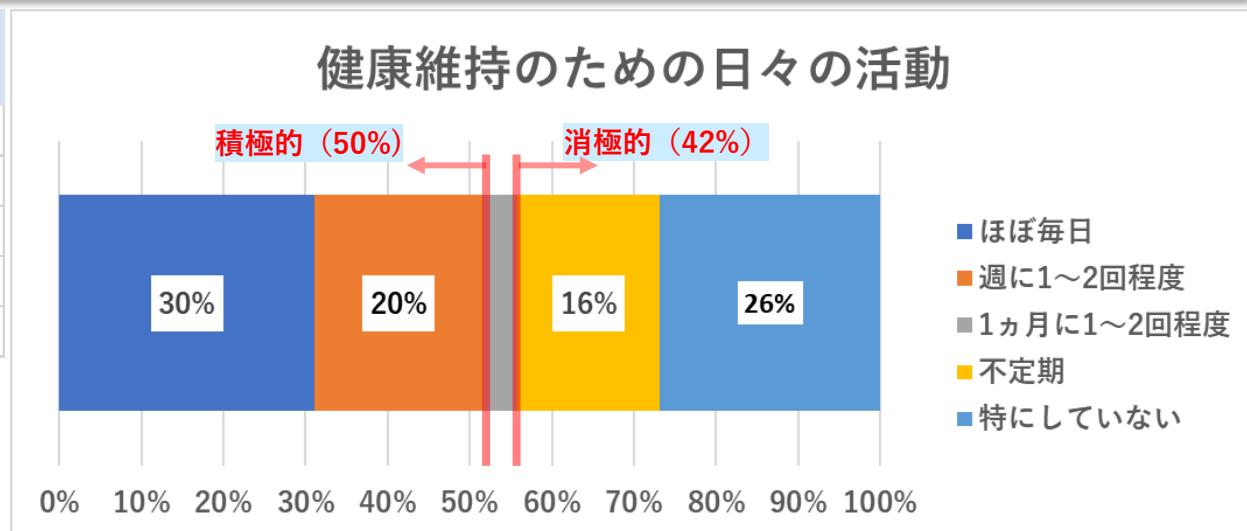


健康・医療：健康維持のための日々の活動

積極的（週に1～2回以上）が50%、消極的（不定期・特にしていない）が42%

健康維持のための 日々の活動	回答者数	比率
ほぼ毎日	133	30%
週に1～2回程度	88	20%
1ヵ月に1～2回程度	18	4%
不定期	74	16%
特にしていない	115	26%

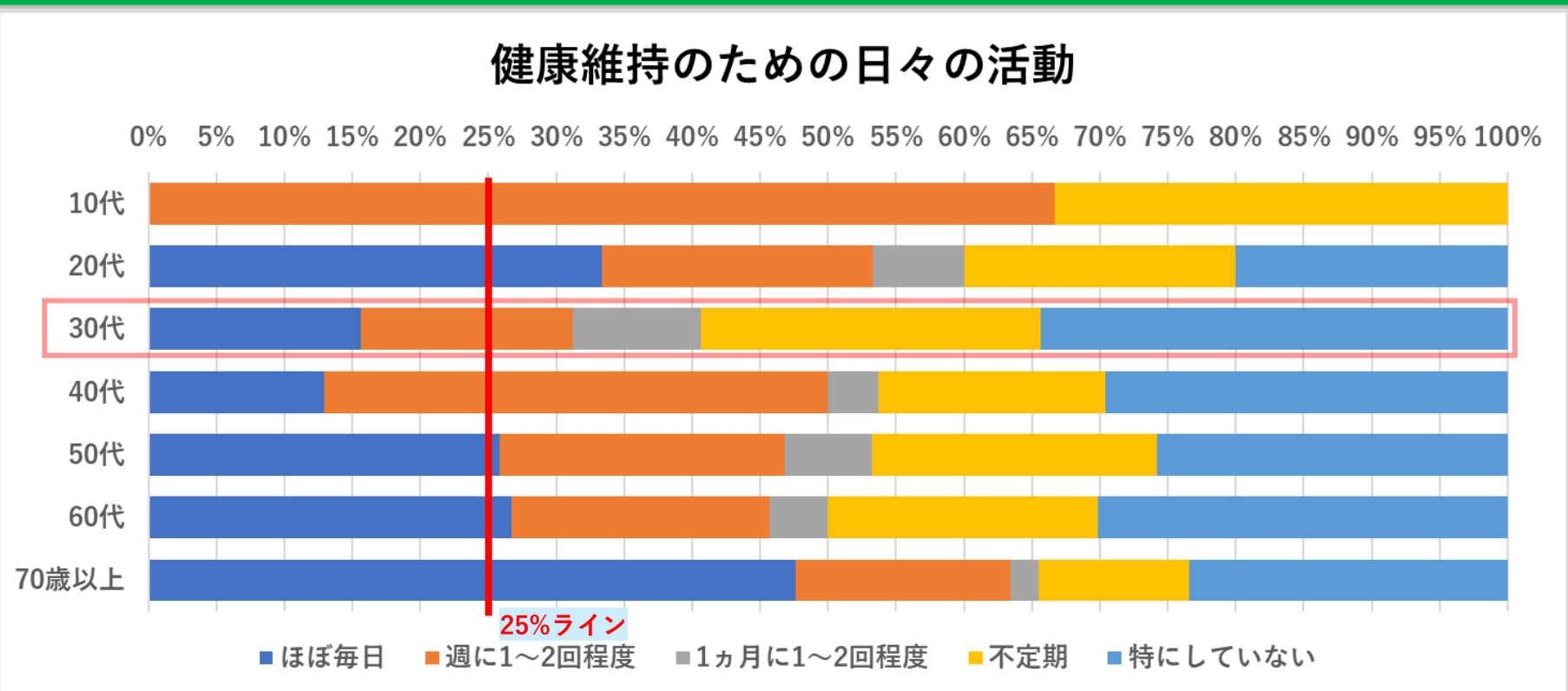
※比率はアンケート有効回答総数450件に対する比率



※不定期は消極的としている

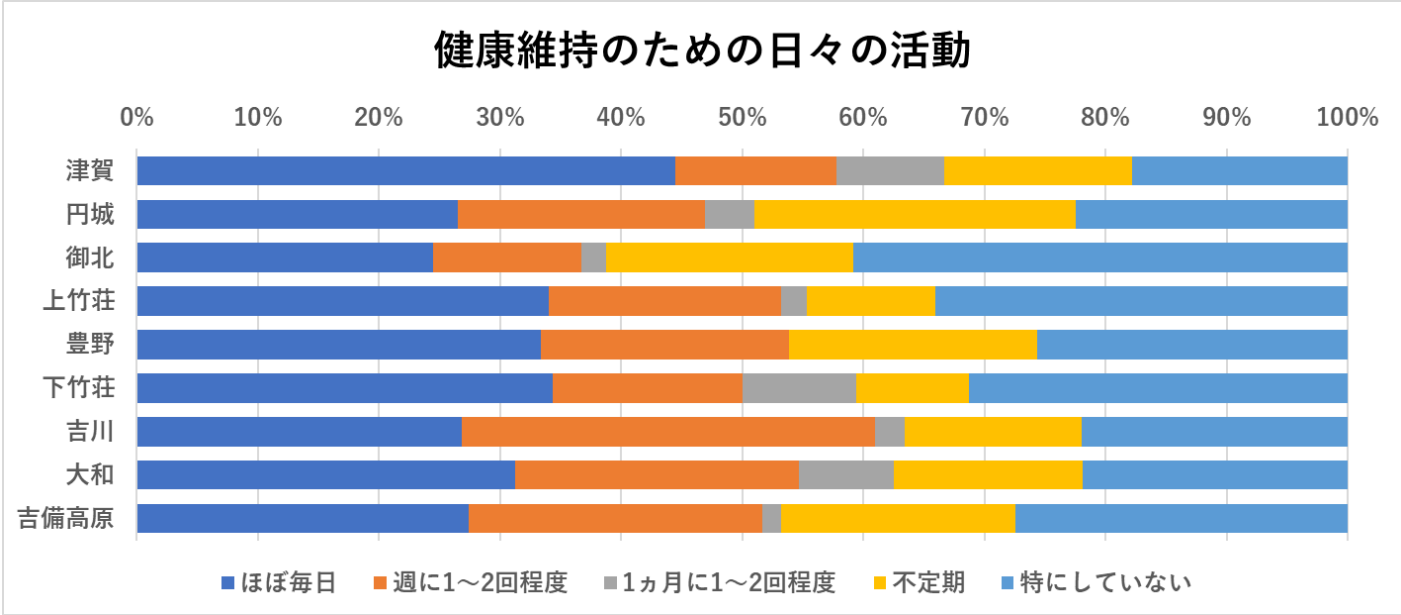
健康・医療：健康維持のための日々の活動（年代別）

30代でいったん運動習慣が減少し、50代・60代でも毎日という人は25%程度



健康・医療：健康維持のための日々の活動（地区別）

地区ごとに傾向はやや異なる



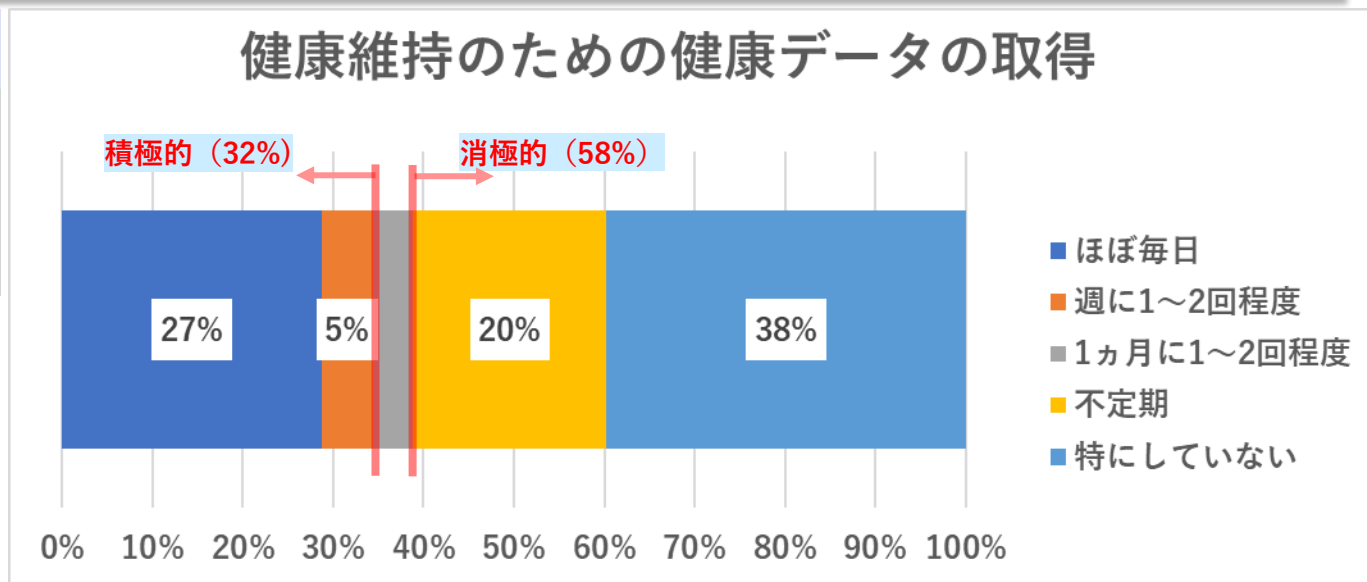
【コメント】

地区ごとの傾向の差は年代構成による影響の可能性もあるので、施策として展開する場合、地域施策に重点をおくか、対象年齢別に重点をおくか、地域の特性を加味して設計を行う必要がある。

健康・医療：健康維持のための健康データの取得

健康維持のための健康データの取得	回答者数	比率
ほぼ毎日	122	27%
週に1～2回程度	24	5%
1ヵ月に1～2回程度	19	4%
不定期	91	20%
特にしていない	169	38%

※比率はアンケート有効回答総数450件に対する比率)

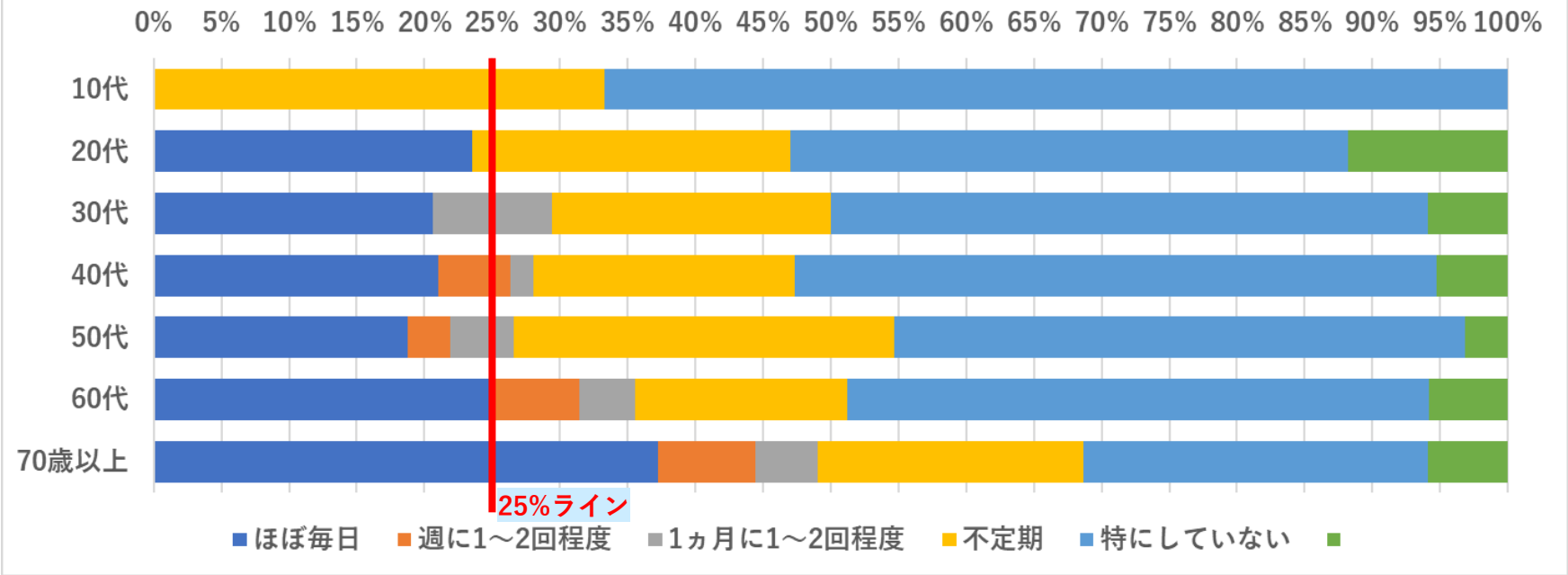


※不定期は消極的としている

健康・医療：健康維持のための健康データの取得（年代別）

60代までは、ほぼ毎日健康データを取得する人は25%以下

健康維持のための健康データの取得



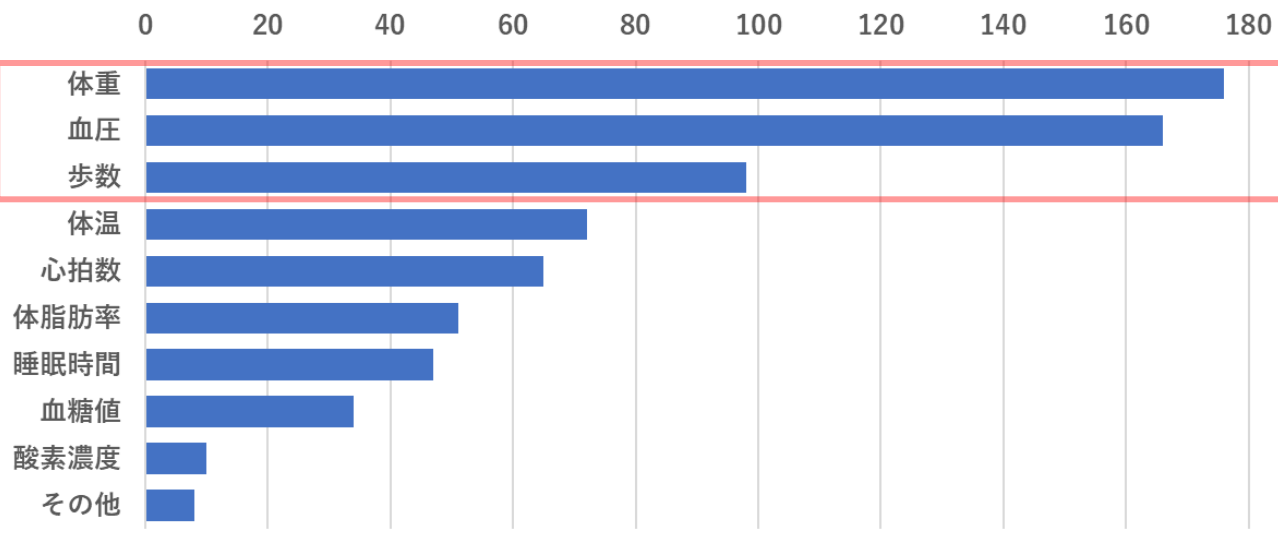
健康・医療：健康維持のために測定している項目（複数回答）

体重・血圧は35%の人が測定しているが、歩数では25%以下になっていまい

健康維持のために測定している項目	回答者数	比率
体重	176	39%
血圧	166	37%
歩数	98	22%
体温	72	16%
心拍数	65	14%
体脂肪率	51	11%
睡眠時間	47	10%
血糖値	34	8%
酸素濃度	10	2%
その他	8	2%

※比率はアンケート有効回答総数450件に対する比率)

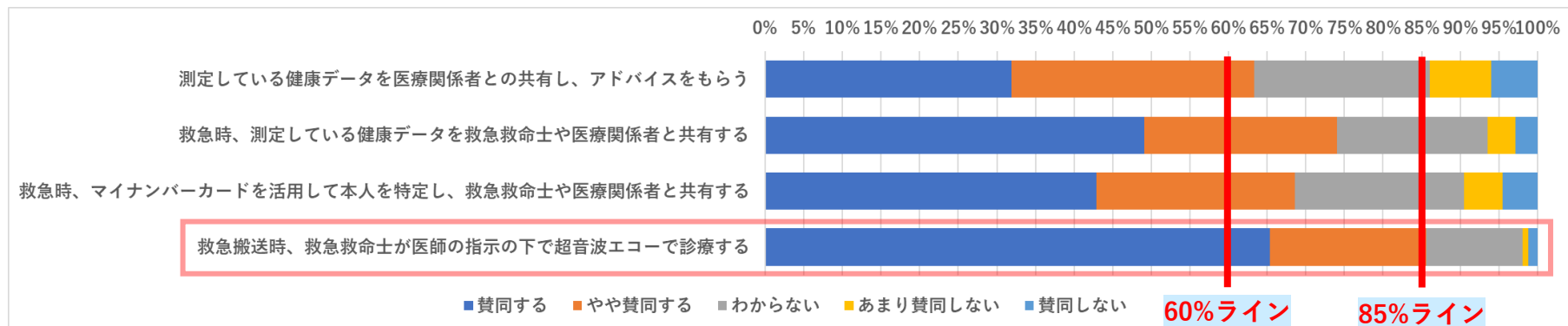
健康維持のために測定している項目（複数回答）



健康・医療：健康・医療関係への関心

すべての項目で60%以上の人が賛同側を選択、超音波エコーでは85%を超える

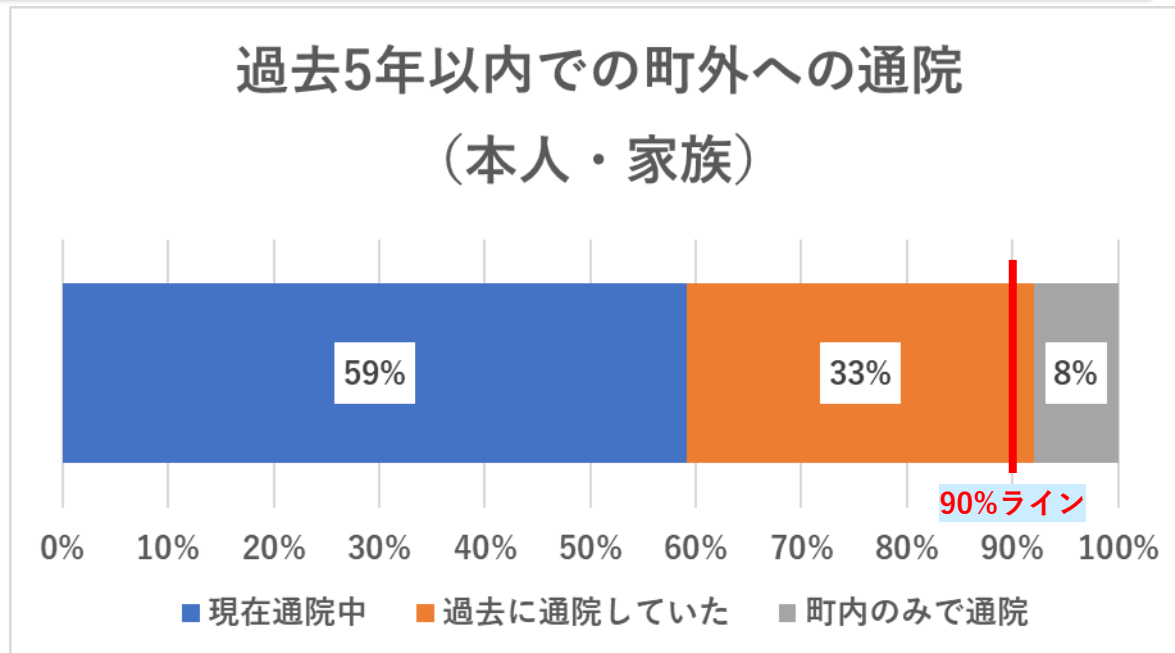
	賛同する	やや 賛同する	わからない	あまり 賛同しない	賛同しない	合計
測定している健康データを医療関係者との共有し、アドバイスをもらう	133	131	95	33	25	417
救急時、測定している健康データを救急救命士や医療関係者と共有する	206	105	82	15	12	420
救急時、マイナンバーカードを活用して本人を特定し、救急救命士や医療関係者と共有する	180	108	92	21	19	420
救急搬送時、救急救命士が医師の指示の下で超音波エコーで診療する	277	86	53	3	5	424



遠隔診療：町外への通院経験

90%以上の人々が現在または過去に町外への通院を経験

過去5年以内での町外への通院	回答者数	比率
現在通院中	246	59%
過去に通院していた	137	33%
町内のみで通院	33	8%
合計	416	100%



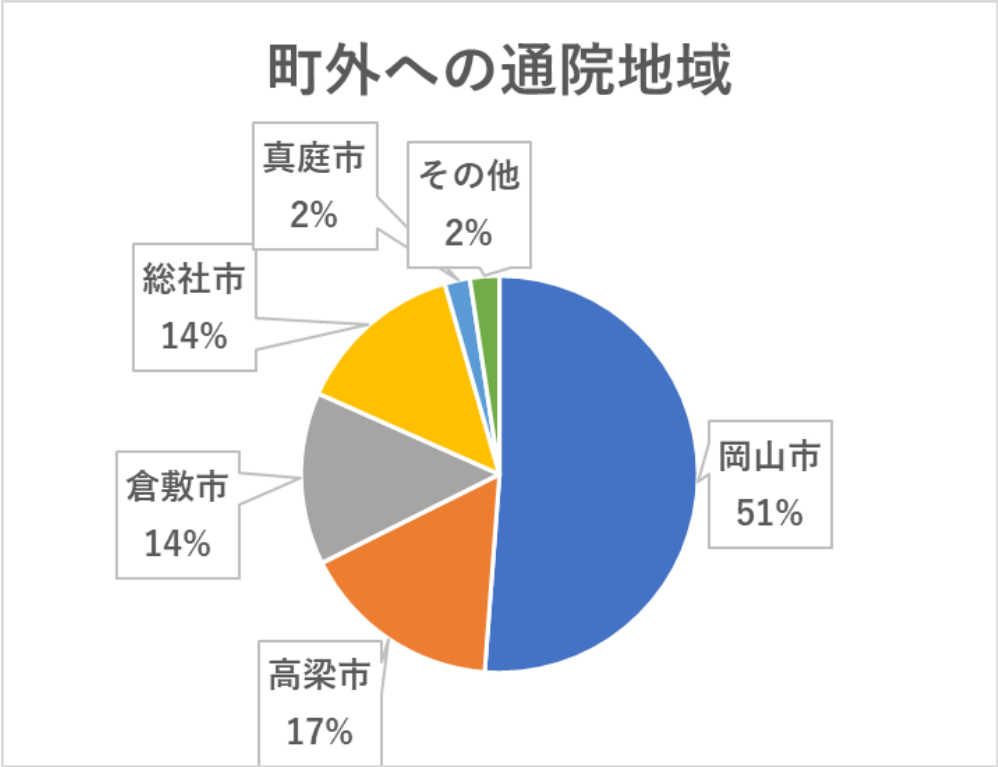
(n=416)

遠隔診療：町外への通院地域（複数回答）

延べ回答数の51%が岡山市

町外への通院地域	回答者数	比率
岡山市	299	51%
高梁市	96	16%
倉敷市	82	14%
総社市	81	14%
真庭市	12	2%
その他	14	2%

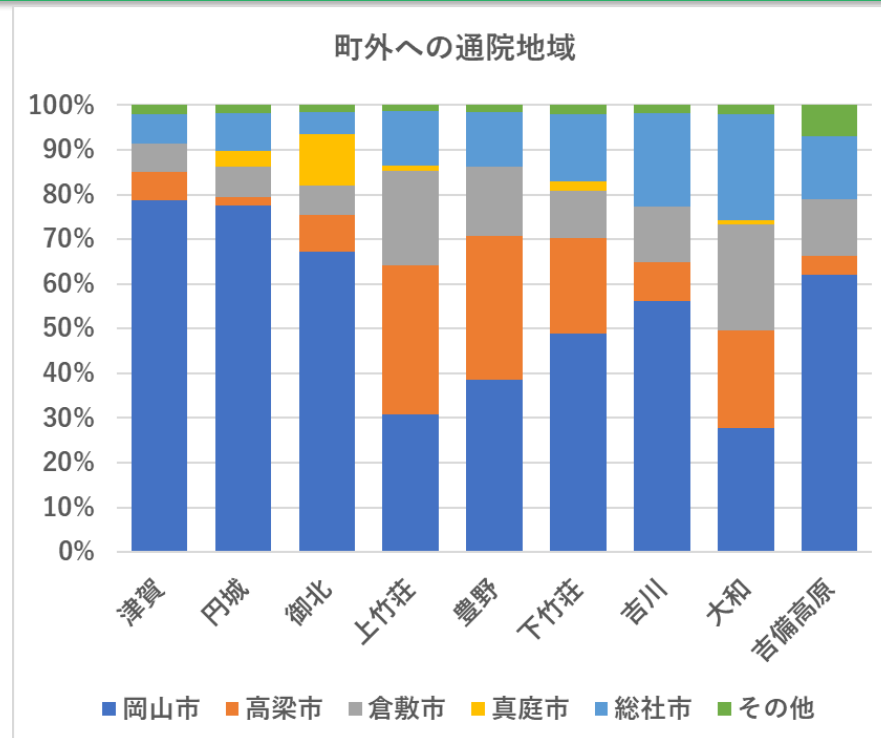
※比率は延べ回答数584件に対する比率



遠隔診療：町外への通院地域（複数回答・地域別）

合計では岡山中心だが、地域によりばらつきは大きい

	岡山市	高梁市	倉敷市	真庭市	総社市	その他
津賀	37	3	3	0	3	1
円城	45	1	4	2	5	1
御北	41	5	4	7	3	1
上竹荘	25	27	17	1	10	1
豊野	25	21	10	0	8	1
下竹荘	23	10	5	1	7	1
吉川	32	5	7	0	12	1
大和	27	21	23	1	23	2
吉備高原	44	3	9	0	10	5
合計	299	96	82	12	81	14



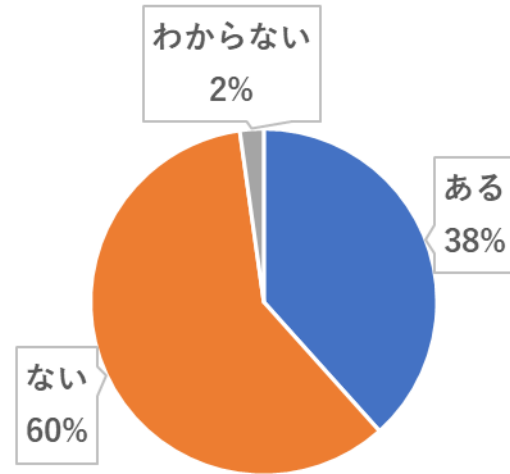
※各地域の延べ回答数に対する比率

遠隔診療：大学病院の受診歴

40%弱の人に大学病院の受診歴がある

大学病院の受診歴	回答者数	比率
ある	155	38%
ない	240	59%
わからない	9	2%
合計	404	100%

大学病院の受診歴

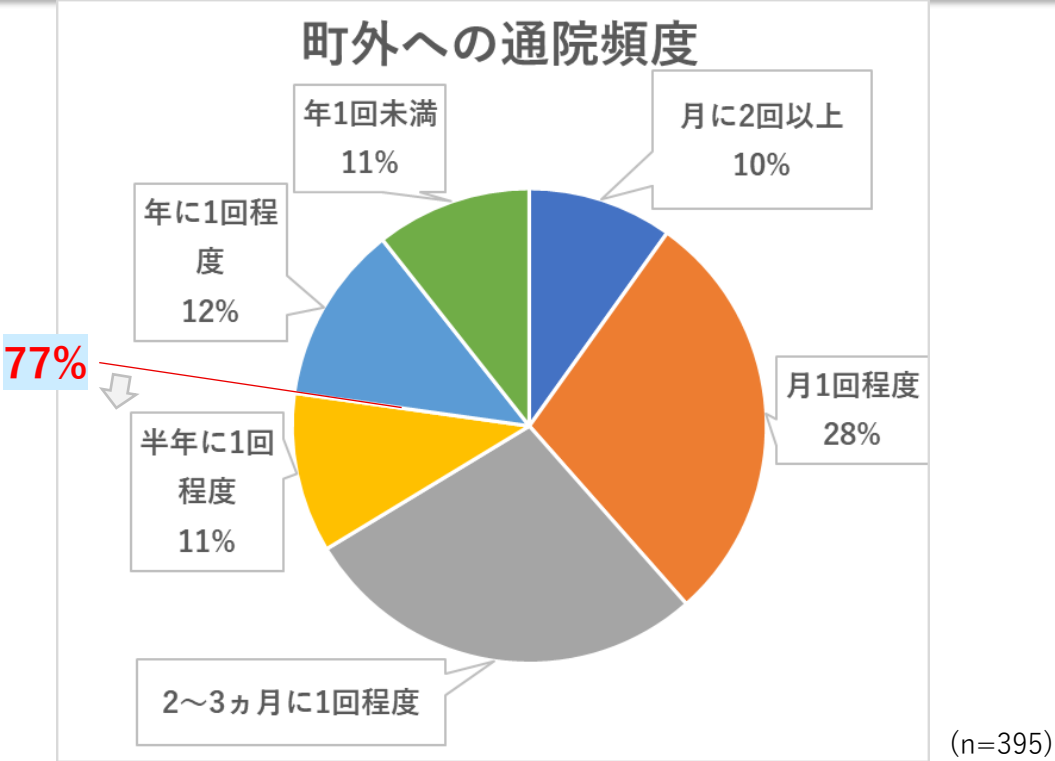


(n=404)

遠隔診療：町外への通院頻度

半年に1回程度以上が75%を超える

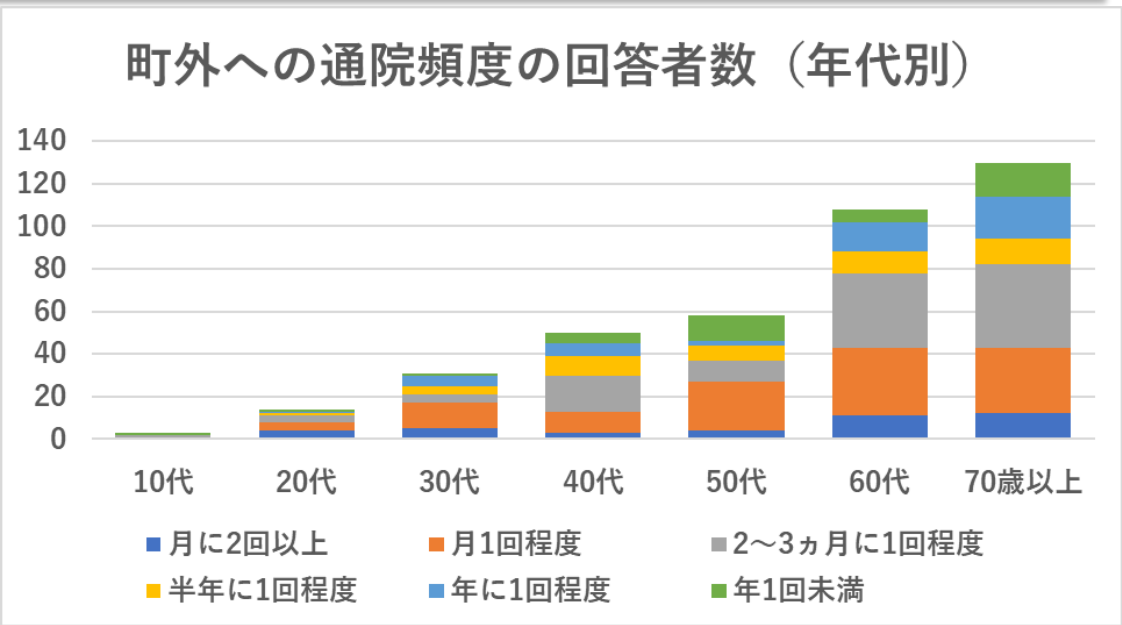
町外への通院頻度	回答者数	比率
月に2回以上	39	10%
月1回程度	113	29%
2～3ヵ月に1回程度	110	28%
半年に1回程度	43	11%
年に1回程度	48	12%
年1回未満	42	11%
合計	395	100%



遠隔診療：町外への通院頻度（年代別）

半年に1回以上の通院は、年代が上がるにしたがって上昇する

町外への通院頻度	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	合計
月に2回以上		4	5	3	4	11	12	39
月1回程度	1	4	12	10	23	32	31	113
2～3ヵ月に1回程度	1	3	4	17	10	35	39	109
半年に1回程度		1	4	9	7	10	12	43
年に1回程度		1	5	6	2	14	20	48
年1回未満	1	1	1	5	12	6	16	42
合計	3	14	31	50	58	108	130	394



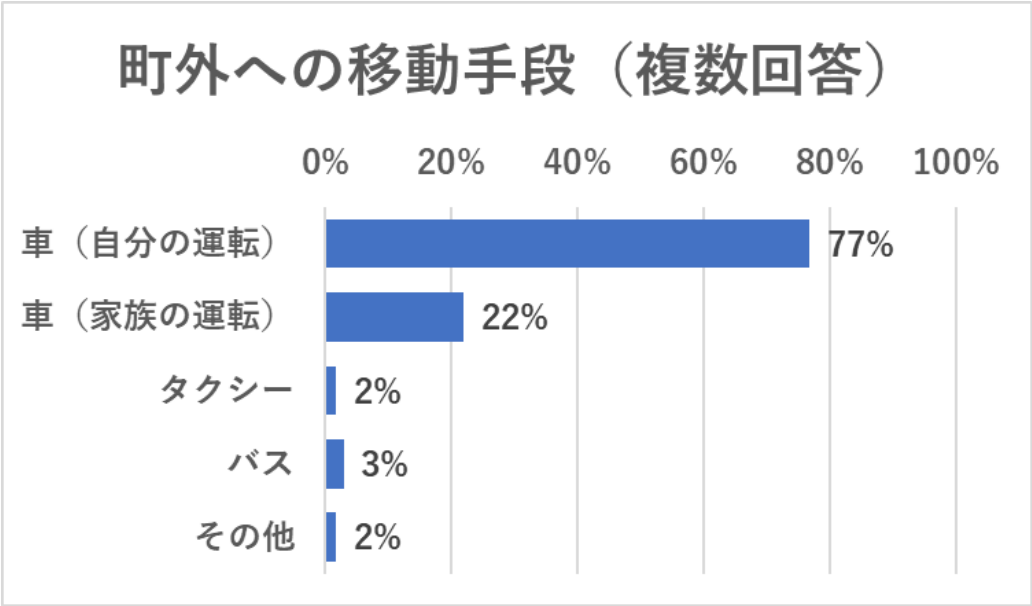
(n=394)

遠隔診療：町外への移動手段（複数回答）

75%弱の人が自分の運転

町外への移動手段	回答者数	比率
車（自分の運転）	345	77%
車（家族の運転）	99	22%
バス	13	3%
タクシー	8	2%
その他	8	2%

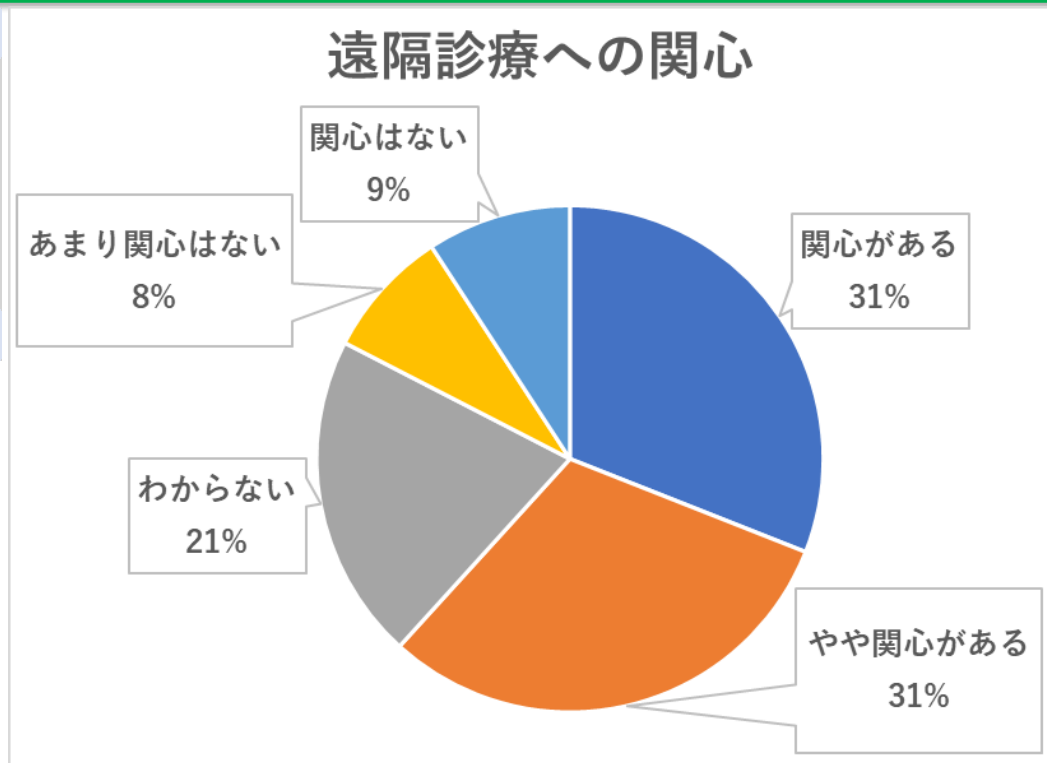
※比率はアンケート有効回答総数450件に対する比率）



遠隔診療：遠隔診療への関心

62%の人が遠隔医療への関心を示している

遠隔診療への関心	回答者数	比率
関心がある	128	31%
やや関心がある	127	31%
わからない	86	21%
あまり関心はない	34	8%
関心はない	38	9%
合計	413	100%

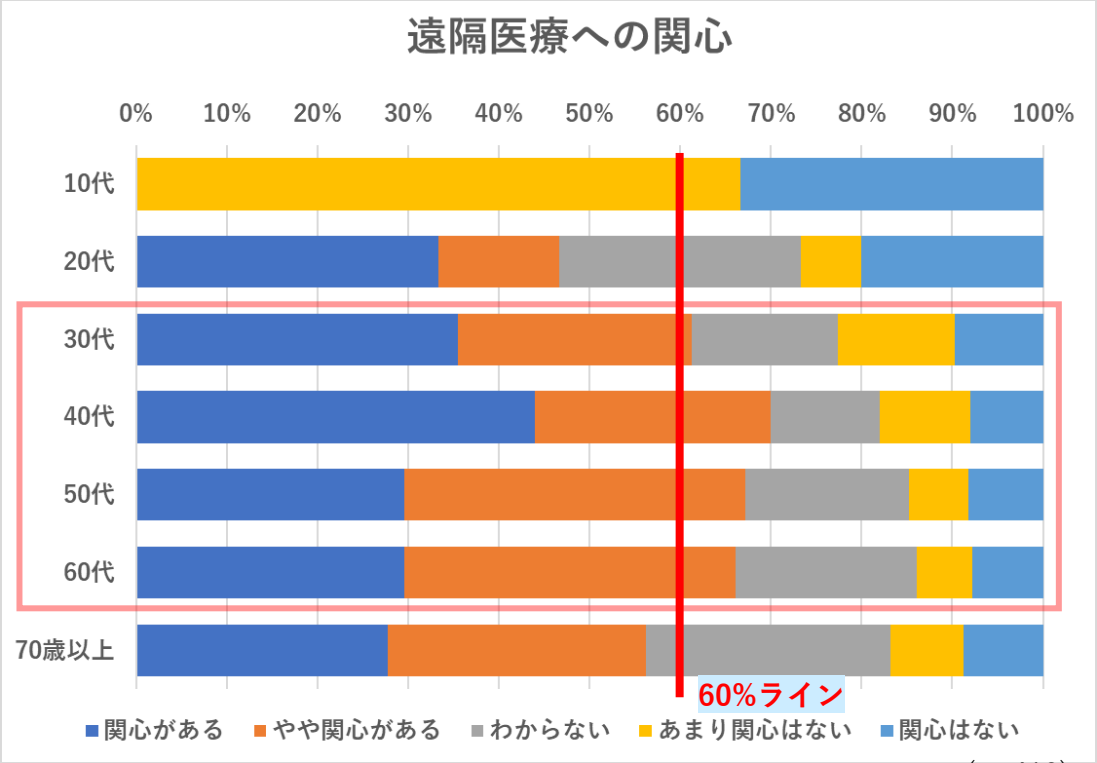


(n=413)

遠隔診療：遠隔診療への関心（年代別）

30代～60代では60%を超える人が関心を示している

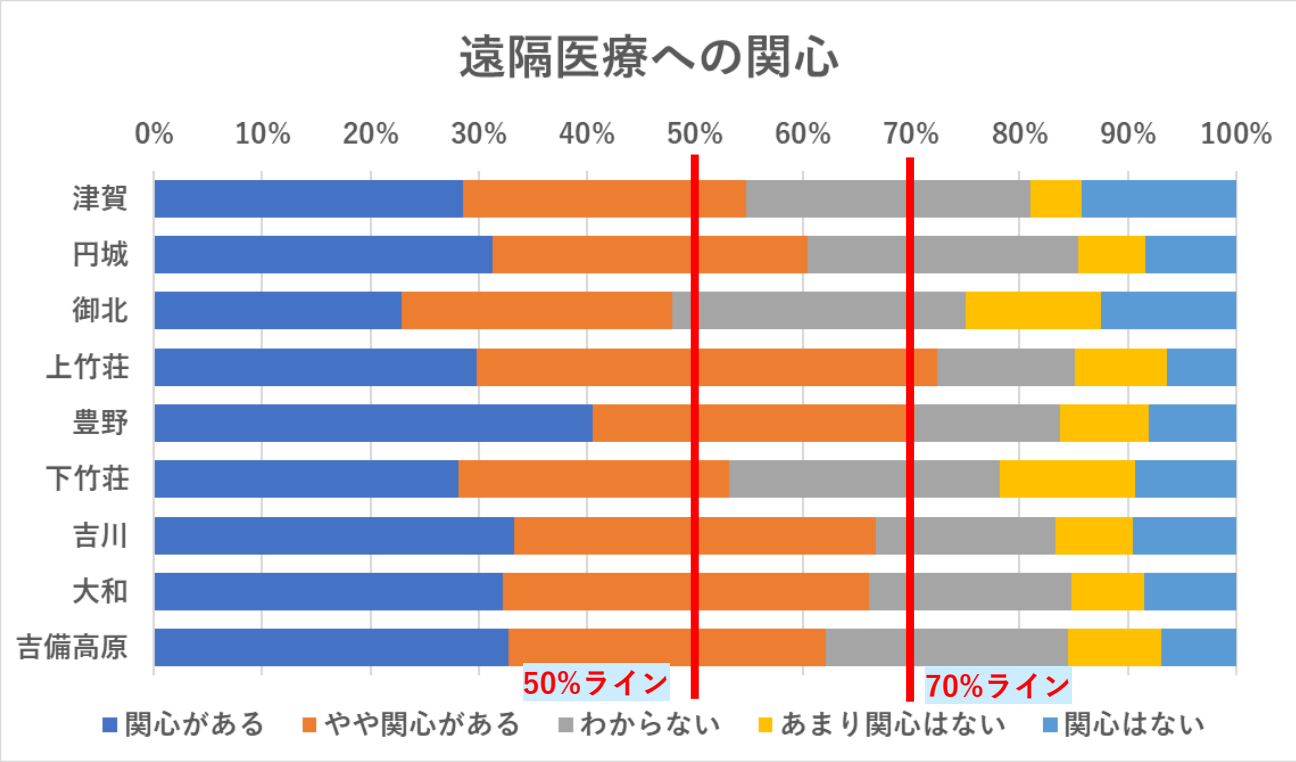
	関心がある	やや関心がある	わからない	あまり関心はない	関心はない
10代				2	1
20代	5	2	4	1	3
30代	11	8	5	4	3
40代	22	13	6	5	4
50代	18	23	11	4	5
60代	34	42	23	7	9
70歳以上	38	39	37	11	12



(n=413)

遠隔診療：遠隔診療への関心（地区別）

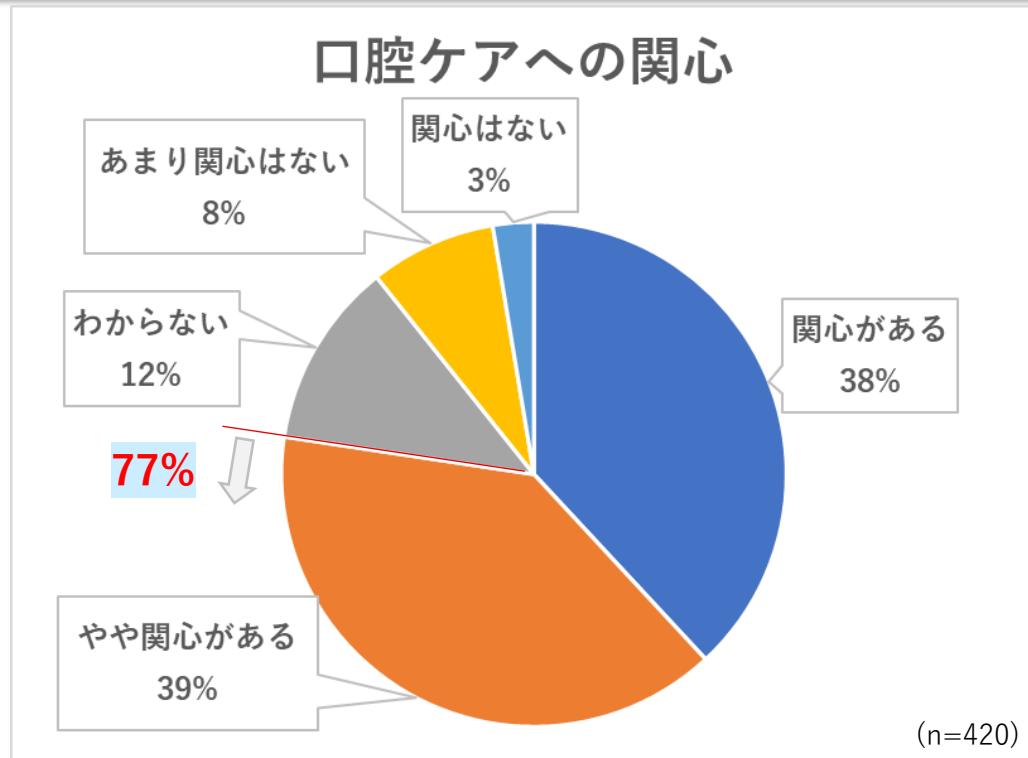
地区によって異なるが、50%～70%の人が関心を示している



口腔ケア：口腔ケアへの関心

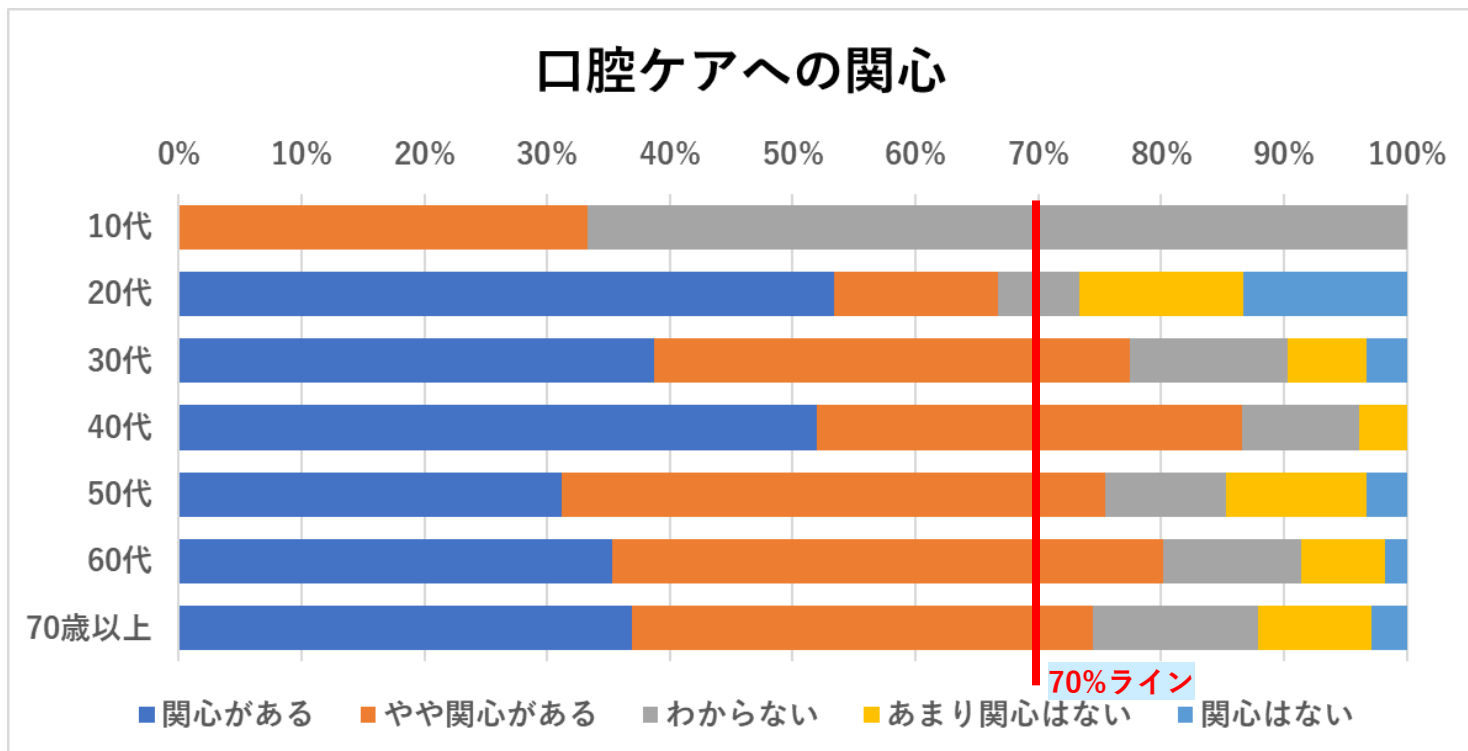
77%の人が口腔ケアへの関心を示している

口腔ケアへの関心	回答者数	比率
関心がある	160	38%
やや関心がある	165	39%
わからない	50	12%
あまり関心はない	34	8%
関心はない	11	3%
合計	420	100%



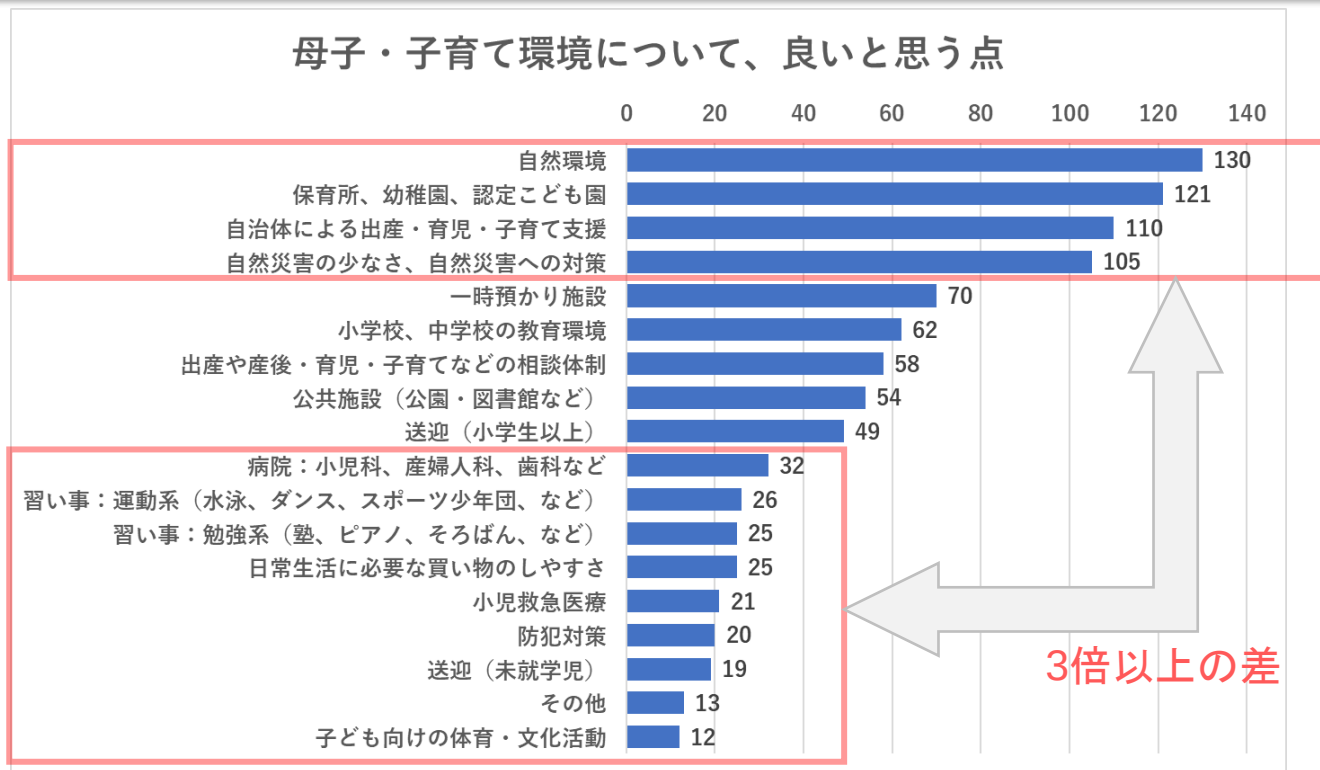
口腔ケア：口腔ケアへの関心（年代別）

30代以上は70%以上の人が口腔ケアへの関心を示している



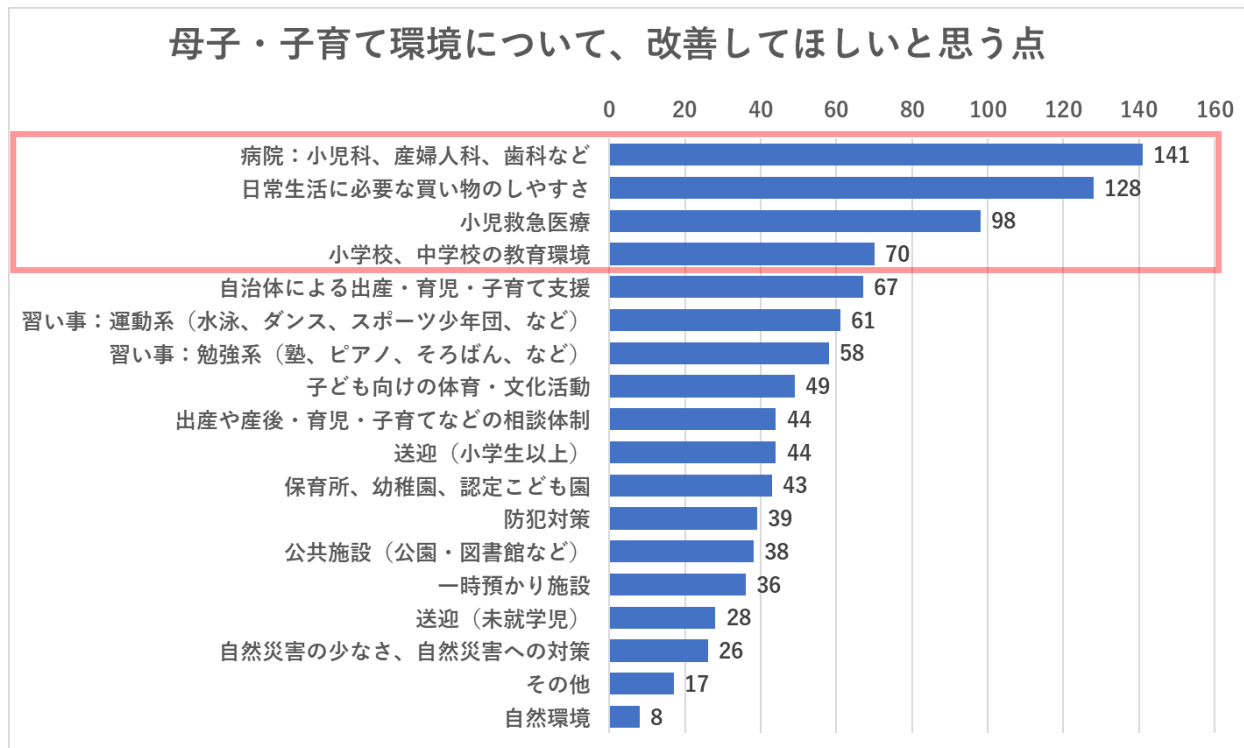
母子・子育て環境：良い点（複数回答）

項目によって3倍以上の差がついている



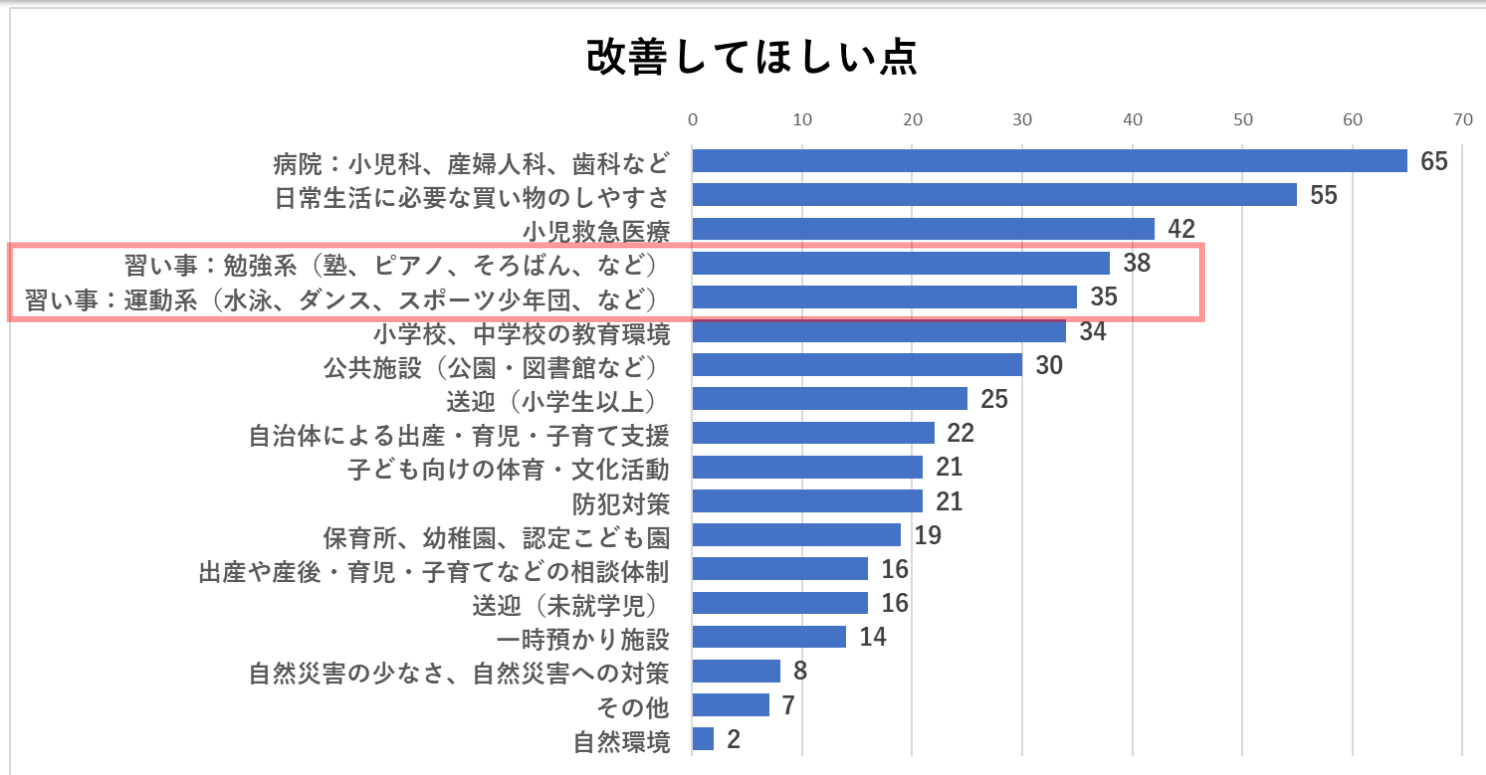
母子・子育て環境：改善してほしい点（複数回答）

必ずしも良い点の裏返しではない



母子・子育て環境：改善してほしい点（複数回答・30代～40代）

全体の傾向は変わらないが、習い事系が浮上してくる

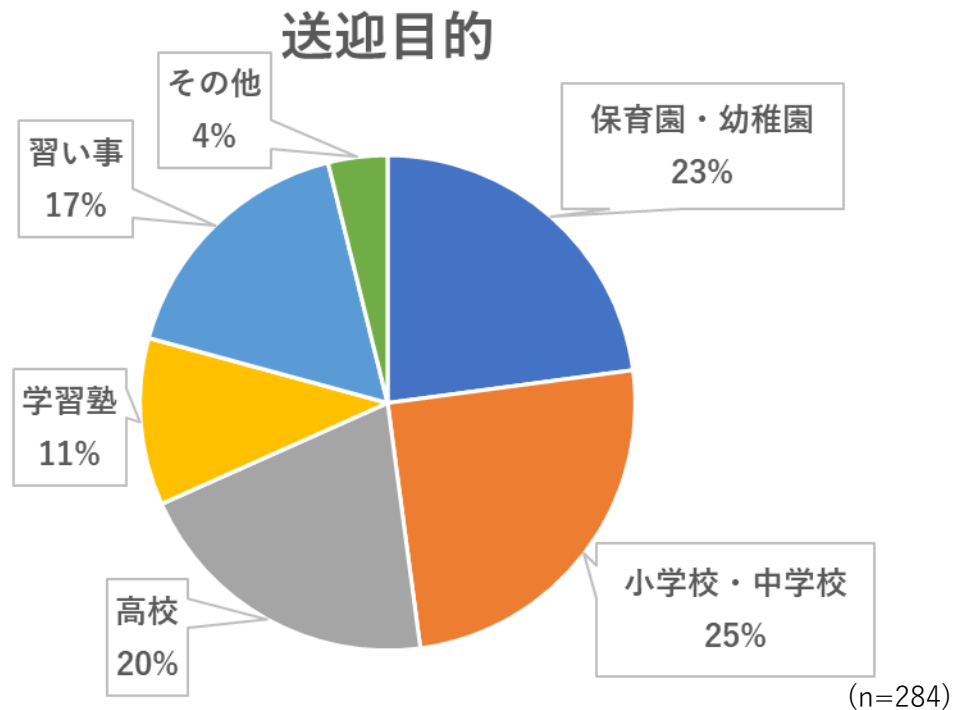


母子・子育て環境：送迎目的（複数回答）

保育園～高校の合計が68%、学習塾・習い事の合計が28%

送迎目的	回答者数	比率
保育園・幼稚園	65	23%
小学校・中学校	71	25%
高校	58	20%
学習塾	31	11%
習い事	48	17%
その他	11	4%
合計（延べ）	284	100%

※比率は延べ回答数284件に対する比率

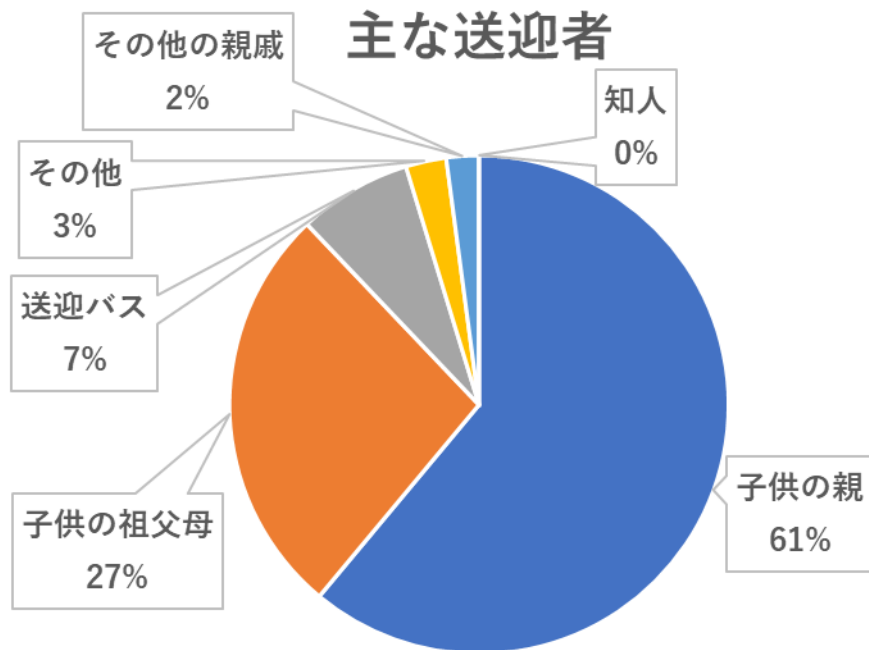


母子・子育て環境：主な送迎者（複数回答）

子供の親が60%を超え、次が祖父母の27%

主な送迎者	回答者数	比率
子供の親	116	61%
子供の祖父母	51	27%
送迎バス	14	7%
その他	5	3%
その他の親戚	4	2%
知人	0	0%
合計（延べ）	190	100%

※比率は延べ回答数199件に対する比率

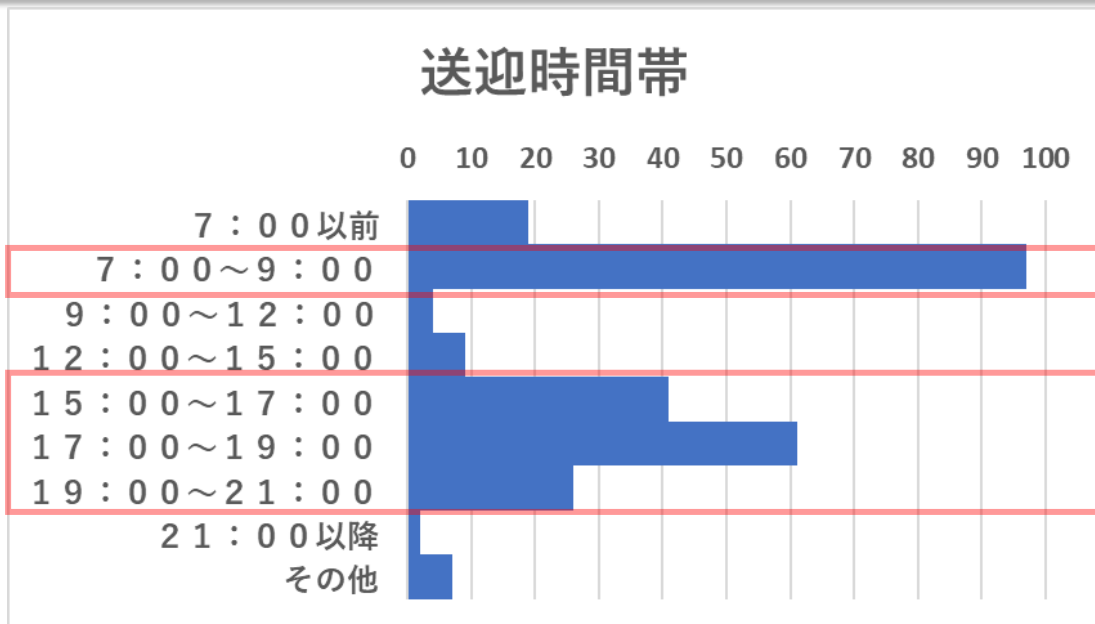


(n=190)

母子・子育て環境：送迎時間帯（複数回答）

朝の送迎は7:00～9:00に集中、夕方の送迎は時間帯がばらけている

送迎時間帯	回答者数
7：00以前	19
7：00～9：00	97
9：00～12：00	4
12：00～15：00	9
15：00～17：00	41
17：00～19：00	61
19：00～21：00	26
21：00以降	2
その他	7

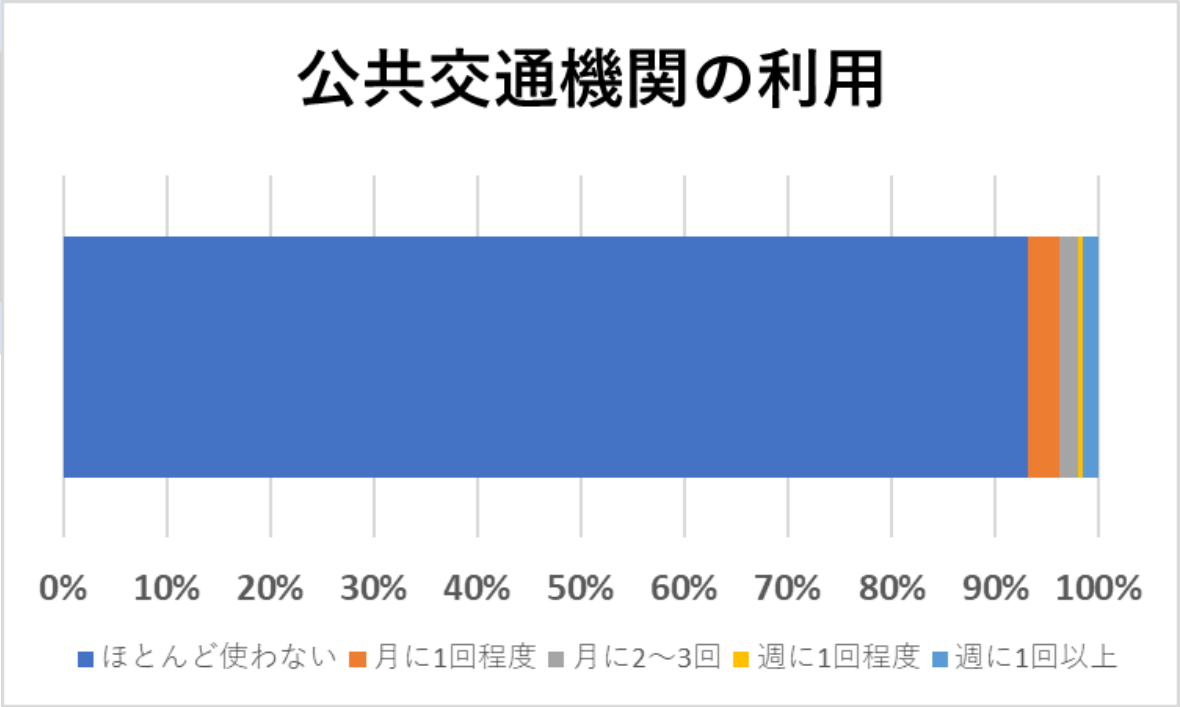


交通：公共交通機関の利用

公共交通機関の利用は10%以下

公共交通機関の利用	回答者数	比率
ほとんど使わない	367	93%
月に1回程度	12	3%
月に2～3回	7	2%
週に1回程度	2	1%
週に1回以上	6	2%
合計	394	100%

※比率は回答数394件に対する比率

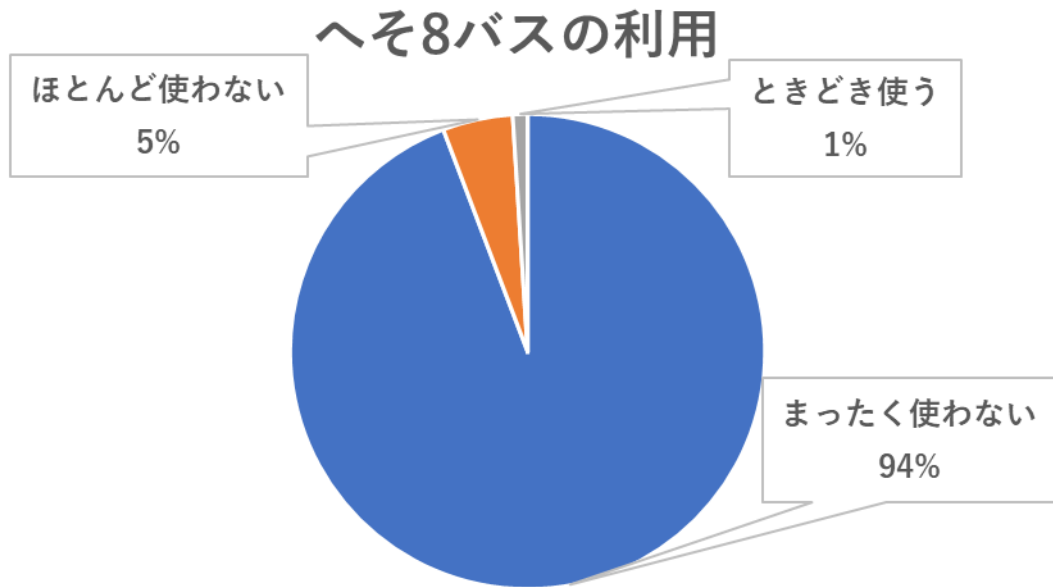


(n=394)

交通：へそ8バスの利用

94%の人がへそバスを使わないと回答

へそ8バスの利用	回答者数	比率
まったく使わない	375	94%
ほとんど使わない	19	5%
ときどき使う	4	1%
よく使う	0	0%
合計	398	100%

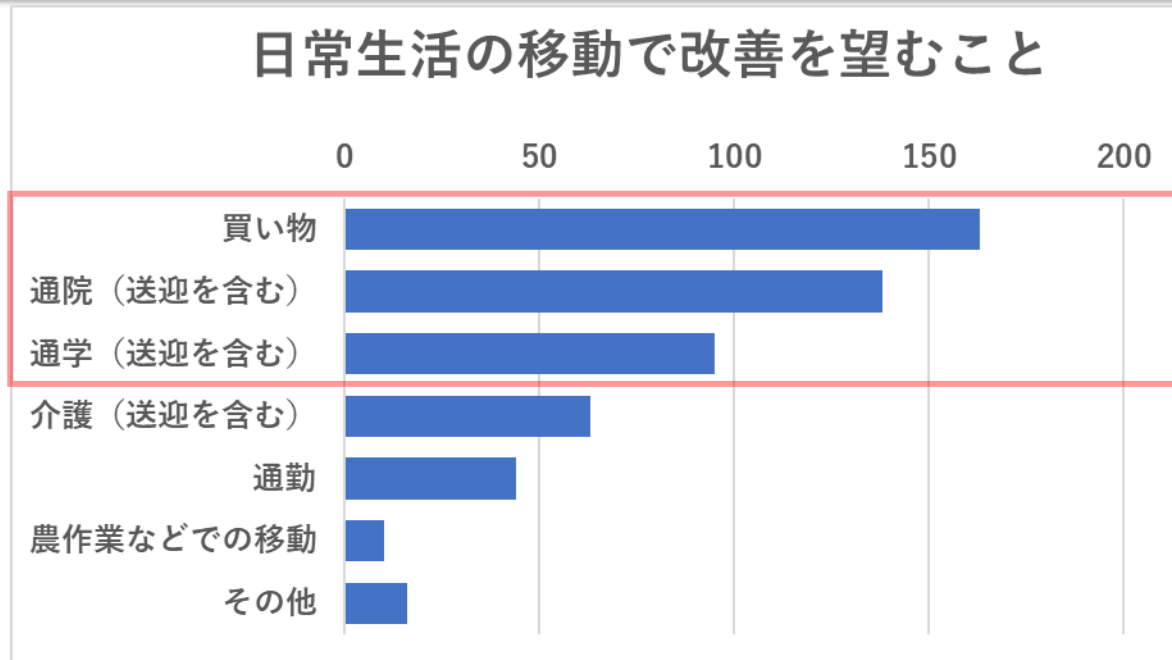


(n=398)

交通：日常生活の移動で改善を望むこと

買物・通院・通学が上位

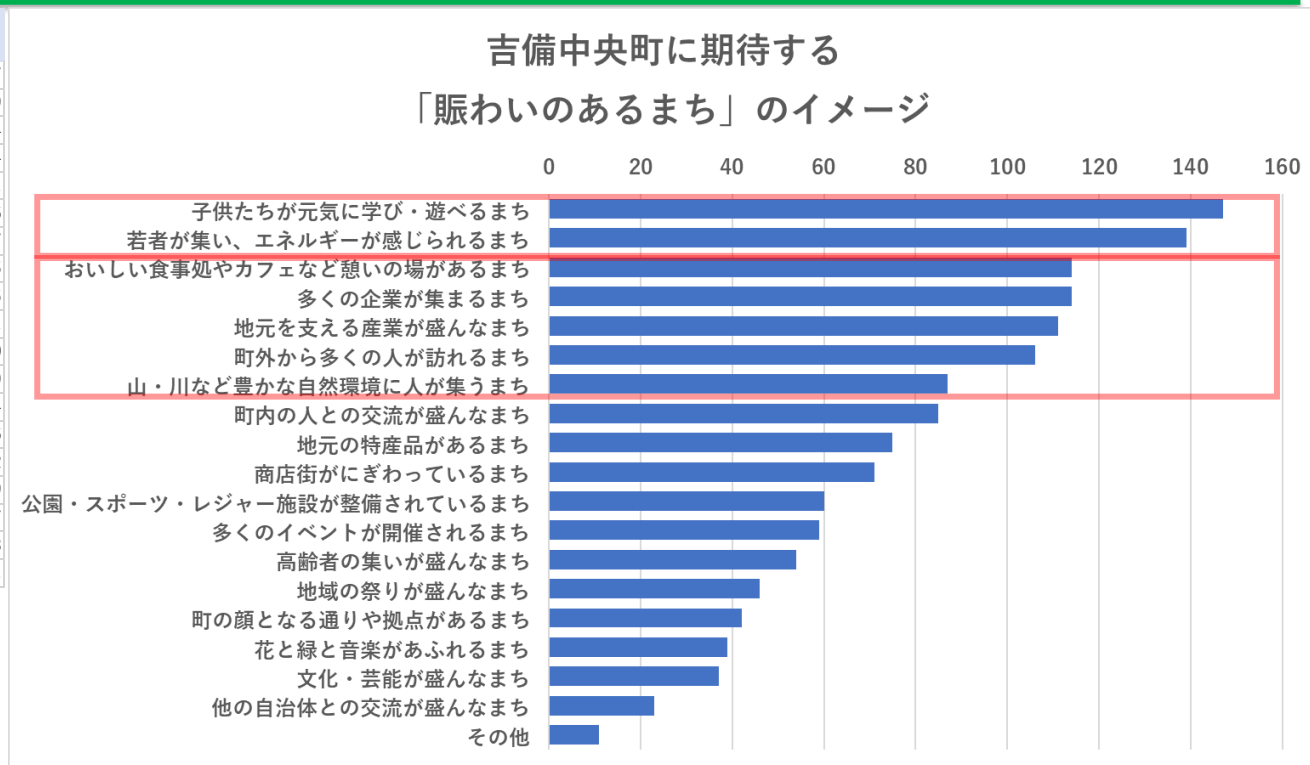
日常生活の移動で改善を望むこと	回答者数
買い物	163
通院（送迎を含む）	138
通学（送迎を含む）	95
介護（送迎を含む）	63
通勤	44
農作業などでの移動	10
その他	16



町の活気：吉備中央町に期待する「賑わいのあるまち」のイメージ（複数回答）

子供・若者が1位・2位、続いて食事やカフェの憩いの場、企業・産業、人の訪れと続く

吉備中央町に期待する「賑わいのあるまち」のイメージ	回答者数
子供たちが元気に学び・遊べるまち	147
若者が集い、エネルギーが感じられるまち	139
おいしい食事処やカフェなど憩いの場があるまち	114
多くの企業が集まるまち	114
地元を支える産業が盛んなまち	111
町外から多くの人が訪れるまち	106
山・川など豊かな自然環境に人が集うまち	87
町内の人との交流が盛んなまち	85
地元の特産品があるまち	75
商店街がにぎわっているまち	71
公園・スポーツ・レジャー施設が整備されているまち	60
多くのイベントが開催されるまち	59
高齢者の集いが盛んなまち	54
地域の祭りが盛んなまち	46
町の顔となる通りや拠点があるまち	42
花と緑と音楽があふれるまち	39
文化・芸能が盛んなまち	37
他の自治体との交流が盛んなまち	23
その他	11



おかやま  吉備中央町